岩田書院

地方史情報 121

2014年10月

日本宗教史研究の軌跡と展望

日本宗教史懇話会サマーセミナーの記録編集委員
原田正俊・宮﨑健司・岡野浩二・佐藤文子

日本宗教史の研究においては、これまで多数の研究論文・著書が発表されてきた。この背景には、個々の研究者による地道な調査と研究があることはいうまでもないが、各種学会や研究会における相互の研鑽があったことは重要である。本書は、相互に議論し学問を発展させようとした共同の営みのささやかな記録である。

本書で採り上げるサマーセミナー形式でおこなわれる研究会では、多数の研究者が集い活発に議論し、新たな研究成果を生み出してきた。伝統ある学会では、報告・質疑の時間も限られ、ややもすれば学会自体が形式化する学問分野もあるが、私たち日本宗教史を専門とする研究者は、こうした状況を絶えず乗り越えようと努力してきた。

また、世代や所属を超えた研究者の集まりは、色々な立場にある研究者の連携の幅を広げるとともに、権威にとらわれず、自由な発想で研究に取り組むことが目指されてきた。こうした営みのもと、ここ半世紀の日本宗教史研究者は、研究テーマを深め、多様な視角からの研究を世に発信してきた。宗教史研究は、歴史学において各時代の重要な分野として位置付けられ、仏教学・民俗学・文学・美術史・建築史など隣接学問とも連携して、多彩な成果を出すことにつとめてきている。また、何よりもサマーセミナーが、次々と現れる若手研究者の育成の場としても大いに機能してきたといえる。（中略）

日本宗教史懇話会サマーセミナー（一期～三期）は、最初から雑誌や研究書の発行を目標とせず、既成の学会で不足している十分な報告時間と活発な相互批判の時間を設けることを目的とした。各人がこの場での発表を論文として各種の学術雑誌、書籍に発表したことはいうまでもないが、会自体の様子などは、その方針からも、参加者の記憶に頼ってしかのこされていない。参加した方々の武勇伝を含め、もはや説話伝承の世界になりつつあるのも事実である。こうした半世紀にわたる活動の一端を記録としてのこそうとするのは、歴史研究者の業かもしれないが、めまぐるしく動く社会情勢のなか日本宗教史研究の意義を問い直すことも意図している。（後略）

（日本宗教史懇話会編『日本宗教史研究の軌跡と展望』2014.8、小社刊、
「はじめに」より）

地方史研究雑誌目次速報　飯澤文夫 編

＊本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは，発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆文化情報　北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西７丁目
かでる2･7ビル９階　℡011-231-4111
hokkaido-bunkazai.jp
◇341　2014.1　B４　8p
新しい年を迎えて　岡倉天心の文化財保護思想に学ぶ　舟山　廣治
本道が誇る馬､北海道和種馬（ドサンコ）について　近藤　誠司
札幌市公文書館のオープン　榎本　洋介
第49回北海道文化財保護功労者表彰を受賞して
地域の郷土研究に携わって　田中　實
全国で唯一の「キマロキ」名寄ＳＬ拝雪列車（キマロキ）保存会　中田　一良
利尻島に渡った因幡の麒麟を受け継ぐ　利尻麒麟獅子舞う会　西谷　榮治
今までの文書解読活動を通して　林家文書解読ボランティアの会　駒木根恵蔵
世界文化遺産への登録をめざして（17）　北海道教育庁文化・博物館課
北海道立文書館別館（旧行啓記念北海道庁立図書館）の改築について　角　幸博
北海道文化財保護協会顧問山田文明さんを偲んで　竹田　輝雄
「トロッコ王国と美深郷土資料館」廃線跡に夢のせて　諸岡　勇
指定文化財について　国指定「名勝」の追加指定として10月17日答申された、ピリカノカとオキクルミのチャシ及びムイノカ（平取町）の概要
第48回全道高等学校　郷土研究発表大会　矢崎　一人
アイヌ国立博物館に期待　山田　融定
読者の声
サッポロビール（株）協賛　第二回文化財保護活動支援講演会＆交流の夕べを開催「五円玉と東京オリンピックから学ぶ、歌で綴る札幌の文化財」　遠藤　龍畝
北海道ミュージアムフレンズ開催総会報告　山田　大隆
◇342　2014.3　B４　4p
北海道博物館の開設に向けて　石森　秀三
北海道立文書館別館改築に係る要望書の提出について
第2回文化財講演会「敗者からの日本史」講義を終えて　原　一夫
斎藤茂吉記念　中川町短歌フェスティバル　舟山　廣治
文化財愛護に一役　縄文太鼓　石垣　秀人
ニセコアンヌプリ山頂の着氷実験（概要）　矢吹　俊男
「北海道文化遺産活用活性化計画事業」を文化庁に補助申請
世界文化遺産への登録をめざして（18）　北海道教育庁文化・博物館課
第24回国際科学技術史医学史学会に出席して　山田　大隆
読者の声
三笠の集治監資料　高橋　史弥
「伝える…」　たかやまじゅん
東日本大震災現地を視察して　山田　大隆

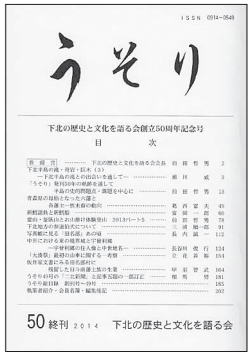
◆北海道地域文化研究
北海道地域文化研究会
〒004-8631札幌市厚別区大谷地西2-3-1
北星学園大学　高橋克依研究室気付
℡011-891-2731　2009年創刊
◇6　2014.3　A４　159p
発刊の辞
多彩な地域文化研究の進展を　阿部　敏夫
北海道みんぞく文化研究会のあゆみと課題　森　雅人
置き薬と北海道―先用後利で先人たちの信頼を得た薬売り　中島　宏一
よみがえる炭鉱文学―高橋揆一郎原作『観音力疾走』歌志内公演による高校生の「出会い」をめぐるオートエスノグラフィー　加藤　裕明
地崎3代と定山渓―温泉開発･岩戸観音堂建立を事例として　小泉　昌弘
北海道における地芝居の成立の研究に関わる問題点　高橋　克依
『北海道の口碑伝説』の編纂発行について　斉藤　大明
樺太における「郷土読本」編纂の背景　鈴木　仁
空知農学校と地域文化　占部　信臣
地域形成と宗教（1）―北海道栗山町（旧角田村）のキリスト者の相貌　阿部　敏夫
調査報告　積丹町余別における川下祭の伝承と兵庫県の祭祀状況　舟山　直治
資料紹介
利尻島にある井上円了資料　西谷　榮治

◆北海道の文化　北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西７丁目
かでる2･7ビル９階　℡011-231-4111
1961年創刊
◇86　2014.2　A５　96p
表紙写真および解説　北海道人造石油滝川工場のコークス炉・合成炉写真　山田　大隆
巻頭言　歴史的建造物の保全修復と技能者集団　角　幸博
東と西の園芸文化の交わり　ベーマー商会の設立とその役割　富士田金輔
動物埴輪　新川　寛
北門時事の紹介　卜部　信臣
北門時事（北海道探訪日記）　神田　優
寛文元年に伊勢の船がエトロフ島へ漂着した記録　大沼　忠春
再びヨイチアイヌの「カムイギリ」のこと　青木　延広
新島襄・八重夫妻と交流のあった北海道の人達　阿部　敏夫
北海道人造石油の歴史と北海道人造石油滝川工場の産業遺産　山田　大隆
「北海道文化財保護の歩み」の周辺　卜部　信臣

◆北方民族博物館だより
北海道立北方民族博物館
〒093-0042網走市潮見309-1　℡0152-45-3888　1991年創刊　hoppohm.org
◇92　2014.3　A４　8p
ロビー展
世界と日本の楽しいけん玉　種石　悠
講習会・講座　講習会　けん玉検定にチャレンジ／講座　世界と日本の楽しいけん玉　講師：丸石照機氏　種石　悠
ロビー展　温暖化するシベリアの

自然と人　中田　篤
講座　東シベリア永久凍土域の景
観と水環境―温暖化はそれらに
どのような影響を及ぼすか？
講師：檜山哲哉氏　中田　篤
アイヌ文化講習会　体験して学ぶ
アイヌ文化　講師：結城幸司氏
・福本昌二氏・伊藤せいち氏　渡部　裕
企画展　映像にみるカムチャツカ
半島の現在　渡部　裕
講座　カムチャツカ先住民の歌と
踊り、儀礼　講師：大島稔氏・
甲地利恵氏　渡部　裕

◆うそり　下北の歴史と文化を語る会
〒035-0076青森県むつ市旭町13-48
相馬務方　℡0175-24-3262
年2000円　1965年創刊
◇50　2014.2　A5　207p　1300円　＊終刊
《下北の歴史と文化を語る会
創立50周年記念号》
巻頭言　厳しい自然と共存の新下
北の合理主義（下北の村落共同
体）　前田　哲男
下北の滝・巨木・奇岩(3)―下北
半島の滝との出会いを通して　瀬川　威
「うそり」発刊50年の軌跡を通して
半島の史的問題点・課題を中心
に　前田　哲男
青森県の母胎となった六藩と各藩
主一族末裔の動向　葛西　富夫
新鱈請負と新鱈船　富岡　一郎
霊山・釜臥山とお山掛け体験登山
2013パート5　前田　哲男
下北地方の参道狛犬について　三浦順一郎
写真帳に見る「田名部」あの頃　長内　誠一
中世における東の境界域と宇曾利
郷―宇曾利郷の住人像と中世地
名　長谷川俊行
「大湊祭」最初の山車に関する一
考察　立花　善裕
坂井家文書にみる田名部村に残留
した旧斗南藩士族の生業　甲羽　智武
うそり49号の「二北新聞」と記事
五題の一部訂正　相馬　務
うそり総目録　創刊号～第49号


ISSN 0914-0840
うそり
下北の歴史と文化を語る会創立50周年記念号
目　次
巻頭言 …… 下北の歴史と文化を語る会会長　前田哲男　2
下北半島の滝・奇岩・巨木（3）
―下北半島の滝との出会いを通して― …… 瀬川　威　3
「うそり」発刊50年の軌跡を通して
―半島の史的問題点・課題を中心に― …… 前田哲男　13
青森県の母胎となった六藩と
各藩主一族末裔の動向 …… 葛西富夫　49
新鱈請負と新鱈船 …… 富岡一郎　66
霊山・釜臥山とお山掛け体験登山　2013パート5 …… 前田哲男　78
下北地方の参道狛犬について …… 三浦順一郎　91
写真帳に見る「田名部」あの頃 …… 長内誠一　112
中世における東の境界域と宇曾利郷
―宇曾利郷の住人像と中世地名― …… 長谷川俊行　124
「大湊祭」最初の山車に関する一考察 …… 立花善裕　154
坂井家文書にみる田名部村に
残留した旧斗南藩士族の生業 …… 甲羽智武　164
うそり49号の「二北新聞」と記事五題の一部訂正 …… 相馬　務　181
うそり総目録　創刊号～第49号 …… 185
執筆者紹介・会員名簿・編集後記 …… 202
50 終刊 2014　下北の歴史と文化を語る会

＊「編集後記」の冒頭に、「50年の風雪に耐えて『うそり』は、ようやく終刊の50号となりました。」とある。この短い文面に、会の歩みと終刊の痛切の思いが凝縮されているように感じられる。

「下北の歴史と文化を語る会」は国中が東京オリンピックで涌く1964年に、葛西富夫、橘善光、鳴海健太郎、柳谷豊太郎の四人の呼びかけで「下北史談会」として発足。まもなく最後の会長になった前田哲男氏が加わる。前田氏「『うそり』発刊五十年の軌跡を通して」は、会創立の翌年に創刊された「うそり」の節目となる記事をとおして、会の半世紀を総括したものである。創刊号の巻頭言には、「半島の歴史を知ると云うことは単に地方人の在り方だけの問題でなく、日本史の流れに占めている位置を定かにし、その意義を極めるものでありたい」と、地方史を学ぶことの意義、あるべき姿を高らかに宣言している。会は、その理念を実現するために、1966年、「下北半島の正しい歴史を解し、下北半島の文化財の保護及び活用」の拠点としての下北博物館（仮称）の設立に取り組む。残念ながら粘り強い運動も今日まで実っていないが、49号では建設運動を再提案し、希望の灯は失っていない。それだけに、50年50号での解散、終刊は残念である。

◆いわて文化財　岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内　℡019-661-9688
1970年創刊
◇257　2014.1　A4　12p
《正月特集　国・県指定の史跡・建造物の管
理活用と課題》
田村麻呂と蝦夷　金野　静一
指定史跡・建造物の管理活用と課
題
祭り広場や学習の場に　小原　善則
史跡活用の第一歩　石崎　高臣
地域の文化財を守り伝える　藤堂　隆則
歴史・文化を生かしたまちづく
り　千葉　仁一
文化財パトロールで看視　佐々木一成
活用されてこそ深い意義　相原　康二
岩手っ子、日頃の成果を披露　県
民会館大ホール　800人が鑑賞
青少年民俗芸能フェスティバ
ル
新法人移行の申請書を承認　愛護
協会臨時総会／民俗芸能フォー
ラム　11月、花巻会場で／笛の
講座に60人が参加
続平泉志(21)　清衡公八百年／中
尊寺宝物殿／金鶏山を発掘　及川　和哉
◇258　2014.3　A4　8p
遺物が語る郷土の歴史　「遮光器
土偶」縄文時代晩期（約2800年
前）　八木　勝枝
文化財保護の意義　八重樫　勝
岩泉町の文化財保護活動　三上　潤
文化財愛護は故郷を愛する心　多田　茂
矢巾町指定史跡　伝法寺館跡の保
存活動　西野　修
三陸の新たな魅力「三陸ジオパー
ク」　大石　雅之
遺跡・建造物の破壊に憤り
―覆水盆に返らず　細井　計
続平泉志(22)　讃衡蔵／讃衡蔵の
敷地調査／ケマン盗難事件／文
化財の流失　及川　和哉

◆国史談話会雑誌　東北大学国史談話会
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1　東北大
学大学院文学研究科日本史研究室気付
℡022-795-6064　1957年創刊
www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/
◇54　2014.1　A5　184p
大藤修先生退任記念
大藤修先生のご退任にあたって
柳原　敏昭
研究と教育を振り返って
―退任の挨拶を兼ねて　大藤　修
大藤修先生履歴並びに著作目録
研究室創設90周年記念
大会特別講演
所謂戦後の国史学科と周辺
―研究室は赤煉瓦館　新野　直吉
片平時代の国史研究室
―大学紛争のころ　西　洋子
国史・日本史研究室略年表
（2013年版）　柳原　敏昭
画所解考　風間亜希子
明治皇室典範下における皇族の臣
籍降下について　王　陶陶

史料紹介　日本史研究室で見つかった島尾敏雄の手紙―奄美史研究の一齣　柳原　敏昭
歴史通信　「地域と歩む歴史学」―上廣歴史資料学研究部門の活動　高橋　陽一
紹介　田中慶治『中世後期畿内近国の権力構造』　中村　崇志
高橋富雄氏の訃報　入間田宣夫
今泉隆雄氏の訃報　柳原　敏昭

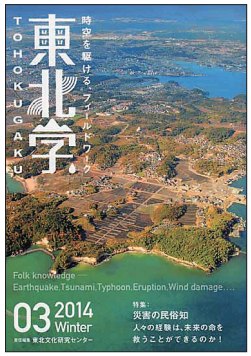
◆秋田県公文書館研究紀要
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301　1995年創刊
www.pref.akita.ig.jp/koubunsyo/
◇20　2014.3　B5　118p
講演録　開館20周年記念講演「古代史上の秋田―秋田　北辺の郷にあらず―」　新野　直吉
講座記録　第2回徳川林政史研究所公開講座 in 秋田「改革の幕開け―村と山の復興と秋田藩政―」
報告1　中期藩政改革をどうとらえるか　金森　正也
報告2　秋田藩における村の飢饉と飢え　栗原　健一
報告3　復興を目指して―山と川と村をつなぐ秋田藩政　芳賀　和朗
質疑・討論／おわりに
昭和20年代秋田県の職務分課の変遷について(2)―本庁事務部局附属機関・地方機関　柴田　知彰
戸村家文書について―秋田藩藩政文書史研究の一視角　鈴木　満
資料紹介　湊八八「日記」(郡方見回役加勢勤中日記)　文政八年乙酉正月　国季

◆秋田県公文書館だより
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301　1995年創刊
www.pref.akita.ig.jp/koubunsyo/
◇29　2014.3　A4　8p
秋田藩家蔵文書　佐竹御宣書状、秋田藩家蔵文書37
開館20周年にあたって　戸嶋　明
開館20周年記念講演会を開催しました
平成25年度　企画展報告　秋田県公文書館所蔵文化財展
資料紹介　戸村家文書
刊行物紹介　絵図図録
平成25年度公文書館講座／第2回徳川林政史研究所公開講座 in 秋田「改革の幕開け―村と山の復興と秋田藩政―」
平成25年度　市町村公文書・歴史資料保存利用推進会議
県政映画上映会―懐かしき昭和三十年代の我が秋田

◆古文書倶楽部　秋田県公文書館
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301
www.pref.akita.ig.jp/koubunsyo/
◇58　2014.3　A4　2p
出羽国七郡絵図の魅力　太田　研
古文書こぼればなし
佐竹義敦の逸事をめぐって　加藤　民夫

◆北方風土　北方風土社
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254　森本彌吉　TEL0187-85-4027
1980年創刊
◇67　2014.1　A5　142p　2000円
わらべうたと門付け　本城屋　勝
雪占い　稲　雄次
キリシタン武士　後藤寿庵とその行方　髙橋傳一郎
阿證上人の物語　十話
―生誕四百年記念　神宮　滋
幕末の銃及び弾薬―和式銃と様式銃及び銃の分類並びに判定の基礎知識と弾薬　佐藤眞基夫
百家風発
元慶の乱を考える―神宮滋「秋田営と元慶の乱」　川崎　利夫
歌人 後藤逸女の友　沼田香雪　髙橋傳一郎
史料編
進藤貞吉著『道中記』(2)（解説・翻刻・注記・編集）　相馬　登
わが村の歴史(1)　創刊号
深澤多市著　復刻　森本　彌吉

◆東北学
東北芸術工科大学東北文化研究センター（発売：はる書房）
〒990-9530　山形県山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168　年10000円　2013年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇3　2014.1　A5　251p　1852円
旅スケッチ(3)　おう、シベリア　田口　洋美
巻頭鼎談　宇宙・地球・人間
―私の科学を語る　松井孝典／尾池和夫／田口洋美
《特集　災害の民俗知》
特集鼎談　人々の経験は未来の命を救うことができるのか　片田敏孝／川島秀一／田口洋美
災害の民俗知とは何か
―伝承の行方　田口　洋美
津波伝承と防災　川島　秀一
奄美・沖縄の台風と災害　上江洲　均
屋敷林と屋敷囲いからみた災害の民俗知　三浦　修
江戸時代の浅間山噴火と復興への歩み　渡辺　尚志
津波避難拠点として機能した社寺　大窪　健之
阿武隈梁山泊外伝(3)　たくきよしみつ
ホンのひとこと
―「いもこ列車」と歴史遺産
フィールドノート(2)―ウラを読む　伊豆内湾に古文書の魚群あり　中村　只吾
アートフルワンダーランド(3)―豊漁の祈り、大漁旗の光と影　謝　黎
三陸沿岸、今―気仙沼／長面浦／雄勝　2013年11月　渡部　桂
復興ダイアリー(3)―新聞紙面にみる復興(2013.3.11～2013.9.11)



＊「民俗知」とは何か。特集に当たっての片田敏孝(災害社会工学)、川島秀一(民俗学)、田口洋美(人類学、環境学)氏による鼎談「人々の経験は未来の命を救うことができるのか」で、田口氏は「人々が、災害であるとか、生活に関するさまざまなことに対して歴史的に経験を蓄積して、その中で醸成してきた集団としての命の守り方といいますか、地域の集団としての知の育成と継承が行われてきたと考えているのです。」と端的に述べる。

片田氏は岩手県釜石市の防災・危機管理アドバイザーとして、学校で防潮堤に頼るだけでない、土地の自然を知るという防災教育に取り組み、児童たちを通して家庭、地域にその意識を根付かせた。それはまさに「津波てんでんこ」の民俗知であった。また川島氏は鼎談とは別に「津波伝承と防災」で、民俗学者山口弥一郎がその著『津波と村』で、三陸海岸を津波「常襲」地ではなく「常習」の字を当てていることを紹介し、津波を生活文化の中に受け入れている積極的な意味合いであると述べる。それは、自然に対して無理に対立したり避けようとする防潮堤や高台移転の発想とはまったく対立するものであると指摘していることにも考えさせられる。特集では他に、奄美・沖縄の台風、岩手県奥州市や富山県砺波平野の屋敷林と屋敷囲い、江戸時代の浅間山噴火などを例に減災と復興における民俗知＝知恵が語られる。民俗学や郷土史研究の存在意義が問われているといってもいいだろう。

◆東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要
〒990-9530山形県山形市上桜田3-4-5
℡023-627-2168　2002年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇13　2014.3　A4　144p
吹浦遺跡出土の縄文土器―今村啓爾氏の研究に学ぶ山形県内の縄文前期末葉の土器群　小林　圭一
土器の誕生―民俗考古学からの推察　名久井文明
弘前藩における猟師の処遇と収入―一ツ森村の辰蔵に着目して　村上　一馬
洪水対策の民俗知―埼玉県富士見市に残る「上げ舟」について　蛯原　一平
現代中国における「伝統服」の受容に関する一考察―上海ＡＰＥＣ会議の唐装を事例に　謝　黎
考古学史の方法―星野達雄を読む　安斎　正人

◆南陽の歴史　南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方　℡0238-43-5299
◇199　2014.2　B5　10p
萩・神明神社の俳諧歌額について　鈴木　孝一
宮内熊野大社おぼえ書(12)　須崎　寛二
会報200号によせて
2014年　南陽の歴史を語る会総会議案

◆民　話　山形短期大学民話研究センター
〒990-2316山形市片谷地515
℡023-688-7544　2001年創刊
◇36　2014.3　A4　4p
武田先生の御逝去を悼む　大友　義助
残された『ガリ版百冊』の重み　石井　正己
再録　武田正先生「民話講座」民話講座(9)「根あない話は語るな」、民話講座(29)「語りの季節到来」、民話講座(30)「子どもの十年は生涯を」、民話講座(31)「さるかに合戦」、民話講座(33)「なら梨とり」
武田正先生著書目録

◆山形県地域史研究
山形県地域史研究協議会
〒991-8501寒河江市大字西根字石川西355
村山総合支庁西庁舎　山形県総務部学事文書課分室内　℡0237-83-1215　年2000円
◇39　2014.2　A5　102p　1000円
庄内最上川南岸地域の農業水利と民間育種家について　日野　淳
鷺畑山古墳群について　萬年　利浩
ホウリョウ神と大泉庄　阿部　公彦
鳥海山大物忌神と薬師・観音信仰　神宮　滋
近世後期余目地域の天領　本間　勝喜
清川大庄屋文書にみる蝦夷地事情　小野寺　裕
東禅寺氏永考　菅原　義勝
自由民権の先駆者　森藤右衛門　樋口　信義
庄内町の集落史への取組みについて　大滝　成紀
庄内地域のモリ供養　阿部　宇洋
清河八郎記念館のあゆみ　廣田　幸記
第39回総会・研究大会の概要
追悼　森芳三先生を偲ぶ
故森芳三先生を偲ぶ　横山　昭男

◆福島県史料情報　福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54
℡024-534-9193　2002年創刊
www.history-archives.fks.ed.jp
◇38　2014.2　A4　4p
摺上川の氾濫から上飯村を守る蛇籠　文政元年(1816)8月10日付陸奥国信夫郡上飯坂村摺上川川除築立御普請所絵図（堀切三郎家文書264号、部分）　渡邉　智裕
慶長五年の安子島城　本間　宏
村絵図と古文書―貝田村山形山の御林　小野孝太郎
「旅行用心集」とふくしま　小野孝太郎
阿武隈川舟運と浦高札　佐々木慎一
新島襄と交流のあった日下義雄　渡邉　智裕

関　東

◆茨城県史研究　茨城県立歴史館
〒310-0034茨城県水戸市緑町2-1-15
℡029-225-4425　1965年創刊
www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp
◇98　2014.3　A5　104p
特集　常陸国風土記1300年
『常陸国風土記』に描かれた倭武天皇　堂野前彰子
歴史随想
『常陸国風土記』と藤原氏　井上　辰雄
常陸大宮市梶巾遺跡の旧石器時代石器群(上)　石川太郎／川口武彦／窪田恵一／小杉山大輔
藩政をめぐる村役人の蔵書と献策―水戸藩領牛堀村須田家を事例として　榎本　博
研究ノート　「小野崎文書」の中の伊達政宗文書　菅野　正道
歴史随想　『安得虎子』編者補考　小森　正明
書評　『茨城県立歴史館史料叢書16　否塞録　悔慚録　明志録』仲田　昭一
県史関係文献目録(37)

◆茨城県立歴史館報
〒310-0034茨城県水戸市緑町2-1-15
℡029-225-4425
www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp
◇41　2014.3　B5　104p
茨城県における古代の製塩土器集成　川又　清明
関東足利氏発給文書にみる戦国期常陸の動向―基頼・晴氏文書を中心に　寺崎　理香
偕楽園の領域―徳川斉昭の「庭園」構想　永井　博
歴史館における行政文書の選別と整理　富田　任
平成25年度地域共同史料調査概要報告　歴史資料課

◆歷史地理学野外研究
筑波大学人文社会科学研究科　歴史・人類学専攻歴史地理学教室
〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
℡029-853-4493
◇16　2014.3　B5　97p
軍港都市横須賀における宅地開発の進展と海軍士官の居住特性―横須賀上町地区を中心に　双木　俊介
近代期の関東山地東麓における水力電気事業の展開と地域住民の対応―津久井郡青根村における流木事業との関わりに注目して　花木　宏直
近代期の神奈川県津久井郡青根村における木炭生産と流通　高橋淳／中川紗智
柳川数一郎「日記書契」について　高橋淳／中川紗智／花木宏直
茨城県つくば市谷田部市街にみる往年のにぎわい　小口千明／高橋淳／上形智香／新宮千尋／中川紗智

◆会報 郷土ひたち　郷土ひたち文化研究会
〒317-0055茨城県日立市宮田町5-2-22
日立市郷土博物館内　℡0294-23-3231
年2000円
◇50　2014.2　B5　4p
祖母のことと「水漏舎」の話　瀬谷　義彦
恵海の森　川上　千尋
ひたちの自然誌(50)
日立地方の『山水小記』　水庭　久尚
ふるさと逍遥(36)
茂宮川あたり(2)　茅根ひろし
『故きを温ねて』を出版して　橘　松壽

◆歴文だより　栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内　℡028-634-1313
年4000円　1991年創刊
◇90　2014.1　A4　4p
《特集　歴史のなかの動物》
狐がもたらす禍福　平野　哲也
ウマと日本人　金子　智美
神と人とを結ぶ動物　佐々木　茂
新刊紹介　足利仏教和合会史編纂委員会編『社会貢献から教育へ―足利仏教和合会の百二十七年』　新井　敦史

◆群馬地名だより　群馬地名研究会
〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
小池照一方　℡027-251-7660　1989年創刊
◇85　2014.1　B5　6p
城堀(滝坂川)考　中島　靖浩
近藤先生を偲んで　澤口　宏
谷川先生を悼む　澤口　宏
◇86　2014.3　B5　10p
うばふところ　姥懐　乳母懐　赤松よし子
小字火生石に付いて(2)　星野　正明

◆群馬文化　群馬県地域文化研究協議会
〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2
宮﨑俊弥方　年4000円　1957年創刊
geocities.yahoo.co.jp/gi/gunmabunka/
◇317　2014.1　A5　76p
《小特集
利根川・渡良瀬川合流域の歴史と景観》
邑楽の古代史と川―館林市史での試み　前澤　和之
田中正造と館林・板倉地域の人びと―足尾鉱毒問題をめぐって　中嶋　久人
報告　国選定重要文化的景観「利根川・渡良瀬川合流域の水場景観」　宮田裕紀枝
動向　「前橋市　八木健次家文書」と群馬県立文書館ロビー展示「戦国時代の古文書」　関口　荘右
文化財レポート　神田・三本木古墳群―宿神田地区遺跡発掘調査の成果から　亀井健太郎
文化財レポート
一之宮貫前神社の報告　柳澤　幸代
書評　玉村八幡宮編『玉村八幡宮社誌』　丑木　幸男
口絵　紺紙金泥写経―群馬県立歴史博物館蔵品資料(118)　中山　剛志

◆群馬歴史散歩　群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
℡027-223-2785　年4500円　1973年創刊
www16.plala.or.jp/kuzira226/
◇232　2014.1　A5　56p
《特集　中近世の館林地域》
館林市内を歩こう―歴史の小径から館林城跡へ　岡屋　紀子
頭上に種子をいただいく地蔵画像板碑　簗瀬　大輔
藩主の墓に参る―徳川四天王、榊原康政がねむる善導寺　黒澤　照弘
旧矢場川流域を歩く　飯森　康広
山崎一『群馬県城館調査の手引き』(2)　茂木渉・翻刻／飯森康広・割付
コラム　「群馬県城館址調査の手引き」との出会い　飯森　康広
高山彦九郎日記による歴史散歩(39)　『江戸日記』(5)　正田　喜久
箕輪城と稲荷(松下)曲輪　西原　巌
円空上人と上州　小山　宏
中曽根康弘資料館六周年を寿ぐ　小山　宏
上細井耕地整理の碑　北爪　隆雄
新刊紹介　『ルーツ探訪と郷土史東宮鐵男と満州開拓移民』東宮春生編著
◇233　2014.3　A5　56p
白衣大観音建立の趣意書　田口　正美
山崎一『群馬県城館址調査の手引き』(3)　茂木渉・翻刻／飯森康広・割付
高山彦九郎日記による歴史散歩(40)　『江戸日記』(6)　正田　喜久
柳生宗矩と柳沢吉保　西原　巌
秋元長朝と井伊直政―総社城と天狗岩用水　大塚　實
富士山信仰と群馬　小山　宏
れきさんサロン　書籍紹介　『大江・毛利の一族』関久著、『七男と不二夫の満州』東宮春生編著　事務局
青森歴史散歩で出会ったもの　井野　修二

◆埼玉史談　埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5　大圖口承方
℡049-281-4983　年4000円　1929年創刊
◇316（60-4）2014.1　A5　46p
古代東山道武蔵路―越辺川から利根川まで　高柳　茂
秩父郡長瀞町下郷採集の土製耳飾り　冨田　靖雄
畑時能―日本で初めて軍用犬を使った男　大墅　鴻風
崇徳寺跡と鎌倉街道(苦林宿)　内野　勝裕
武蔵国熊野里修験笹井観音堂(3)　高橋　一
唐澤放水路建設に土木技師として活躍した高田廣氏と反対運動　荻野　勝正
資料紹介
父帰る―風と出始末記　佐藤　繁
桃井可堂ゆかりの脇差拵　奥田　豊
表紙写真解説　さいたま市櫛引観音堂　年不詳阿弥陀三尊板碑断片
口絵写真解説　東山道武蔵道推定道路遺構発掘現場写真

受贈図書紹介
下新河岸・齋藤家文庫目録
例会報告　第647回　新座市片山
地区見学／第648回　富士見市
見学

◆埼玉地方史　埼玉県地方史研究会
〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
埼玉県立文書館内　℡048-865-0112
年3000円　1975年創刊
◇68　2014.2　A5　46p
近世後期における改革組合村の編
成と運営の検討―武蔵国熊谷宿
北組合を事例として　藤井　明広
近現代公印制度の成立史
―埼玉県印を主な事例として　根ヶ山泰史
研究ノート　埼玉県の学校草創期
における忍藩士族の役割　石井　昇
平成24年度埼玉県地域研究発表大
会報告要旨
「江戸川筋御猟場問題」と近代
地方自治制　中西　啓太
上馬場村検地帳と葛西井堀開削
清水　正彦
明治前期における大小区集会
―入間・熊谷県を事例に　江連　晃

◆日本の石仏
日本石仏協会（発売：青娥書房）
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
℡042-971-6512　年8000円　1977年創刊
www3.ocn.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html
◇149　2014.3　A5　64p　2000円
巻頭随想
三八回目の総会を終えて　坂口　和子
《特集
信仰の対象と芸術の源泉としての富士山》
信仰の対象と芸術の源泉としての
富士山（第35回石仏公開講座より）　竹谷　靱負
石碑「禁芸術売買」碑と「芝居興
行」の取締　加藤　和徳
法蔵菩薩石仏とその由来文書　尾田　武雄
石仏入門(4)　千手・十一面・如意
輪・馬頭観音菩薩　門間　勇
名号塔の知識(16)　梵字名号塔　岡村　庄造
「石」を知る(38)　小松　光衛
石仏写真と私(38)　石仏からのお
土産物が…　ゲスト桑原和位さ
ん　杉本　康希
あ・ら・か・る・と―私の石仏案内
龍の狛犬　東京都あきる野市養
沢　養澤神社　町田　茂
子狐を抱く不動明王像　鳥取県
米子市愛宕町38　総泉寺　中森　勝之
日本石仏協会主催・第100回石仏
見学会報告　練馬の庚申板碑と
庚申塔　滝沢　昌久
日本石仏協会主催・一泊見学会報
告　新潟県長岡市の石仏めぐり
中野　高通
会員の広場
印旛・手賀沼周辺の「生首持ち
庚申」の詳細　石田　年子
富士山麓の富士塚　井戸　寛
白塔の観音様　中野　高通
「盃状穴とは何か」謎解きに挑戦
たなかよしゆき
コラム　牛・「大日如来」像　長
崎県南松浦郡富江町松尾　妙泉
寺　水野　英世
第38回総会報告　（大野）
日本石仏協会主催「石仏写真展20
14」報告　中森　勝之

◆我孫子市史研究センター会報
〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
岡本方　℡04-7149-6404
www.geocities.jp/abikosisiken/
◇143　2014.1　A4　6p
歴史講演会「平将門と我孫子の古
代」川尻秋生氏
井上基家文書の研究
質地証文(3)　清水　紀夫
井上文書研究会12月度報告　長谷川　一
井上文書研究会1月度報告　長谷川　一
合同部会1月の活動(2014/1/18)　中澤　雅夫
歴史部会12月の活動と今後の活動
予定　関口　一郎
歴史探訪部会
平成26年1月の活動　長谷川秀也
◇144　2014.2　A4　8p
川尻秋生氏「平将門と我孫子の古
代」の講演を聞いて　茂木　勝己
懇談会…和気あいあい　荒井　茂男
募集　『新四国相馬霊場八十八ヶ
所を訪ねる』出版記念　歴史探
訪部会主催　相馬霊場の札所参
りその3　布佐～湖北
古文書日曜部会レポート　山崎　章藏
我孫子の社寺を訪ねる(4)
―白山(1)　吉田とし子
合同部会2月の活動　中澤　雅夫
歴史探訪部会2月の活動　長谷川秀也
歴史部会1月の活動　関口　一郎
◇145　2014.3　A4　8p
歴史講演会参加者のアンケートか
ら　荒井　茂男
第12回古文書解読講座に参加して
松本　守
歴史探訪部会よりご案内　歴史探
訪「石岡市の歴史と文化」
歴史探訪部会3月の活動
相馬霊場の札所参り　その3　長谷川秀也
歴史部会2月の活動　荒井　茂男
合同部会3月の活動(3/15)　中澤　雅夫
井上家文書研究講座 3月の活動　長谷川　一

◆佐倉市史研究
佐倉市総務部総務課市史編さん担当
〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78
℡043-486-3478　1983年創刊
◇27　2014.3　A5　161p
《特集　『佐倉市史』考古編刊行》
考古専門部会員から
『佐倉市史』考古編の刊行
郷土景観の時間　近森　正
佐倉市の旧石器時代探訪　橋本　勝雄
『佐倉市史』考古編の縄文時代
について　堀越　正行
『佐倉市史』考古編の弥生時代
について　柿沼　修平
古墳時代の佐倉　萩原　恭一
遺構・遺物からみた奈良・平安
時代の佐倉　小林　信一
考古学からみた中・近世の佐倉
小高　春雄
刊行に添えて
佐倉市間野台貝塚の北方系細石
刃石器群―その再検討と全国
的な位置づけ　橋本　勝雄
『佐倉市史』考古編における「分
析と集成」について―特に砥
石分析に関する補記　内田　理彦
講演録　佐倉藩の戊辰戦争　三浦　茂一
研究　旧制佐倉中学校滑空部史話
（前）　木暮　達夫
資料紹介
都島英喜「征清日誌」　前川　公秀
宝金剛寺蔵「銅製　宝冠」につ
いて　須賀　隆章

明治初期の人物写真帖にみる佐
倉藩出身の人々　土佐　博文
投稿　藩侯に仕えた刀鍛冶―総州
佐倉刀工事情(系譜)　井原　重之

◆佐倉の地名　佐倉地名研究会会報
〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6
野村忠男方　℡043-487-1033
年2000円　2012年創刊
◇6　2014.1　A4　20p
地名に学ぶ(5)
「新町」と「田町」　野村　忠男
第32回全国地名研究者発表大会
地名は警告する(2)　田中　征志
臼井八景　立崎　定幸
「おたつ」の碑文と伝承・伝説と
いうこと　古山　哲子
佐倉市民文化祭参加　ミニ・シン
ポジュウム　佐倉の古い地名
を語る　平成25年11月3日
司会・宮武孝吉　伊藤　清
城砦に因む地名
「根古屋」について　野村　忠男
土浮、大佐倉、高崎の小字名　松平喜美代
佐倉市内の「びょう」地名につ
いて　山都　紘
平成25年佐倉市民文化祭　協賛事
業参加報告／臼井老幼の館祭
参加報告／第40回志津公民館祭
参加報告

◆市史研究誌 四街道の歴史
四街道市史編さん委員会
〒284-0003千葉県四街道市鹿渡2001-10
四街道市教育委員会　2002年創刊
◇9　2014.3　A5　96p
四街道市の古代編(1) 古代豪族物
部氏をめぐる四街道と匝瑳　西山　太郎
四街道市の中世編
(1) 平家物語異本『源平闘諍録』
と四街道　文化財グループ
(2) 二人の千葉勝胤について
樋口誠太郎／文化財グループ
(3) 原氏私稿―千葉宗家宿老原
氏の歴史を辿る　柴田　聡司
四街道市の近代編(1)
関東大震災と四街道　林　良紀
故 日色義忠氏を想う　文化財グループ

◆紙魚之友　房総史料調査会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1　東京大
学文学部日本史学研究室　1985年創刊
◇32　2014.3　B5　4p
調査報告
旭市長部高木正義家文書　岩田　愛加
史料調査参加記―第1次旭市長部
高木正義家文書、高木太一家文
書調査　山川　麗奈

◆東邦考古　東邦高等学校考古学研究会会誌
〒275-8511千葉県習志野市泉町2-1-37
東邦大学附属東邦高等学校内
℡047-472-8191　1963年創刊
◇38　2014.3　B5　102p
研究ノート　千葉県内の竪穴式住
居の面積(23)　東邦考古学研究会
古記録に見る君津地方の古墳調査
(1)―明治･大正期を中心にして
酒巻　忠史
山田孝雄『国体の本義』における
国体観―文部省刊『国体の本
義』との比較から　寺崎　信之
講演会記録「ならしの　日独市民
交流100年」―習志野ドイツ兵
俘虜収容所開設百周年　ボトル
シップが結ぶ友好の絆　山岸　良二

オールウェズ　大久保今昔物語(3)
―斎藤竹子さんの聞き書き
山岸良二／伊東雅也
歴史雑誌『歴史リアル』掲載原稿
「各地の豪族居館の実像」　山岸　良二
東邦考古学研究会
夏期合宿旅行の公式記録　荻野　智大

◆成田市史研究　成田市教育委員会
〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3　成田市
立図書館　℡0476-27-2000　1972年創刊
◇38　2014.3　A5　140p
聞き取り　石川隆さん　石丸智さ
んに聞く　石川甚兵衛・蓬莱閣
ホテルについて　話し手：石川
隆･石丸智　聞き手：矢島毅之･
神尾武則・中村政弘
成田市立図書館デジタル資料につ
いて―三橋鷹女資料と富澤庸祐
アルバム資料
川名大／島田七夫・神尾武
則・中村政弘・矢島毅之
閉校される滑河・小御門・名木・
高岡小学校及び東小学校の資料
所在確認調査(概報)　島田　七夫
成田山門前町調査研究事業報告
―平成24年度・平成25年度　鈴木　正崇
補足　長谷川興成さんに聞く
子どもの目が見た戦中戦後の成
田町　矢島　毅之
成田市史年表稿
2011(平成23)年　神尾　武則
成田市関係新聞記事目録
2011(平成23)年

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方　℡04-7196-3375
年3000円　1980年創刊
◇120　2014.1　B5　14p
新年懇談会のお知らせ／石仏勉強
会のお知らせ　緊急報告　東
葛・印旛地方の生首持ち庚申の
謎／石仏見学会のご案内　江戸
川区東葛西の庚申塔めぐり
調査概報
君津市法巌寺の石造物略報　早川　正司
史談八千代　創立40周年記念　特
集　旧村上村／旧下市場村の総
合研究そのⅡ
木更津の石造物(2)
石工とその系譜　稲本　章宏
石造文化財見学会より
上総地方の石造物探訪　玉井ゆかり
石仏探訪(10)　常陸太田の蛇紋岩
で造られた手水石　石田　年子

◆松戸市立博物館紀要
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
℡047-384-8181　1994年創刊
www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇21　2014.3　A4　56+37p
エッセイ　パキスタンで日本語　望月　幹夫
現代史展示「常盤平団地の誕生」
の新しい姿―展示リニューアル
のための基礎的な考察　青木　俊也
千葉県松戸市竹ヶ花古墳の再検討
小林孝秀／堀哲郎
研究ノート　失敗しない郷土玩具
製作マニュアルの試作―郷土玩
具「パタパタ」をめぐって　山田　尚彦
資料紹介　子和清水遺跡出土の加
曾利ＥⅠ式土器―朝顔形(ラッ
パ状)深鉢形土器について　大森　隆志
史料紹介
本土寺過去帳天正本補遺―未公

開写本による復元の試み　中山　文人
東京大学史料編纂所所蔵「北島秀朝事蹟」　柏木　一朗
松戸市立博物館所蔵「寛永十二年六月廿四日付け伊奈忠治書状」―金町松戸関所関係資料　小高　昭一

◆まつどミュージアム　松戸市立博物館
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
TEL047-384-8181
www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇22　2014.3　A4　8p
《開館20周年記念号》
ごあいさつ　博物館20年のあゆみ、そして、これからの博物館　望月　幹夫
考古　地中に眠る人々の痕跡。発見された“モノ”に込められたメッセージ読み解く。
松戸から世界へ―幸田貝塚の土器、フランス・カナダへ
歴史　人々が残した記録を便りに、過去と今とを考えてみる。
民俗　「今」につながる。伝える、伝わる。

◆アーカイブズ
独立行政法人国立公文書館
〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL03-3214-0621　www.archives.go.jp
◇52　2014.3　A4　83p
〈特集　アーカイブズ国際会議―ICA，EASTICA，SRBICA〉
二つの国際会議に出席して　加藤　丈夫
ICA 年次会合 「説明責任、透明性、情報へのアクセス」参加報告　中山　貴子
第11回 EASTICA 総会及びセミナー「デジタルアーカイビング―計画から実施まで」参加報告　太田　由紀
SARBICA 国際セミナー「アーカイブズの災害管理及び復旧―デジタル時代の解決策と課題」参加報告　下重直樹／松尾弘子
フランスの公文書館制度及びフランス国立公文書館視察報告　小宮山敏和／太田由紀
中国国家档案局・中央档案館の最近の動向　大澤　武彦
宮内公文書館について　丸山　寿典
東北大学史料館創立50周年を迎えて　永田英明／加藤諭
宮城県公文書館における取組　門脇　友治
熊本県における行政文書管理制度　楠本　誠二

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　TEL03-3620-9393
◇552　2014.2　A4　4p
2014浮世絵展　タテモノとマチナミ―絵師たちの挑んだ時代と空間　小林　優
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(15)　戦時下の鹿浜の子供たちの遊び(6)　小川誠一郎
コラム　足立の明治時代を考える　夏目　琢史
◇553　2014.3　A4　4p
足立の明治時代―伊興氷川神社の絵馬を中心に　夏目　琢史
北への回国修行者群　日野喜八郎
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想い出(16)　島の分教場での学習(7)　小川誠一郎

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　TEL03-3620-9393
◇311　2014.2　A4　8p
合衆国首府「ワシントンの桜」(17)　昭和26年東京都公園協会　病虫害のため、寄贈のサクラ　ことごとく焼却される(3)
足立区の文化財　平成2年版「足立区の文化財」による　有形文化財(歴史資料)　牧野先生碑1基、瀬田倉右衛門碑　1基、河内久蔵碑　1基
足立史談カルタ紹介 「う」唄に残った川越夜船、「ゐ」井戸を掘り疫病退散弘法大師、「の」飲みに飲んだり酒合戦
じんがんなわ　加藤　修
正月探訪・柴又七福神・おまけつき
榛名講と足立(4)　竹内　秀夫
古峯講(上)　第三の思い出　大熊久三郎
古峯講(下)　竹内　秀夫
◇312　2014.3　A4　8p
合衆国首府「ワシントンの桜」(17)　昭和26年東京都公園協会　病虫害のため、寄贈のサクラ　ことごとく焼却される(4)
足立区の文化財　平成2年版「足立区の文化財」による　有形文化財(歴史資料)　正木櫟蔭事績碑　1基、高正天満宮縁起碑　1基、明王院山岳　1面
読んでみませんか　巣兆句集「曾波加理」／森鴎外撰文　大正記念道碑移設申請認可されました
入谷の釣船講について　薊　照夫
まち歩きのススメ？　郷土史は見た瞬間の写真だけではない　矢沢幸一朗
おかげさまで90年 第5号（潤徳学園）

◆あるむぜお　府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921　1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇107　2014.3　A4　8p
多摩川と府中(4)　多摩川に水鳥ふたたび　中村　武史
リニューアルリレー展　府中タイムトラベル　佐藤　智敬
NOTE　北鎌倉・北条氏・鎌倉街道　小野　一之
知る人ぞ知る！府中ゆかりの人物(12)　小野義綏　花木　知子
最近の発掘調査　朝日町で新たに旧石器時代遺跡を発見！　朝日町3丁目　湯瀬　禎彦
連載　天文・宇宙の最新動向(4)　電波で宇宙を見る、アルマ望遠鏡(2)　インタビュー：平松正顕氏　本間　隆幸

◆板橋史談　板橋史談会
〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
大澤鷹邇方　TEL03-5398-2682　1966年創刊
◇279　2014.2　A5　23p
表紙写真解説　赤塚諏訪神社獅子舞(大門)　井上　富夫
東京初空襲と報道管制　若林　清
B29が富士山を目指して飛んで来た頃　松澤　歌子
寺谷隆子さん「糸賀一雄記念賞」を受賞　石塚　輝雄
ひろば　渋沢栄一翁の寄付と読書

を勧める書　大澤　鷹邇

◆縁 集いの広場　縁フォーラム
〒180-0023東京都武蔵野市境南町2-12-2-603　武蔵野エイトマンション
倉石美都方　2012年創刊
◇5　2014.2　A4　42p
木の上る伝承―木の上るのには理由がある(3)　倉石　忠彦
岩手県八幡平市田頭集落の葬送儀礼の変容　安藤　有希
東京生活史(1)
―両親のこと、大森のこと　髙久　舞
失われた時を求めて―日本文化が置き去りにしたものを「家門の栄光」から読む　倉石あつ子
瑞山市玉女祭　倉石　美都

◆奥武蔵　奥武蔵研究会
〒350-1301埼玉県狭山市青柳63
新佐山ハイツ4-504　藤本一美方
◇395　2014.1　B5　35p
新しい年に向けて　加藤　恒彦
旧権現堂村取材ノートから織部の賦　小泉　重光
奥武蔵・秩父の獅子舞(50)
―毛呂山町葛貫住吉四所神社　関口　洋介
子ノ権現の出開帳(2)　酒井　昌樹
慈光寺麓18社巡拝(2)　酒井　昌樹
13年度 河田賞／13年度 山行賞／13年度 集会賞
山行報告
続編・奥武蔵中世の城跡を歩く
(6)　太田金山城(番外)　飯塚　孝雄
慈光寺麓18社巡拝(2)　酒井　昌樹
奥武蔵研究会と秩父事件　奥村　雅
飯能歴史探訪　成川　茂雄
続編・奥武蔵中世の城跡を歩く
(7)　大蔵館・笛吹峠　小泉　重光
亀戸あさくさ古道　秋澤　英雄
◇396　2014.3　B5　34p
水の流れは変わらず　加藤　恒彦
新会長就任あいさつ　「奥武蔵」の更なる発展のために　藤本　一美
児玉の文化財と金屋戦争　町田　尚夫
奥武蔵・秩父の獅子舞(51)
―北浅羽・八幡神社の舞　関口　洋介
アザ穴と奥武蔵の鍾乳洞　小泉　重光
慈光寺麓18社巡拝(2)・補足　酒井　昌樹
安全登山コラム―山の装備品　坂田　康明
今後の安全対策活動について　吉田美知子
2013年　奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭難　町田　尚夫
山行報告
続編・奥武蔵中世の城跡を歩く
(8)　太築城　小泉　重光
続編・奥武蔵中世の城跡を歩く
(9)　羽尾城・山田城・泉福寺館　小泉　重光

◆季刊 Collegio　之 潮
〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
℡042-328-1503　2005年創刊
www.collegio.jp
◇55　2014.2　B6　76p　500円
山の手台地と下町低地の周辺部における大地と低地の変遷　松田　磐余
「江戸前島」の成立―『対話で学ぶ東京・横浜の地形』を読んで　鈴木　理生
フランス古地図音楽散歩(37)
バスティーユ　関根　敏子
「酒場學校」閉校記　金井　真紀
東京の縄文遺跡
府中市本宿町遺跡　安孫子昭二
坂とCMが出会うとき(2)　渡邊　一夫
せたがや中世拾い歩き(6)　彼岸と此岸をつなぐ橋―熊野信仰の空間を行く　谷山　敦子

◆北区飛鳥山博物館研究報告
〒114-0002東京都北区王子1-1-3
℡03-3916-1133　1999年創刊
◇16　2014.3　B5　116p
奥東京湾口部における土器製塩の展開　阿部　芳郎
公益の巡礼者　最後の滝野川町長
有馬浅雄　有馬　純雄
活動報告　回想法を取り入れた出張プログラムおよび展示の実践　久保埜企美子
資料紹介　「飛鳥山暮雪」考　増田　由貴
平成25年度文化財調査・保護事業の概要と実績
エキシビション・レヴュー
身のまわりを、見回してみる。　田中　葉子

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方　℡03-3907-0040　1986年創刊
◇111　2014.2　B5　12p
第32回定期総会　林　健一
第372回 月例研究会　12月8日(日)
「王子神社・王子稲荷神社・そして上ノ原台地」その歴史語り
副題(狐で町おこし)　高木　基雄
第373回 月例研究会(講演会) 1月25日(土)　気候変動とはなにか　大平　一典
第371回 月例研究会　11月24日(日)
公益の巡礼者　最後の滝野川町長　有馬浅雄　有馬　純雄

◆郷土史　八王子市川口郷土史研究会
〒192-0151東京都八王子市上川町3160-9
車田勝彦方　℡042-654-3101
◇35　2014.2　B5　16p
地域の“絆”　瀬沼　秀雄
平成25年総会・新年会　創立35年を迎え、新体制で船出　石橋　亨
眠りから覚める八王子城とオフィシャルガイド　金子　信一
平成25年春の見て歩き　八王子城についての講義と復元の進む御主殿跡を散策　常盤　聖一
市民自由講座
「八王子空襲」―戦災を語り継ぐ　瀬沼　秀雄
自由民権と絹の道
―思想を伝えた男たち　岡村　繁雄
金石文などからみた中世の宗門事情　再考・法蓮寺と龍光寺　杉田　博
最上徳内と八王子
―山形県村山市で講演　五味　元
「川口地区の今―写真集2012―」と中央大学経済研究所委員の川口地区訪問　車田　勝彦
蟻と詩人―第20回透谷祭　齋藤　三男
平成25年度川口中学校　総合的な学習『地域学習』での指導　齋藤　三男
お十夜の思い出
大横町・大善町今昔　古坂　容子
平成25年秋の史跡巡り
八王子城の落城と貞心尼　玉利　勝範
手作り甲冑と武者行列の醍醐味　秋山　勝男
行事報告　一年を振り返る

◆儀礼文化ニュース
一般社団法人儀礼文化学会
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
℡03-3355-4188
◇193　2014.3　A4　8p
催事スケッチ　香取神宮御田植祭

豊作を願い、神へ切実な祈り　渡辺　良正
春季大会は四月開催
雅楽に親しむ
地方大会　上鴨川住吉神社神事舞
と姫路城見学／儀礼文化セミナ
ー　釋奠―孔子祭と足利学校の
見学
レポート
儀礼文化講座（第4回）「年中行
事と食べ物」　講師：辻義一
佐々木　寛
儀礼文化講座（第5回）「心があ
っての作法、そして自己を知
る」　講師：蜂谷宗苾　佐々木　寛
儀礼文化講座（第6回）「冬の茶
花―炉開き・口切・師走」
講師：岩田宗玹（珖園）　佐々木　寛
儀礼文化講座（第7回）「出雲大
社『平成の大遷宮』について」
講師：草川和泉　佐々木　寛
儀礼文化セミナー（第2回）「あ
んばさま総本宮　大杉神社秋
の大祭参観」　塩澤以知子
儀礼文化セミナー（第3回）「落
語鑑賞―真打昇進襲名披露」門脇悠美子

◆交通史研究
交通史学会（発売：吉川弘文館）
〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1
波田野富信気付
1976年創刊　www.kotsushi.org
◇82　2014.2　A5　81p
記念講演論文　韓国交通史研究の
現状と展望―三国～朝鮮時代の
陸上道路交通を中心に(3)　趙　炳魯
大会記念講演論文
宿場世界の多様性と広がり
―近世後期の神奈川宿　井上　攻
近代の鉄道と醤油醸造業者の販
路開拓―明治36年の中央東線
甲府延伸をめぐって　井奥　成彦
2013年度シンポジウム・巡見報告
シンポジウム「四国の地域社会
と交通」と巡見　常任委員会
シンポジウム報告要旨
四国遍路の道標について
―愛媛の標石を中心に　今村　賢司
讃岐高松藩における特産品流
通について―讃岐国大内郡
引田浦を事例に　萩野　憲司
近世阿波・那賀川流域におけ
る産物と流通―仁宇谷産物
趣法を中心に　町田　哲
土佐藩領の「浦」と「堀湊」　荻　慎一郎
書　評
木下良著『日本古代道路の復原
的研究』　武部　健一
篠崎尚夫編著『鉄道と地域の社
会経済史』　大矢悠三子

◆寺院史研究　寺院史研究会
〒124-0024東京都葛飾区新小岩3-20-4-101
岡野浩二方　1980年創刊
◇14　2013.11　B5　127p　1800円
御毛寺知識経についての基礎的考
察―「御毛寺」「御気院」を中心
として　藤本　誠
天台僧延源の大威儀師補任につい
て　岡野　浩二
観智院杲宝・賢宝の教祖修学と
「大日経疏」　西　弥生
中世後期における東南院主と院家
領　畠山　聡

◆城郭史研究
日本城郭史学会（発売：東京堂出版）
〒174-0042東京都板橋区東坂下2-4-3-1103
℡03-3967-1948　年6000円　1968年創刊
◇33　2014.2　B5　125p　2700円
『武家諸法度』の居城補規定―寛
永の武家諸法度の解釈と運用　久保田正志
播磨国矢野荘飽間氏の軌跡　三浦　紀子
河津城跡に関する一考察
―発掘調査を中心として　小野　秀樹
豊前長岩城に関する一考察　小高巳季彦
近世城郭土塀高の考察　伊藤　尚武
日出城鬼門櫓の移築復元と鬼門除
け　三ツ股正明
大坂城再築関係史料の紹介
―游酔庵文庫所蔵文書から　伊藤　一美
城郭史関係論文目録　阿部　和彦
平成24年度日本城郭史学会　活動
報告

◆城郭だより　日本城郭史学会会報
〒174-8691東京都板橋区　板橋北郵便局私
書箱50号　℡03-3967-1948　1993年創刊
◇84　2014.1　A4　6p
小田原城御用米曲輪から
戦国期の池泉庭が出土
李氏朝鮮王朝の最大規模の山城に
再現　南漢山城行宮が復元成る
最近の城郭ニュースから　仙台城
大手土塀修復成る／白河小峰城
石垣復旧着手／米沢舘山城に石
垣遺構／石材搬出遺構を確認
最近の注目される城郭関係図書か
ら　花ヶ前盛明編『上杉謙信謎
解き散歩』、日本古城友の会『城
と陣屋　50周年記念号』、彦部
篤夫編『彦部家の歴史』、森幸
夫著『小田原北条氏権力の諸相』
各地の城郭研究会活動から／日本
城郭史学会活動から

◆書籍文化史　鈴木俊幸
〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
中央大学文学部3833号室
℡042-674-3789　2000年創刊
◇15　2014.1　A5　122+26p
江戸の書籍文化から―印刷法と版
木、そして校正の例　岩坪　充雄
『大勢三転考』の出版年月―「蔵版
目録」と「製本書目録」の効用
稲岡　勝
古活字版悉皆調査目録稿(5)　高木　浩明
資料紹介　長野県行政文書より旧
長野県書籍文化・メディア関連
史料(6)　旧長野県翻刻教科書
関係史料(下)
2013年度中央大学ＦＬＰ鈴木ゼミ
『増補改訂　近世書籍研究文献目録』
補遺(7)　鈴木　俊幸

◆杉並郷土史会史報
〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方　1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
◇243　2014.1　A4　10p　400円
妙法寺前身　廃寺・大正寺と大宮
小学校　小川　春夫
日本の詩情　神山　敏夫
第497回例会記　方丈記を語る―
執筆八百年の節目に　講師：貝
瀬弘子先生　（大場）
井草八幡宮例大祭
古式流鏑馬神事　伊東　勝
馬の話　新村　康敏
文化財紹介ロビー展示開催　石村　正臣
杉並郷土史会　創立40周年・第
500回例会　講演　日本の原風景
・棚田の魅力と役割　早大名誉
教授・中島峰広先生を迎える　（新村）

◆**戦国史研究**
戦国史研究会（発売：吉川弘文館）
〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
℡03-3813-9151　1981年創刊
◇**67**　2014.2　A5　52p　667円
天文期伊予河野氏の対京都外交―梅仙軒霊超を介する「近衛ルート」　磯川いずみ
土豪の生業と地域社会―駿河国駿東郡芹沢氏を事例に　小佐野浅子
羅針盤
足利政氏の下総篠塚対陣に関する一史料　田中　宏志
第三次川中島合戦の上野原の地について　柴辻　俊六
上山城守護代の内堀東雲軒　馬部　隆弘
戦国史関係論文目録（平成25年1月～6月）
例会記録／例会報告要旨

◆**全日本郷土芸能協会会報**
〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14　パークハウス赤坂氷川102　℡03-3583-8290
年2000円　1995年創刊　www.jfpaa.jp
◇**74**　2014.1　A4　24p
篠原踊　奈良県五條市大塔町国選択無形民俗文化財　阪谷　民男
年頭のご挨拶　中嶋　春洋
平成26年行事日程／「鹿島みろく」調査報告書
昭憲皇太后百年祭―郷土芸能奉納／東日本大震災―郷土芸能復興支援プロジェクト事業　第16回全国こども民俗芸能大会　第2回伝統文化継承フォーラム
報告　民俗芸能で広がる子どもの世界　第15回全国こども民俗芸能大会／北上市文化財活性化実行委員会主催　第4回秋の子どもみちのく芸能まつり
東日本大震災・郷土芸能復興支援のプロジェクト事業　報告
田楽座だより　歌舞劇団田楽座　松田みつ子
獅子博物館開館20周年記念　第7回獅子博物館表彰式／「マレの会」　韓国芸能交流の旅　韓国からの手紙（イソンス）
祭暦　2014　1月下旬～4月／新年～春の芸能イベント情報　2014
地芝居　全国で12回目を迎えた、かながわ伝統芸能祭　地芝居2014／第23回全国地芝居サミット in 神戸　開催案内／兵庫県養父市の子ども歌舞伎　ＮＨＫ総合ＴＶで紹介
地芝居探訪（49）　赤坂の舞台歌舞伎公演／小森歌舞伎／横尾歌舞伎／入谷歌舞伎／小鹿野歌舞伎／さぬき歌舞伎まつり
地芝居あれこれ（13）　西塩子の回り舞台―日本最古の組み立て式歌舞伎舞台　北河　直子
地芝居あれこれ（13）　東作州地歌舞伎保存協議会って何ですか？　蒲池　卓巳
地芝居公演情報　1月下旬～3月／岩国小学校での子ども歌舞伎の取組み／岐阜の地歌舞伎　朝日新聞プラス・シーに掲載
民俗楽器（50）　トルコのチューリップ時代の両面締め太鼓ダウル　山本　宏子
空白の沖縄芸能史（3）
嗚呼！我青春の唄が聞こえる　中坪　功雄
会員紹介　稲付千本杵餅練唄餅搗唄保存会　小川　孝

◆**大道芸通信**　日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄　℡03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇**260**　2014.2　A4　2p　100円
江戸の春
◇**261**　2014.3　A4　2p　100円
『熙代勝覧』が載せる生業（4）
木魚講とは？

◆**多摩地域史研究会会報**
〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
梶原方　1991年創刊
tamatiken.web.fc2.com
◇**109**　2014.2　B5　6p
第83回例会報告　多摩の中世城館を歩く（6）―秋川流域の山城・戸倉城　西股　総生
地域史情報室　第9回稲城市郷土芸能祭り　平成26年3月2日（日）
多摩地域史研究会　第84回例会
東久留米市の旧村・柳窪村を歩く

◆**多摩のあゆみ**　たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
℡042-574-1360　年600円　1975年創刊
www.tamashin.or.jp
◇**153**　2014.2　A5　112p
《特集　多摩の瓦》
中世多摩の瓦　深澤　靖幸
真慈悲寺推定地出土の中世瓦について　小黒　恵子
八王子市別所蓮生寺と出土・採集された中世瓦―『由木山由来記』に視る栄枯盛衰　清野　利明
近世から近代の多摩の瓦　内野　正
日野宿本陣の瓦　大石絵里子／髙橋秀之
洋風建築への誘い（42）
煉瓦が支える橋めぐり　伊藤　龍也
建物随想記（37）　明治時代の橋梁　酒井　哲
古文書は語る（38）　成木石灰の輸送と江戸城改修工事―『朝野旧聞裒藁』所収「御用石灰付送りにつき申渡書」　馬場　憲一
多摩の食文化誌（14）　雑穀を食べるまで―農具と精白器の登場　増田　昭子
多摩のみほとけ（16）　稲城市常楽寺　木造阿弥陀三尊像　齊藤　経生
本の紹介　石井義長著『武蔵国多摩郡と由木の里の昔語り』　佐藤　広
まちの情報ハブ・図書館（16）
羽村市図書館　浦野　幸子
情報　多摩の博物館だより

◆**調布市郷土博物館だより**
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
℡042-481-7656　1978年創刊
◇**75**　2014.3　A4　8p
京王線　高架化構想から地下化へ
聞き書き　井上醤油醸造　関口　宣明
博物館の資料収集活動
平成23年度事業報告

◆**調布の文化財**　調布市郷土博物館
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
℡042-481-7656　1986年創刊
◇**50**　2014.3　A4　8p
白百合女子大学めぐみ荘と新井家住宅を国の登録有形文化財（建造物）に答申!!
新登録の文化財
国登録有形文化財（建造物）「白百合女子大学めぐみ荘（旧菊池家住宅主屋）」　赤城　高志

国登録有形文化財（建造物）「新井家住宅主屋・内蔵・外蔵・旧蚕室・中門及び塀」　高野　千尋
新指定の文化財
市指定有形文化財（絵画・歴史資料）「紙本著色仏涅槃図」西光寺　長瀬　出
市指定有形文化財（工芸品）「梵鐘」西光寺　立川　明子
発掘調査レポート　飛鳥時代のムラを掘る―入間町城山遺跡の発掘調査から　有村　由美

◆東京産業考古学会　NEWSLETTER
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43　柚須紘一方　FAX048-479-7490
tias3.web.fc2.com
◇104　2014.1　A4　6p
関連団体情報（産業考古学会　電気と機械の分科会、鉄の技術と歴史フォーラム）
短　信
日銀の視点建物の保存と活用　平井　東幸
新刊紹介
『鉄道遺産　いま・むかし』　平井　東幸
報告　見学会「セルロイドライブラリ・メモワールハウス横濱館」　平井　東幸
研究発表募集のお知らせ　総会・研究大会における研究発表の募集について
報告　見学会「高架鉄道と東京駅」　長野恭彦／奥原一三
第8回理事会の議事概要／第9回理事会の議事概要
博物館シリーズ（14）
59式地震計と計測震度計　小野田良智
新刊紹介『熊本の近代化遺産（上）熊本市・県央』　熊本産業遺産研究会・熊本まちなみトラスト編　多田　統一
茨城県龍ヶ崎市の赤煉瓦建築物（2）「竹内農場の赤煉瓦造」

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4
政治経済研究所　TEL03-5857-5631
2002年創刊　www.tokyo-sensai.net
◇24　2014.2　A4　8p
平和のためにできること　早乙女勝元
東京大空襲を語り継ぐつどい―戦災資料センター開館12周年／東京大空襲69周年　新しい被災地図と証言映像を公開します「東京大空襲 命の被災地図　東京大空襲時空間マップ」
夏の親子企画　戦争孤児をテーマに考えました　埼玉大学のみなさん協力をいただきました／感想ノート　若い世代から
資料は語る　東京と東北をつなぐ記憶　宮城県大川国民学校などの学校生活関連資料　山本　唯人
戦災資料センターで体験を語って　亀谷　敏子
語り継ぐ　修学旅行に14の「平和宣言」を準備　徳島県勝浦郡勝浦中学校2学年
その町の戦跡をめぐって　石田　博美
戦後70年までに実現を、空襲援護法の立法化―現状と活動　足立　史郎
3月1日より展示　東京大空襲　命の被災地図を公開します
3月1日から公開　東京大空襲時空間マップで空襲体験者の証言映像を公開します―多様な経験を体験者のことばで
研究プロジェクトの動き
―戦争災害建機邑室から　山辺　昌彦
感想ノート　体験世代から

◆日本民俗音楽学会会報
〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
国立音楽大学　山本幸正研究室気付
www.s-jfm.org
◇40　2014.2　B5　24p
《日本民俗音楽学会第27回糸魚川大会特集》
巻頭言
民俗文化の変容と資料の集積　藤井　知昭
第27回糸魚川大会を終えて　近藤　忠造
笹寿司と西浜七谷、そしてジオパーク　伊野　義博
日本民俗音楽学会でお話させていただいて　岡村　道雄
シンポジュウムのコーディネーターとして　星野　紘
フォッサマグナと東西文化　小島　美子
「世界ジオパークと文化遺産～歌・舞・踊り～」に参加して　小野寺節子
研究余話
獅子舞の東と西　星野　紘
伸び伸びとアカデミックな会話のできる学会　山本　宏子
カメラマンと祭りと　北見真智子
参加者の声
地元での大会に参加して　天澤　明里
大会に参加して―交流の場となる貴重な機会　鳥本　大輔
驚きと興味の湧いた大会　新見　優
平成25年度日本民俗音楽学会総会報告　河瀬　彰宏

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方　TEL03-3996-4454
1956年創刊
◇349　2014.1　A4　4p
東京市養育院と彼のひとびと（後篇8）―児玉花外・島崎こま子・長谷川利行・物集高量　日向康三郎
練馬の城を往く（9）　中村の城山（練馬区中村四丁目）　八巻　孝夫
平成25年実施報告

◆ぶい＆ぶい 無為無為　日本史史料研究会
〒171-0041東京都練馬区石神井町5-4-16
日本史史料研究会石神井公園研究センター内　2008年創刊　www13.plala.or.jp/t-ikoma/
◇25　2014.2　A5　20p
矢・矢　烏　鵲　坊
史料用語としての「王家」　佐伯　智広
書籍紹介　田中大喜編著『下野足利氏』シリーズ・中世関東武士の研究　第九巻　鈴木　由美

◆風 信　在野史探究手造り個人誌
〒204-0002東京都清瀬市旭が丘2-2-3-106
TEL042-495-4111
◇79　2014.1　A4　64p
特集　大陸交渉百周年記念
歴史的記念写真　長崎来訪の孫文一行と東洋日の出新聞社員たち―大正2年（1913）3月22日、長崎市出来鍛冶屋町東洋日の出新聞社前にて
孫文来訪から帰国までの関係記事（「東洋日の出新聞」）
参考史料　「東亜先覚志士記伝」、「東洋日の出新聞」と同人たち（牧野登著『史伝西郷四郎』

より)、若き日の孫文、会津
亡命を伝える「会津毎日新聞」
(1978.8.22)
東亜同文書院
荒尾精・井澤彦三郎・井澤八重
東亜同文書院大学同窓生出身地
ランキング
大陸に飛翔した福島県人たち
海岸教会と革命家　菊池　達哉
誌友消息　古山智行氏、星倭文子
氏、家近良樹氏、溝上憲文氏、
阿部隆一氏、浅羽興一氏
牧野登備忘録(4)　夢を追い家族
を愛し感謝で全うした快男子
阿部弘93年の生涯
阿部弘氏追想　牧野　登

◆府中市郷土の森博物館紀要
〒183-0026東京都府中市南町6-32
℡042-368-7921　1988年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇27　2014.3　A4　10+94p
大國魂神社宮司家の伝世かわらけ
小林謙一／小川望／深澤靖幸
武蔵台遺跡出土漆紙文書の再調査
廣瀬真理子
国学者　依田貞鎮(偏無為)による
聖徳太子撰「未然本紀」の註解
野田　政和
嘉永七年府中番場宿内百姓出入り
訴状について　林　巌
「御本社太鼓講中」の現状と歴史
―大國魂神社くらやみ祭を支え
る人々　下村盛章／飯島芳則／小野一之

◆厚木市史たより
〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17
厚木市教育委員会文化財保護課
℡046-225-2060　2010年創刊
◇10　2014.3　A4　4p
『厚木市史』民俗編(1)
生活記録集について　内藤　佳康

◆馬の博物館研究紀要
〒231-0853横浜市中区根岸台1-3
根岸競馬記念公苑　℡045-662-7581
1987年創刊　www.bajibunka.jrao.ne.jp
◇19　2014.4　B5　68+11p
小特集　鎌倉武士と馬と街道
相模武士と交通　今野　慶信
中世前期武蔵武士のテリトリー
と交通―秩父一族と横山党　清水　亮
中世常陸の馬と武士団　高橋　修
戦国期下総における馬の流通と生
産　長塚　孝
戸塚競馬場関連資料の紹介　長岡　武

◆小田原史談　小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方　℡0465-34-8363　年3000円
1961年創刊　odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇236　2014.1　A4　28p
小田原蒲鉾の籠清です
話し手　石黒駒士さん
キャンパスおだわら学習講座　公
募型市民企画講座　歴史講座
「小田原史談会セミナー」第4回
平成26年2月22日(土)
小田原の郷土史再発見　江戸の老
舗小田原屋と北條氏直遺児伝承
石井　啓文
最乗寺道了尊の再生に尽くした
曽比屋三代目辻村甚八郎　内田　清
中村湾・中村潟そして「中村湖」　梅田　仙吉
小田原大秘録（巻一から巻三まで
の読み下し文）第六回巻二の三
鳥居泰一郎
小田原藩浅田兄弟の敵討
『孝貞義鑑』散策(18)　鈴木　好
追悼・市川清司さん　平倉　正
みみづく園長一代記　千葉　恵美
小田原の街角写真今昔(2)(岡部忠
夫先生のアルバムより)　植田　士郎

◆鎌　倉　鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内　℡0467-22-6300
1959年創刊
◇116　2014.1　A5　113p　1500円
奉行人安威資脩伝　森　幸夫
江ノ島の中世石碑―「大日本国江
島霊迹建寺之記」碑の紹介と分
析　古田土俊一／大塚紀弘
室町期東国村落における年貢請負
契約の成立とその意義―熊野那
智山・覚園寺領常陸国酒依荘・
郷　高橋　裕文
余録　鎌倉乃記(11)―与謝野晶子
・寛、そして鎌倉(6)梅花の日
(3)　坂本　俊雄
五大堂明王院の伽藍と縁起
―「(五大堂記録)」を通して　坪内　綾子
『亀谷山記録』(12)　鎌倉古文書研究会
神奈川の窓(33)
―「地方史研究」から　井上　隆男

◆かまくら女性史の会　Newsletter
〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
ＮＰＯセンター鎌倉気付
メールボックス26
◇7　2014.1　A4　2p
最近観た映画・読んだ本からの雑
感　高階志津江
◇8　2014.2　A4　2p
長岡「長崎屋かく子の家」
1月開店初日のお客さん　前田　セツ
扇ガ谷一丁目の仮称「鎌倉世界遺
産ガイダンス施設」を見学して
文書館が欲しーい　シリーズ1
文書館とは何か
◇9　2014.3　A4　2p
あの日から三年…　石崎　和子
文書館が欲しーい　シリーズ2
文書館に集める「記録遺産」と
は？

◆京浜歴科研年報　京浜歴史科学研究会
〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12
大湖賢一方　℡045-825-3736　1987年創刊
◇26　2014.2　B5　28p
巻頭言　歴史は繰り返すのか　伊東　富昭
攘夷をめぐる廷臣奉答の俯瞰的考
察　野村　晋作
幕末朝廷の対外認識―横浜鎖港を
めぐる動きを中心に　塚越　俊志

◆県央史談　県央史談会
〒243-0033神奈川県厚木市温水342
内藤佳康方　℡046-247-1751　1961年創刊
◇53　2014.1　A5　72p
忘れられた集団疎開の記録　千葉　弘
宝金剛寺不動三尊像中尊胎内納入
経巻「定聖」願文について　吉野　勝洋
古文書・村絵図が語る昔の恩名(1)
柳下　安行
投稿についてのお願い
荻野小学校の沿革
―その源流をたずねて(1)　小池　正春
国指定史跡　鉢形城跡探訪　荻山　勝重
平成25年度　県央史談会研修旅行
橘川　明

◆コロス　常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方　年1000円　1979年創刊
◇136　2014.2　B5　6p
文化的景観を歩く―葛飾柴又帝釈
天参道を寅さんと歩く(3)　西海　賢二

◆寒川町史研究　寒川文書館
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山
135-1　℡0467-75-3691　1988年創刊
◇26　2014.3　A5　91p
《特集　関東大震災と寒川》
特集にあたって―関東大震災とあ
の詩人の誕生　内海　孝
防災講演会「歴史に学ぶ防災論―
関東大震災と神奈川―」　武村　雅之
資料紹介
佐藤峯太郎の残した震災記録
企画展「関東大震災と寒川」　渡辺　真治
ミニ展示「災害から地域資料を守
る」　高木　秀彰
上映会記録
「関東大震災と防災対策」　高木　秀彰
事業記録　資料保存ワークショッ
プ「水損資料等の応急措置を学
ぶ」　多和田雅保
視察レポート
寒川文書館を視察して　松野　恭子

◆寒川文書館だより
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山
135-1　℡0467-75-3691　2007年創刊
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp
◇15　2014.3　A4　8p
資料紹介　一之宮八幡大神の震災
復興(『目でみる寒川』より)　渡辺　真治
特集　関東大震災90年
企画展「関東大震災と寒川」
平成25年9月1日～26年2月28日
防災講演会／ミニ展示「災害か
ら地域資料を守る」／資料保
存ワークショップ／上映会
「関東大震災と防災対策」／図
書館ミニ展示
出前講座「寒川の歴史・倉見の歴
史」／頼輔先生の手紙　補遺

◆市史研究 横須賀　横須賀市総務部総務課
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
℡046-822-8150　2002年創刊
◇13　2014.3　A5　116p　500円
口　絵
「三会院重書案」のうち、春屋妙
葩・清谿通徹等連署状　真鍋　淳哉
空襲を受ける横須賀軍港、空襲
直後の海軍基地　高村　聰史
米英海軍による空襲と横須賀　高村　聰史
海軍の竣工報告史料から読み解く
施設の変遷(1)　横須賀製鉄所
の南側高台三棟について　水野　僚子
史料紹介
『新横須賀市史』資料編
古代・中世拾遺史料　真鍋　淳哉
西浦賀の旧問屋・加藤家の所蔵
史料について　伊藤　久志

◆市史通信　横浜市史編集室
〒220-0032横浜市西区老松町1　横浜市中
央図書館地下１階　℡045-251-3260
2008年創刊
www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/
◇19　2014.3　A4　12p
B29搭乗員の資料　羽田　博昭
巴里に届けられた鶴見の様子　百瀬　敏夫
東京オリンピックと横浜(2)　松本　洋幸
アンケート集計結果より　川原　照美

開架資料紹介　『復興の横浜』「昭
和四年　天皇行幸写真帖」　松本　洋幸

◆首都研ネットワーク　首都圏形成史研究会
〒231-0021横浜市中区日本大通3
横浜開港資料館気付　℡045-201-2169
年2000円
◇63　2014.1　B5　4p
研究例会　第90回例会／研究例会
第91回例会
情報ネットワーク　展覧会情報／
講演会・シンポジウム情報　シ
ンポジウム「前橋の文化のグラ
ンドデザインを考える―地域学
の視点から―」、歴史シンポジ
ウム「柏北部を街ごと博物館に
―エコミュージアムの提案―」

◆湘南考古学同好会々報
〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104　寺田兼方方　1980年復刊
◇134　2014.1　B5　24p
「第31回藤沢市遺跡調査発表会」を
迎えて　寺田　兼方
「第31回藤沢市遺跡調査発表会」
プログラム／第31回藤沢市遺跡
調査発表会遺跡位置図／藤沢市
埋蔵文化財発掘調査一覧表
西富西原(№458)第3・4次調査　望月　芳
大庭羽根沢東(№161)遺跡
第3次調査　横山　太郎
石川鍛冶山南(№454)遺跡
第3次調査　渡辺　務
石川山田北(№112)遺跡
第7次調査　中山　豊
天神添北遺跡 第7次調査・長後渋
谷城跡 第8次調査　吉岡　秀範
誌上発表
今田殿窪(№195)遺跡
第2次調査　市川　正史
西富貝塚(№46遺跡) 第7次調査
菊川　英政

◆自然と文化　平塚市博物館研究報告
〒254-0041神奈川県平塚市浅間町12-41
℡0463-33-5111　1977年創刊
www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/
◇37　2014.3　A4　80+28p
相模湾西湘地域の微地形分類と完
新世近く変動
森慎一／芹澤宣子／家入真理子
佐藤被子／佐藤文信／飯田和好
相模川・酒匂川流域の自然景観認
定地の地質学的意義　森　慎一
米軍のコロネット作戦に対する第
53軍の本土防衛―二宮町におけ
る特殊地下壕Ⅱ　市原　誠
平塚市産コケ植物目録　湘南コケの会
2013年の流星観測　藤井　大地
2013年の太陽黒点　鳥宏道／塚田健／
藤井大地／澤村泰彦
万延元年関東取締出役の相模湾津
留政策　早田　旅人
平塚市の道標　浜野　達也

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
℡045-481-5661　年3500円　1968年創刊
◇550（46-10）2014.1　A5　24p　350円
上越地方の曲身踏鋤の伝来と展開
(下)―民具をなぜ守るのか、ど
う守るか　河野　通明
描いて伝える仕事―イラストとい
う視角伝達を通して　中川　未子
展示批評　国立歴史民俗博物館

第四展示室「列島の民俗文化―おそれと祈り」　林　洋平
◇551（46-11）2014.2　A5　24p　350円
明治の農具絵図(6)―明治一三年の農具絵図(4)「備荒儲蓄法」と農具絵図　桂　眞幸
山東省の盛り容器としての「筦」（ユウン）と民俗生活　王　新艶
◇552（46-12）2014.3　A5　24p　350円
明治の農具絵図(7)―『農具見取図』　桂　眞幸
民具短信　私のおしゃもじ考(6)―明治22年のフィールドワーク『居宅ノ戸口ニ掲出セル魔除厭勝ノ類』その2　加藤　節男
第46巻総目次
日本常民文化研究所　2013年度活動報告より

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
℡0467-22-0315　1980年第二次創刊
◇134　2014.1　A5　104p　680円
《特集　風土記の神と社》
エッセイ　くらげなす漂える　山名　隆弘
風土記撰修について　中村　啓信
神祇制度からみた出雲の特殊性　瀧音　能之
常陸　矢作　幸雄
イワ大神―播磨国風土記の神と社　飯泉　健司
『豊後国風土記』直入郡球覃郷「臭泉」の水神―漢籍の知と神話的思考の融合　山田　純
肥前風土記の神と社　吉田　修作
八幡宮紹介　男山八幡神社（福島県南相馬市鹿島区）
新刊紹介　『三頭立て獅子舞　歴史と伝承』飯塚好著／『神の島　沖ノ島』藤原新也・安部龍太郎著

中　部

◆鑑 賞　新潟文化財鑑賞会
〒950-0852新潟市東区石山3-12-19
斎藤寿一郎方　℡025-286-1740
◇35　2014.2　A5　100p
新発田重家の乱と戦国期の「新潟」を考える　長谷川　伸
西窪顕山と越後・佐渡の船絵馬　菅瀬　亮司
研究ノート　寿々木米若と新潟　野上　正栄
新潟市西浦区和納区有文書の整理　中村　義隆
童謡「すなやま」の誕生と北原白秋　齋藤　義明
宮沢賢治はなぜ法華経信仰へ改宗したのか　間　範子
なつかしい研修旅行の思い出　山際　昭
第6回越佐地方史談話会の報告　斎藤寿一郎
平成25年文化財鑑賞研修旅行について　佐渡金銀山遺跡めぐり　小山　正春
平成25年文化財鑑賞研修旅行について　南魚沼市の文化財を訪ねて　野本　健一
シンボルマーク解説　小塚　佶
表紙解説　県指定文化財　考古資料　鼉竜鏡

◆郷土史編さん誌 みなみうおぬま
南魚沼市教育委員会
〒949-6680南魚沼市六日町456-1　社会教育課郷土史編さん係　℡025-773-2197
◇11　2014.3　A5　136p
巻頭言　「東日本大震災」三周年に思う　歴史と科学に学ぶ叡智と決断をもとう　今成　卓而
近世部会編集委員の山本幸俊さんを追悼する　本山　幸一
特集　南魚沼市域の郷土誌　南魚沼市域に見る郷土史研究のあゆみ―六日町地区　遠藤　利和
ふるさと通信
大崎の幻の銘菓　松田　紀孝
六日町の火防地蔵　松田　紀孝
春の山菜を楽しむ　本山　幸一
今泉清詞氏と語る　今成　卓而
激動の明治を駆け抜けた青木恒太郎　岡村　勝
資料紹介　明治十年代の生糸商社「世利多商社」と集会結社「共心社」　滝沢　繁
南魚沼市内の弥生から古墳時代の遺跡　安立　聡
明治二十～三十年代の南魚沼郡の政治状況―総選挙の分析を中心として　藤原　圭

◆良寛だより　全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2　北方文化博物館新潟分館内　℡025-222-2262
1978年創刊
◇143　2014.1　A4　20p
良寛遺墨解説(101)　正法眼蔵巻目から　眼晴、十方、無情(説法)　加藤　僖一
新 良寛尊像つれづれ(5)「えちご豆本　良寛」表紙　ブロンズ製レリーフ像　関口昌孝作　涌井　茂
折々の良寛(32)　紙芝居「良寛さま」について　長谷川義明
秋の役員会開催される　加藤　僖一
平成26年度(第37回)全国良寛会柏崎大会「予告」
全国良寛会出雲崎大会　記念講演　良寛さまの禅の世界―「法華讃」のこころ　竹村　牧男
全国良寛会出雲崎大会　歓迎　良寛生誕の地・出雲崎のご紹介
良寛　生きもののうた 素描　吉田　福恵
平福百穂と良寛―平福百穂没後八十年展によせて　反町タカ子
日本・クロアチア国際芸術交流会で良寛様の「愛語の奇跡」に出会った　吉岡　二郎
トピックス　「ふるまち良寛てまり庵」に“良寛の能面”贈呈・展示
「かにかくに」の歌―吉井勇と良寛　菅沼　眞二
布施一喜雄遺作『良寛をしのぶいろはかるた』　松世　勝久
小説『野に生きる良寛』出版に寄せて　髙橋　玲司
トピックス／新刊紹介／会報・会誌のご紹介

◆高岡市万葉歴史館紀要
〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11
高岡市民文化振興事業団
℡0766-44-5511　1991年創刊
www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/
◇24　2014.3　A5　77p
万葉集の「楽し」　坂本　信幸
大伴坂上郎女の「従京師来贈歌」―巻十九・四二二〇・一歌　井ノ口　史
歌枕「有磯海」の成立―『萬葉集』享受と歌枕の生成　新谷　秀夫
高岡市立中央図書館寄託五十嵐家文書　五十嵐和絃「万葉集草木図譜(下)」について(2)(影印画像続き)　田中夏陽子
越中万葉故地図覚書　関　隆司

◆とやま民俗　富山民俗の会
〒930-0881富山市安養坊56甲-1　富山市民俗資料館内　年3000円　1974年創刊
◇81　2014.1　A5　29p
下新川民俗の特質　佐伯　安一
利賀村奥大勘場民俗点描(9)
—虫魚のことども　森　俊
近世越中の神社鍵取扱
—中世的宗教者の地位確立　松山　充宏
タテ(蓼)を食べる南砺市福光地方の食習　加藤　享子

◆若越郷土研究　福井県郷土誌懇談会
〒918-8113福井市下馬町51-11
福井県立図書館内　℡0776-33-8860
年3500円　1956年創刊
◇297（58-2）2014.2　B5　60p
三里山を取りまく泰澄開創社寺について(下)　池田　正男
此の老君士を衷心より歓迎する—
昭和2年4月福井市役所発「グリフィス博士」について　山下　英一
越前大税・郡稲帳から読める丹生郡　真柄　甚松
書評　山下英一氏の労作『グリフィスと福井』　舟澤　茂樹

◆甲　斐　山梨郷土研究会
〒406-0032山梨県笛吹市石和町四日市場1566　帝京大学山梨文化財研究所内
℡055-263-6441　1961年創刊
◇132　2014.2　A5　61p　1000円
主に近世後期の府中玄法院と甲州国中当山派修験—「同院所蔵文書」の一部調査を終えて　太川　茂
研究ノート
黒駒勝蔵「処刑」をめぐって　有泉　貞夫
甲州博徒・勇天仙之助の文書史料について　原　祥
資料館紹介　甲州市近代化産業遺産　宮光園　手塚　理恵
事務局だより　史跡巡見「北陸の中世都市・マチ・ムラを訪ねて」報告　山下　孝司

◆MARUBI
富士吉田市歴史民俗博物館だより
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1
℡0555-24-2411　www.fy-museum.jp
◇42　2014.3　A4　8p
富士山あれこれ
杖室の木造道祖神立像　高橋　晶子
博物館Report　御師「梅谷家」について　篠原武／菊池邦彦

◆飯島陣屋だより　飯島町歴史民俗資料館
〒399-3702長野県上伊那郡飯島町飯島2309-1　℡0265-86-4212　1993年創刊
◇16　2014.3　A4　4p
飯島陣屋開館20周年　講演会＆調理実習／感謝祭の各種催事
今と比べてみよう！
江戸時代の生活改善運動？
いろり・かまど活用事例
戦国動乱！飯島城の戦い　タイムトラベル軍 VS 本郷軍

◆飯田市美術博物館研究紀要
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655-7
℡0265-22-8118　1990年創刊
www.iida-museum.org
◇24　2014.3　A4　68p
駒ヶ根市・光前寺所蔵の仏教絵画　織田　顕行
『宗徧流華道書』の翻刻(3)—飯田市美術博物館所収の市岡家蔵書より　西脇　藍
銭甕から考える一括出土銭　市澤　英利

◆飯田市歴研ニュース　飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
℡0265-53-4670　www.city.iida.lg.jp
◇68　2014.1　A4　4p
信濃国伊那郡上飯田村田畑山林地引絵図—絵図にみる幕末・明治期の上飯田村
4月12日(土)より開講
自分史ゼミ　担当：安岡健一　安岡　健一
新刊案内　「胡桃澤盛日記」刊行会編／飯田市歴史研究所監修
『胡桃澤盛日記』完結によせて　池田　勇太
歴研ワークショップ紹介—思想史　小池美津貴
歴研ワークショップ紹介—地域研究　岸部　大輔
研究助成報告会／歴史研究所出前講座　伊那谷の自然と文化　学びあい講座／地域史講座／東野公民館連続講座／橋北公民館連続講座／『飯田・上飯田の歴史』をふりかえる会

◆伊　那　伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
℡0265-22-6017　年5500円
◇1029（62-2）2014.2　A5　50p　500円
口絵　龍嶽寺所蔵「下條氏文書」(写し)　原　董
「下條氏文書」に見る徳川家康の伊那郡支配　原　董
伊那県と伊那県商社事件　青木　隆幸
松岡氏五百年「慰霊之碑建立」及「法要会」　木村　昌之
私財を投じて学校問題を解決した熊谷順蔵村長　平澤　秀明
南信州の希少植物保護とササユリ　小林　正明
下伊那日録(2008年7月～8月)
◇1030（62-3）2014.3　A5　50p　500円
口絵　絶滅危惧種の珍鳥「ミゾゴイ(溝五位)」　橋都　正
三河民権家国事犯事件と発覚地の飯田地方(4の1)　北原　明文
高森町吉田の煙火　手塚　勝昭
上清内路原家の天狗党文書
—尊王攘夷の戦を詳細に記述　佐古　新一
原太兵衛利助旅日記(1)—延享四年信越・東北・関東巡礼の旅　原　嘉彦

◆伊那路　上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2
℡0265-78-6719　年5000円
◇685（58-2）2014.2　A5　40p　500円
《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》
「下平勇日記」に見る戦時下の南向村の様子　下平すみ子
時代を反映した青年たちの思い
—中川村の青年会活動　三浦　孝美
「第14回上伊那郷土研究交流の集い」報告　矢澤　静二
「ようこそ中川へ」　松村　隆
「村を支えた青年会」で思うこと　宮下　明子
「交流の集い」に参加して　山中　文人
「上伊那郷土研究交流の集い」に参加して　新井　幸徳
短歌　破袋大黒柱鬼の首(5)　野溝　直人
日本の子育て(7)　三度申し聞かせたことを守らねば打つぞ　大槻　武治
高山の植物(16)　シコタンソウ
南アルプスで見かけた植物(4)　田中　茂
文化短信　中川村東小学校から移管された資料　伊藤　修

古文書の窓(115)
　家付き娘の出した養子証書　伊藤　一夫
師匠の背中(2)より(64)
　我家のカレンダー　若林　徹男
◇686（58-3）2014.3　A5　40p　500円
《井月特集号》
講演「井月の内なる芭蕉」　復本　一郎
講演「井月をめぐる幕末の俳人たち」　今泉恂之介
井月句からの子どもスケッチ
　一井月カレンダーより　太田　光子
糸魚川市での井月作品見学　矢島　太郎
手良の鳥宮(殿宮)と弓良公伝説　宮原　達明
日本の子育て(7)
　遊びをせんと生まれけむ　大槻　武治
高山の植物(17)　ジンヨウスイバ
　南アルプスで見かけた植物(5)　田中　茂
文化短信　宝刀手入れ見学会　山本　勝
考古あれこれ(24)
　「南羽場遺跡」発見の契機　桃澤　匡行
師匠の背中(2)より(65)
　地名の調査で思うこと　若林　徹男

◆市誌研究ながの　長野市公文書館
　〒380-0801長野市箱清水1-3-8
　長野市城山分室内　総務部庶務課
　℡026-232-8050　1994年創刊
◇21　2014.3　A4　160p
平成25年度長野市公文書館講演
　善光寺地震と町・村　鬼頭　康之
善光寺と戸隠寺の関係をめぐって　牛山　佳幸
松代藩月割上納制の初期について
　の一考察　小林　佳枝
善光寺地震による虚空蔵山崩壊と
　村の復興―山平林村孫瀬・岩倉
　組を中心として　大屋　弘
佐久間象山の漢詩(6)　佐久間方三
旧制長野中学校本館校舎に関する
　基礎的建築史研究(3)―本館校
　舎異聞　宮澤　政太
歌人四賀光子の生涯
　―水穂と歩んだ歌の道　高木　寛
資料目録と解説―平成25年度移管
　「長野市役所文書」　宮原　秀世
善光寺のドバトの生態　落合　照雄
長野市公文書館のあゆみ
表紙解説　「松代天王祭絵巻」
　長野市　真田宝物館　山中さゆり
口絵写真解説
　絹本著色阿弥陀聖衆来迎図（平
　　成25年新指定　国の重要文化
　　財）　高木　寛
　嘉永3年松代封内測量図　大屋　弘
　続・長野市内の絵馬　細井雄次郎
　善光寺のドバトの生態　落合　照雄

◆信　濃　信濃史学会
　〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
　℡0263-36-1785　年8400円
　www.shinano-shigakukai.jp
◇769（66-2）2014.2　A5　82p　900円
満州移民をめぐる資料の現状と研
　究の可能性　加藤　聖文
海野衆真田右馬助の系統と真田氏
　寺島　隆史
信濃国伊賀良荘光明寺と二つの経
　筒(下)　佐藤　全敏
史料紹介　『下河田検地帳』二点
　(上)―真田信幸の沼田領文禄二
　年検地　丸島　和洋
豊臣政権下の真田氏と上野沼田領
　検地―天正・文禄期『下河田検
　地帳』の分析を中心に　鈴木　将典
随想　地方史研究と私
　屋敷林のねうちを拾う　田中　薫

書誌紹介　高木俊輔著『近世農民
　日記の研究』　小野　和英
◇770（66-3）2014.3　A5　84p　900円
《里山特集》
山村と飢饉―信濃国箕作村秋山地
　区の事例を通して　白水　智
明治初期の長野市における神社の
　森―神社境内立木員数調におけ
　る記載樹種名の標準化
　三上光一／細井雄次郎
天保飢饉資料からみる松代藩「山
　中」　宮澤　崇士
災害を記録する
　―災害絵図成立の一例として　原田　和彦
研究ノート　今田人形の伝承と竜
　峡中学校における実践　小森　明里
書評　村石正行著『中世の契約社
　会と文書』　花岡　康隆

◆辰野町資料　辰野町文化財保護審議会
　〒399-0427長野県上伊那郡辰野町中央1
　辰野町教育委員会事務局内
　℡0266-41-1681　1951年創刊
◇109　2014.1　B5　34p
御嶽信仰について　根橋　平八
木地師関連の資料の紹介　赤坂　文隆
中央自動車道関連の遺物移管経過
　教育委員会事務局
◇110　2014.3　B5　31p
小野宿問屋の襖などの書について
　高井　宗雄
小野村における「ええじゃないか」
　三輪　憲昭
「神社佛閣寄附金書覚帳」から判
　ること　三浦　孝美

◆千　曲　ふるさとに学ぶ　東信史学会
　〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
　上小教育会館内　℡0268-24-2182
　年3000円　1974年創刊
◇155　2014.2　A5　83p
扉写真と解説　国史跡　歴史の道
　「中山道」の和田宿　倉嶌　勝夫
成沢雲帯と古瓦収集について　児玉　卓文
上田領鈴子村寛政年間踊り一件顛
　末　長谷　昌子
「国分寺建立の詔」と信濃国府の
　立地についての考察　金澤　道弘
大正末～昭和初年における軽井沢
　の実像―医院診断書より見る
　江川良武／清原透
文化財講座　第53回　県宝　真楽
　寺の三重塔について　金井喜平次
窓　第8回　「六ヶ郷用水」に学ぶ
　大橋　幸文
連載講座
　古文書解読講座　第146回　斎藤　洋一
地区だより
　小諸支部　牧野　知人
　塩田地区の動向　西澤　恒幸
　更埴地区便り　牧　忠男

◆長　野　長野郷土史研究会
　〒380-0905長野市七瀬南部14-7
　℡026-224-2673　年4000円　1964年創刊
　www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇293　2014.2　A5　48p　500円
《創刊50周年》
口絵　始まって50年。定着し発展
　を続ける長野市岩石町西宮のお
　種子銭貸し出し
長野郷土史研究会　五十年の成果
　小林　一郎
銅戈・銅剣が埋納された理由の一
　考察　小林裕二郎
長野県に於ける無散水消雪道路　古畑　和男

夏目漱石と信州(8)
漱石を慕った女性(下)　中田　敬三
七二会を統合したひとは誰
一春日氏への疑問　太田　正彦
連載コラム
郷土史の視界(1)
関東大震災と長野　小林　一郎
長野と全国各地の繋がり(1)
信貴山と戸隠　小林　玲子
生きた町の歴史を知ろう(1)
善光寺表参道の町間御所に暮らして　小林竜太郎
出版　『縁起堂淵之坊本　善光寺如来絵伝』若麻績侑孝監修、『柳新田の歴史』柳新田部落誌委員会編、『松尾芭蕉の秘密』中田敬三著、『小林一茶生誕二百五十年記念　一茶研究論集』一茶記念館編

◆長野県民俗の会通信
〒390-0851長野県松本市島内3427-45
小原稔方方　年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇239　2014.1　B5　8p
民俗学会の転換点か―日本民俗学会第65回年会参加記　福澤　昭司
第188回例会参加記―信州新町　小野　和英
平成25年度総会報告(1)　小森　明里
葉書でつぶやくコーナー
徳住の名号塔から　木下　守
◇240　2014.3　B5　8p
追悼　小林経廣先生　倉石　忠彦
長野県上村程野の霜月祭り覚書　市東　真一
但唱上人の千体仏　木下　守

◆松本市史研究　松本市文書館紀要
松本市総務部行政管理課松本市文書館
〒390-1242長野県松本市和田1058-2
℡026-347-0040　1991年創刊
◇24　2014.3　B5　142p
市史研究
私の地域史研究と城下町の現代　田中　薫
松本藩戸田丹波守家臣団の研究
―岩根与惣左衛門の場合　岩根　和正
旧陸軍松本飛行場を鳥瞰図で再現を試みる―空541部隊と松本飛行場　その周辺　川村　修
「みすず細工」からみる松本の近代　三沢枝美子
松本市文書館講座資料（平成25年度）
松本市文書館収蔵文書の概要
平成25年度松本市文書館の事業

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
℡0538-32-3546　2007年創刊　年2000円
www4.tokai.or.jp/child-c.j/
◇80　2014.1　A4　4p　300円
大原のサーンドサンド　吉川　祐子
◇81　2014.2　A4　4p　300円
循環してこその祈願　吉川　祐子
◇82　2014.3　A4　4p　300円
大報恩寺の千本釈迦念仏とおかめ御幣　吉川　祐子
◇83　2014.4　A4　4p　300円
千倉町川口のセノコイ　吉川　祐子

◆静岡県近代史研究会会報
〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部　橋本誠一研究室
年4000円
◇425　2014.2　B5　4p　100円
2月例会レジュメ
団塊世代の実像を求めて　内山　康正
12月例会の報告　小池　善之
会誌(第39号)原稿を募集します。
書籍紹介　『戦争と戦時下の体験平和の思い出を伝えたい』　小池　善之
◇426　2014.3　B5　4p　100円
3月例会レジュメ
雑誌『歌劇』にみる宝塚少女歌劇の変遷(1913～1924)―「なつかしさ」を中心に　永井　咲季
1910年代静岡県議会における地方利益と党派対立　蟹江　卓弥
書籍　樋口雄彦著『人をあるく勝海舟と江戸東京』　川上　努

◆静岡県民俗学会会報
〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/
◇150　2014.1　A4　6p
第2回例会　研究発表・卒論発表
お太鼓祭りの今―20年前の静岡県史調査と比較して　多々良典秀
静岡の民俗語彙・方言短信
オランド／ベト　多々良典秀

◆静岡歴研会報　静岡県歴史研究会
〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方　℡054-286-8659
◇139　2014.2　B5　12p
12月8日(日)　第102回研究会
赤池隆義氏の「山宮浅間神社と人穴遺跡と赤池御法家」の概要／遠藤徳明氏の「鉄舟寺と薄墨の笛」の概要／佐藤吉男氏の「笑いの仏について―木喰、白道、円空、守屋貞治―」の概要
2月2日(日)　第103回研究会
堀川幸美氏の「荘園の崩壊と静岡県荘園痕跡地名」の概要／大川誠一氏の「漢字は銀河から創られた」の概要／鈴木康弘氏の「幕末長州藩の諸隊募兵と明治新政府の徴兵」の概要

◆博物館問題研究　博物館問題研究会
〒420-0822静岡市葵区宮前町159-7-101
金原功方
museum.cocolog-nifty.com/hakumonken/
◇32　2014.2　A4　66p　1000円
《特集　現代を展示する―成田空港問題を事例に》
報告　「成田」の歴史をどう伝えるか―成田空港歴史館(仮称)建設までの過程と課題　新井　勝紘
展示解説
成田空港　空と大地の歴史館
参加記
2010年4月例会　現代をどう展示するのか―成田空港問題と「歴史伝承館」を例に　依田　亮一
2011年12月例会　「成田空港空と大地の歴史館」の見学　武士田　忠
文献紹介　社会問題を取り上げる博物館の語られかた―「成田空港　空と大地の歴史館」を見る視点　金原　功
博物館問題研究会の記録XII(2008年～2012年)　事務局

◆愛知県史研究
愛知県総務部法務文書課県史編さん室
〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2
自治センター８階　℡052-972-9171
1996年創刊　www.pref.aichi.jp/kenshi/
◇18　2014.3　A4　164p

室町初期の吉良氏
　一貞義から満貞へ　松島　周一
常滑窯製品の形態的特徴と使用状
　況の検証一中世尾張地区出土資
　料を中心として　青木　修
古代濃尾の境界についての一考察
　一広野河事件の原因と結果を中
　心として　海老沢和子
松平清康再考　平野　明夫
尾張藩能役者の勤務の実態
　一大鼓方大倉家の場合　清水　禎子
愛知県における尺八西園流の成立
　と変遷について一明治維新から
　昭和初年まで　飯塚恵理人
名古屋歌壇を創った歌人たち一青
　木穠子と浅野梨郷を中心に　小塩　卓哉
資料紹介　杉浦明平が敗戦前後に
　記した日記(上)　三田村博史
特別企画
　青木美智男さんを偲んで
　青木美智男君を偲んで　塩澤　君夫
　先駆けた近世史家
　青木美智男氏　深谷　克己
　青木美智男さんと知多・愛知・
　伊勢湾三河湾の近世史研究　押谷　智
　講演抄録　愛知県陶磁資料館特
　別企画展「茶人のあそび心
　形物香合番付の世界」記念講
　演会　「見立番付研究からみ
　た形物香合番付」　青木美智男
愛知県史を語る会抄録
　近世の尾張・三河の文化世界
　伊藤圭介の洋学をめぐる半生
　一伊藤圭介関係書翰　遠藤　正治
　文化の潮境に〈ふみ〉は残る　塩村　耕

◆あつた　熱田神宮宮庁
〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
℡052-671-4151　www.atsutajingu.or.jp
◇241　2014.1　A5　24p
熱田の楊貴妃墓伝説　辻村　全弘

◆郷土文化　名古屋郷土文化会
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館　℡052-741-9822
年3000円　1946年創刊
◇220（68-2）2014.2　A5　117p　1500円
岩倉織田氏の終焉と新史料　横山　住雄
桶狭間古戦考証(2)　尾畑　太三
殿様街道と下街道について　加藤　政雄
『鸚鵡籠中記』と大森寺
　一大森寺覚書(2)　小林　元
図絵に見る尾張の街道風景(13)　櫻井　芳昭
安政大地震の記録は小牧にもあっ
　た　栗木　英次
金鯱復旧と講演の関係について　服田伊都子
鷲津蓉裳宛芥川帰山の書簡につい
　て一芥川家と鷲津家に関する覚
　書　松井　雅文
伊吹おろしの吹く方向　竹田　繁良
第46回研究会発表要旨　名古屋の
　画家　牧墨僊一知られざる挑戦
　の人　津田　卓子
見学研究会報告「歴史と絞りの里
　・有松を訪ねて」　事　務　局

◆新修名古屋市史だより
新修名古屋市史編さん事務局
〒461-0011名古屋市東区白壁1-3
名古屋市市政資料館　℡052-953-0051
1992年創刊
◇32　2014.3　A4　16p
第29回「新修名古屋市史を語る集
　い」から　徳川義直と学問　鵜飼　尚代
第29回「新修名古屋市史を語る集
　い」から　近代に於ける名古屋
　城郭の処分とその変遷一名古屋
　城北練兵場の創設を中心に　池田　弘
公文書等の公開について／表紙の
　説明　中御之間北御庭惣絵、本
　丸御殿上洛殿内部(焼失前)
資料編「近代3」刊行のお知らせ
　資料編「考古2」刊行にあたって
　笠井　雅直

◆豊田市史研究
〒471-0079愛知県豊田市陣中町1-19-1
豊田市教育委員会文化財課市史編さん室
℡0565-36-0570　2010年創刊
◇5　2014.3　A4　88p
旗本松平太郎左衛門家系図の成立
　村岡　幹生
豊田市域における桜(ソメイヨシ
　ノ)の開花と気温の局地性　神谷　俊彦
中世禅宗寺院としての長興寺境内
　に関する覚書　北村和宏／永井邦仁
豊田市における大型店の立地変化
　伊藤　健司
資料紹介　石巻我心流に関する史
　料の紹介　長屋　隆幸
調査報告
　豊田の川魚漁一足助地区巴川の
　川漁師と川魚漁について　天野　卓哉
　豊田市山間部の地名について　松田　篤

◆まつり通信　まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
℡0567-37-0441　年5000円
◇569（54-1）2014.1　B5　8p　600円
新刊紹介　民俗芸能探訪ガイドブ
　ック　星野紘・宮田繁幸・久保
　田裕・城井智子・全日本郷土芸
　能協会編
はねず踊りと小野小町伝承　大森　惠子
東大寺二月堂お水取りの竹送り一
　生駒市高山町庄田観音講による
　高田　照世
愛知弥富市で新野の雪祭り？　鷲野　正昭
表紙写真のことば　三吉ほんでん
　祭　秋田市大平山　三吉神社　渡辺　良正
◇570（54-2）2014.3　B5　8p　600円
新刊紹介　奄美諸島の民俗文化誌
　(南日本の文化誌10)　下野敏見
　著
群馬・多比良の獅子舞　石川　博司
愛知県津島市の忘れられた祭り行
　事とその人形　加納　克己
新国指定・登録・選択の民俗文化
　財一平成26年1月17日文化審議
　会答申
表紙写真のことば　長浜曳山祭り
　滋賀県長浜市　4月13～16日　渡辺　良正
新刊紹介　MATSURI sta!　vol.6
　／岐阜県の祭りからⅦ　清水昭
　男著

◆もりやま　守山郷土史研究会
〒463-0075名古屋市守山区市場15-12
道木正信方　℡052-791-2304
年3000円　1982年創刊
◇33　2014.1　B5　236p
井上士朗が描いた富士山　道木　正信
中馬の道、波不知船の道を支える
　一列島東西物語　木原　克之
小幡ヶ原名古屋飛行学校(2)　伊東　重光
変貌する瀬戸線(5)　伊東　重光
山田郡彷徨一謎の氏族を追って　徳田百合子
吉根村の小牧長久手の戦い伝承　藤森　宏美
ミニミニ脳(目玉付き)　西尾　春子
明治二年広小路にさらしもの多く
　あり　下(2)一「奇兵隊日記」に
　みる罪と罰　加藤　英俊

資料紹介
昭和二年大字守山敬老会記念写真帳　道木　正信
小幡村御觸留(25)―明治八年御用留(1)　守山郷土史研究会
下志段味村加藤公生家文書(3)　道木　正信
守山郷土史研究会の歩み(33)　守山郷土史研究会
変貌する瀬戸線(5)　荒川　康彦

◆史　料　皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
℡0596-22-6462　年1000円　1978年創刊
◇241　2014.3　B5　16p　300円　＊終刊《最終号》
山田寺への道―蘇我倉山田石川麻呂と茅渟道・水分の道　遠藤　慶太
『續日本紀史料』編纂始末　荊木　美行
いにしえの伊勢(18)―絵葉書・古写真に見る戦前の宇治山田　山田　修司

◆椿の宮　椿大神社
〒519-0315三重県鈴鹿市山本町1871
℡059-371-1515
◇40　2014.1　B5　188p
特集　啓
「啓」を掲げた出帆する意義　山本　行恭
道を啓く　椿　れい
山本宮司特別対談
下村博文文部科学大臣に聞く
椿神は正一位大明神　太田　正弘
伊勢国一宮を考へる(上)　太田　正弘

◆三重県史研究
三重県環境生活部文化振興課県史編さん班
〒514-0006三重県津市広明町13
℡059-224-2057　1985年創刊
◇29　2014.3　A5　130p
朝明郡の古代官道に関する一考察　久志本鉄也
野里梅園『梅園奇賞』とその前後　小玉　道明
戦前期における津市都市計画の意義―都市計画道路整備と鉄道網の再編を中心に　山崎　智博
研究余録
北畠一族小原氏補考　稲本　紀昭
志摩国砲台場跡(2)　村山　喜雄
資料紹介
西山地蔵院文書の伊勢国関係史料について　小原　嘉記
三重県史編さん班所蔵『大坂御陣寅卯両年覚書』　稲本　紀昭
長谷川素逝と虚子―遺されし「添削綴」を中心に　石田ひでお
市町村編さんの動向
『伊勢市史』第三巻「近世編」―第八回配本　伊勢市教育委員会文化振興課
『名張市史』第二巻　資料編古代　山口　浩司
『玉城町史』近世・近代史料集第八巻　(池山)

◆三重の古文化　三重郷土会
〒514-2305三重県津市安濃町清水1008
浅生悦生方　℡059-268-2671　年3000円
◇99　2014.3　A5　142p
吉田文潛『尚古文叢』稿の瓦経　小玉　道明
「伊賀元暦の乱」と「伊勢元久の乱」の真相を探る　加山　久富
光明寺恵観の海賊説とその行業について　中世古祥道
容藤軒石倉一入子について　湊　章治
「迹太川」米洗川説についての補足的諸考察　久志本鉄也
追悼　平松令三・前会長　西川　洋
追悼　平松令三先生　井上　庸子
津の藤枝・一身田橋向心中と身売り奉公　浅生　悦生
松浦武四郎と古物蒐集　福永　昭
伊東富太郎の足跡(6)―名古屋郷土研究会　石神　教親
能褒野墓そして明野陸軍飛行場北伊勢分教所―続五　考古少年のノートから　岩野　晃司
伊勢山田の御師宅に伝わる天狗の爪　萩原　正夫
〈うねめ〉のこと　清水　弘子
海食が進行する遺跡　村上　喜雄
史料復刻　鈴鹿市「大井家」所蔵文書　三重郷土会古文書勉強会
新聞記事から　下村登良男

近　畿

◆湖国と文化　㈶滋賀県文化振興事業団
〒520-0044大津市京町4-3-28　滋賀県厚生会館　℡077-522-8369　年2520円
1977年創刊　www.shiga-bunshin.or.jp
◇146（38-1）2014.1　B5　92p　600円
《特集　瀬田唐橋と滋賀の橋》
瀬田橋を考える―架橋、移動、そして今　松浦　俊和
日本有数の長大橋・琵琶湖大橋観光促進から徐々に生活・産業の橋に　禮場　侍郎
人と人をつなぐ夢の大綱引き　唐橋を挟む東西の住民が一緒に何かをするってことは前代未聞です　若山　義和
瀬田唐橋とわたし
夕照を眺め至福の時間過ごす　礒田　陽子
石橋の物語るもの　米田　実
期限満了で無料開放された近江大橋　変化が予測される湖南の交通事情　編　集　室
湖岸の橋探訪　橋の形や欄干のデザインに風土や歴史らしさ　植田　耕司
四季をめぐる健康食　冬編　年初め、いきいきライフは骨の健康から
元気な商店街その魅力(3)　買い物と散策で賑わう町づくり　「100円商店街」が活性化目指す
堅田商業連合協同組合
現代滋賀ブランド(13)　琵琶湖八珍　琵琶湖ならではの職のブランド　大沼　芳幸
湖國藝術紀行(14)　試練を乗り越え、支え合う心を学ぶ　小中学生のミュージカル「ハッピープリンス」、2月に上演　西前　悠
新連載　天下人「信長」の実像(1)
内面の変化を伝える「しるし」　髙木　敍子
いまどきの“元気なお社”見聞(10)
野洲市木部　真宗木辺派本山錦織寺　辻村琴美／辻村耕司
インタビュー　木辺円慈門主
滋賀文化事情
Chapter1　芸術の秋　文化の秋　文化賞／第63回県文化祭／第67回滋賀県美術展覧会／第52回滋賀県写真展覧会
Chapter2　読者交流会　第1部　対談(要旨)／第2部　交流／第3部　現地研修
近江人物伝(18)　大友皇子　大津京を支えた優秀な若き皇子　木村　至宏
近江の水をめぐる(5)
人物の水、伝説の水　石川　亮
わたしと湖国(4)　昭和のシンボリックな建物の閉館を特集　会

館で青春を過ごした人から遊び
心学ぶ　加藤　明子
北から南から
知人の面影求めて、五百羅漢の
天寧寺訪問　山田　勝彦
隠れキリシタンの信仰を示す白
磁の香炉　赤尾　和美
オーガニックな暮らしが今津で
一日実現　熊谷　もも
装いも新たに東近江「二五八祭」
門野　昇二
友好の旅で日韓の絆の深まりを
実感　野口　観道
鏡のような池に紅葉の影が反映
編　集　室
文振だより　井本久美／奥田巧／
山口季恵／竹村憲男
ニュースの小箱
歴史文書は語る　県政史料室から
(10)「伊香相救社」湖北の名
望家が中心になって共済結社を
設立　大月　英雄
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く
(12)　志賀の山越を行く　加藤　賢治
Repo　第12回のろし駅伝　大自
然の中で白煙を上げる近江中世
城跡琵琶湖一周のろし駅伝　植田　耕司

◆戦国史と人 女風林火山
戦国史と人を学ぶ会／
武田勝頼・松姫探究会
〒520-0528滋賀県大津市和迩高城289-11
年1400円
◇54　2014.2　B5　93p
《特集　清須会議と武田松姫》
武田勝頼の妻と子　松姫一行の姪
と年齢の謎(続)　首藤　義之
織田秀信(三法師)の生母松姫説の
真偽を探る　首藤　義之
戦国史新聞記事の切り抜き
戦国史史跡発掘調査現地説明会パ
ンフ「国史跡　岐阜城跡」、「信
長公居館(岐阜城千畳敷遺跡)発
掘調査　平成24年度現地公開資
料」、「聚楽第跡　現地説明会資
料・2」

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100　1988年創刊
www.city.hikone.shiga.jp/category/6-1-0-0-0.html
◇104　2014.3　A4　4p
資料紹介
鷲図　佐竹永海筆　当館蔵　高木　文恵
展示案内　3月～6月　テーマ展
3/7～4/8　展示室1　直弼発
見！　井伊直弼と相州警衛／特
別公開　4/11～5/13　展示室1
国宝・彦根屏風／テーマ展
5/16～6/17　展示室1　雅な舞
―井伊家伝来の舞楽装束／テー
マ展　6/20～7/22　展示室1
湖東焼への憧憬―湖東焼と近現
代のやきもの
研究余録　金亀玉鶴　井伊直弼は
なぜ「違勅の臣」とされたのか
野田　浩子

◆民俗文化　滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414　年4800円　1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com
◇605　2014.2　B5　12p　400円
月下氷人石について　関　啓司
霊仙山の雨乞い信仰とお池(お虎
が池)の伝承―米原市下丹生　江竜　喜之

日本の「警察文化」について―説
諭に現れる「人情味あふれる」
イメージ　大喜多紀明
伊吹山文化資料館の民具について
(1)　粕渕　宏昭
講談師　旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(34)　菅沼晃次郎
近江の庶民の生活と民俗(2)　菅沼晃次郎
◇606　2014.3　B5　12p　400円
平成城郭ブームの価値観の断層　長谷川博美
金沢八景に関する大正期の記録と
今の風景―田山花袋の記事から
大喜多紀明
庶民(近江)の生活と民俗(3)　菅沼晃次郎
伊吹山文化資料館の民具について
(2)―がんづめ・めんこ・こんろ
粕渕　宏昭
伊吹山文化資料館の民具について
(3)―油差し・槌の子　粕渕　宏昭
金属類供出制・裏話　西浦　左門
近江の石灰岩製中世石造美術
―石材研究ノート　兼康　保明

◆芸能史研究　芸能史研究会
〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル
上生洲町221　キトウビル303
TEL075-251-2371　年6000円　1963年創刊
www5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/
◇204　2014.1　B5　71p　1800円
享保五年京都二の替り狂言本
―自笑と其磧　阪口　弘之
芸能史ノート　近代における一橋
徳川家と能楽―茨城県立歴史館
蔵『日記』をめぐって　青柳有利子
書　評
尾本頼彦著『世阿弥の能楽論
「花の論」の展開』　西村　聡
佐藤かつら著『歌舞伎の幕末・
明治―小芝居の時代―』　日置　貴之
例会発表要旨
大坂千日前「竹林寺」の創建に
ついて　村上　紀夫
蹴鞠にみる「流」と「家」　辻　浩和
奈良県民俗緊急調査の成果と課
題―趣旨　西瀬　英紀
奈良県民俗緊急調査の成果と課
題
桃香野の能楽と京都観世流の
能役者との交流　中尾　薫
明治期の「菅生春楽社」結成
をめぐって―新資料の紹介
を中心に　戸田健太郎
月ヶ瀬石打の太鼓踊り　長田あかね
橿原市のだんじり祭りとその
伝播　吉村　旭輝
久米寺の練供養と矢田寺の練
供養　福持　昌之

◆古代史の海　「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島粟田町22
中村修方　FAX075-392-3743
年4000円　1995年創刊
www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/
◇75　2014.3　A5　64p　1500円
巻頭言　これからの地域史研究　上遠野浩一
2013年・古代史総括　森岡　秀人
会員ひろば(小休止)
継体と河内馬飼首　渡部　正路
藤原氏と毒殺継体と忍者　渡部　正路
アンデス通信(28)　市木　尚利
『日本書紀』α群中国人記述説に
関する疑問(1)　田中　勝
悲濤の人・福本正夫(4)　中村　修

◆史迹と美術　史迹美術同攷会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入

西大路町146　中西ビル内
℡075-462-4292　年8000円　1930年創刊
◇842（84-2）2014.2　A5　34p　915円
熊本県北部、鎌倉時代造立五輪塔
様式の変遷について(下)　佐藤　誠
日本の塔百選(22)
長慶寺三重塔・多宝塔　中西　亨
佐川田喜六昌俊について(2)―佐
川田喜六の交友関係と墨跡(下)
村上　泰昭
991回例会　有田川町の文化財　松本　啓吾
第36回　総会報告
◇843（84-3）2014.3　A5　30p　916円
日本の塔百選(23)　一乗寺三重塔
中西　亨
狩野派の組織論　寺本　健三
992回例会
大阪中之島の近代建築　矢ヶ崎善太郎
本会例会開催1000回を迎えて

◆都藝泥布　京都地名研究会通信
〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方　℡0774-44-7636
年3000円　2002年創刊
www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇46　2014.3　A4　8p
丹後建国1300年紀記念講演会・報
告　旧丹波からの但馬、丹後の
分国(水野孝典)／丹後王国から
丹後国へ(三浦到)／木簡出土状
況と地名研究(糸井通浩)／棟札
に記された地名(小山元孝)／地
名の示す範囲の変化(新谷勝行)
第37回地名フォーラム・報告　忘
れられた言語学者藤岡勝二―京
都が生んだ泰斗とそのローマ字
表記をめぐって(柿木重宣)
2014年度総会・講演会　ハザード
マップが警告する危ない地名―
京都盆地の場合を例にして(綱
本逸雄)、『万葉集』「鷺坂」の
歌(真下厚)
第一回京都地名ウォーク
「小野」編の実施報告　大野　克二
地名随想　寺の名の付いた町名(7)
真如堂町　清水　弘
会長日記から
平成25年9月～平成25年12月　吉田　金彦

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方　℡0724-28-0204　年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
◇314　2014.2　B5　12p
江戸中期の泉州佐野浦食野家代々
(4)　井田　寿邦
蟻通神社観月コンサート　北山　理
和泉の中世城郭(27)　井田　寿邦
新刊　井田寿邦著　江戸中期の泉
州佐野浦食野家代々
土丸城探査　事務局　T
◇315　2014.3　B5　14p
2013年度　夏の研修旅行「明智大
正村、岩村重伝建地区と岩村城
跡、瑞浪超深地層研究所」(中
その2)　勝矢　寛雄
江戸中期の泉州佐野浦食野家代々
(5)　井田　寿邦
熊野古道の旅(第20回)
熊野古道紀伊路(1)　北山　理
和泉の中世城郭(28)　井田　寿邦

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2　アンテ
ィークショップ一兵内　℡06-6931-1081
年5000円　1984年創刊
blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/
◇354（31-2）2014.2　B5　8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(1)
付喪神(つくもがみ)　井川　光正
1月例会報告(第329回)　平成26年
1月19日(日)　演題「龍馬の夫
婦生活は？―龍馬とお龍が過ご
した日々」　林慎吾氏　(小池)
古文書苦楽部　「役用日記」より　寺井　正文
◇355（31-3）2014.3　B5　8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(2)
「怪談　乳房榎図」　井川　光正
訃報　石川道子先生
2月例会報告(第330回)　演野「野
口英世の中国体験―野口評価の
一視角」　片倉穣氏
会員講座(第13回)「東日本大震
災の2年7ヶ月後の傷跡―10月に
陸前高田に帰省して思うこと」
松坂定徳氏

◆大塩研究　大塩事件研究会
〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内　℡06-6361-6212　1976年創刊
◇70　2014.2　A5　80p
誌齢70号に寄せて
大塩事件研究会と私―読む会資
料「竹園日記」に抱いた興味
井上　宏
大塩事件と吹田　内田　正雄
大塩事件研究の皆さんと出会っ
て30年　島田　耕
大塩事件研究会と私　白井　孝彦
大塩事件研究会と私　辻　不二雄
茨田郡士・茨田家文書との出会
い　常松　隆嗣
大塩さんと大村益次郎のこと　土井　裕子
大塩事件と私　長谷川伸三
「大塩研究」70号に寄せて　松井　勇
大塩事件研究会の思い出話（読
む会）　松浦　木遊
大塩研究を通した出会い　松永　友和
大塩平八郎と初めての出会い　山崎　弘義
青木美智男さんを偲ぶ　藪田　貫
塩逆述の研究　小西　利子
大塩と私(17)
奥野まさ子さんに聞く　久保　在久
「大塩研究」総目次
「大塩研究」執筆者別作品名
「大塩研究」項目別掲載頁一覧

◆かいづか文化財だより テンプス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
℡072-433-7126　1996年創刊
◇52　2014.2　A4　8p
表紙　慶安元年(1648年)の絵図／
戦前の感田神社南側の濠
地図に見る貝塚市―貝塚町全図から
古絵図をひも解く
相良城受け取りと岸和田藩
平成25年度の埋蔵文化財調査　感
田神社の濠の調査／願泉寺及び
半役所周囲に掘削された堀の調
査

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203　馬原浩一方　℡079-424-0921
年5000円　2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇47　2014.1　B5　8p
軍師官兵衛　馬原　浩一
家系研究協議会冬の例会
家系研究協議会　平成25年度秋の
例会報告　「高田松原と松坂氏

について―東日本大震災で有名に「奇跡の一本松」」松坂定徳氏　（小池）
家研協たより／家系研究協議会次回例会予定
珍名さんいらっしゃい(44)　眞野　幹也

◆**河童通心**　和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
℡072-251-2586　年2400円
◇**357**　2014.2　A5　16p　200円
河童と仏供(1)　和田　寛
◇**358**　2014.3　A5　16p　200円
河童と仏供(2)　和田　寛

◆**近畿文化**　近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
℡06-6775-3686　年2200円
◇**771**　2014.2　A4　8p　300円
難波の大化改新遺跡　猪熊　兼勝
秀吉時代の桃山様式を考える(2)　櫻井　敏雄
◇**772**　2014.3　A4　8p　300円
吉野川分水(3)
―西部幹線洲水路をたどる　来村多加史
中世・根来寺が夢みた世界　水野　正好

◆**堺研究**　堺市立中央図書館
〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1
堺市立中央図書館総務課図書館サービス係
℡072-244-3833
◇**36**　2014.3　A5　122p　600円
表紙解説　河口慧海の肖像写真
河口慧海の手紙―肥下徳十郎他宛　奥山　直司
明治期堺市中の小学校日誌を読む(3)―「熊野尋常小学校日誌抜萃」から　和田　充弘
史料紹介　和泉国大島郡土師村関係の史料について　岡田光代／大久保雅央

◆**左海民俗**　堺民俗会
〒593-8307堺市西区平岡町268-20
下谷佐吉方　℡072-274-1479　年3000円
◇**144**　2014.1　B5　8p
民俗談話
地域農業への地誌的分析　井上　寛和
大東亜戦争と戦後の時代(2)
社会へのめざめと左翼思想　生駒　道弘
国の創め　川村　淳二
葛城山の体験　下谷　佐吉
例会報告
9月例会報告
「信貴山を歩く」　植田　敏義
10月例会報告　熊野古道を歩く
Ⅷ(海南から紀伊宮原まで)　佐原　浩二
11月例会報告　畝傍山「万葉歌碑を巡るX」　下谷　佐吉

◆**城だより**　日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方　℡06-6652-4511
web1.kcn.ip/kojyo_tomonokai/
◇**542**　2014.2　B5　22p
3月・第605回例会の予告　丹波亀山城・丹波笑路城／4月・第606回例会の予告／セミナーなどのご案内
1月・第603回例会(総会・講演会)の報告　木下　修二
会員通信
比企城館群へ行きました　水品　弘樹
金沢城と新潟県下の主要な六城を巡る(1)　木下　修二
新聞記事紹介
◇**543**　2014.3　B5　22p
尾張名古屋城、古渡城跡を探訪します(4月・第606回例会のご案内)／5月・第607回例会の予告／特別見学会のご案内　東六甲採石場「甲山刻印群」を探訪します／セミナーなどのご案内
2月・第604回例会の報告　利神城・御殿屋敷跡、平福陣屋　平成26年2月2日(日)　藪西　旭
鳥瞰図　播磨利神城（川端義憲氏作画）
会員通信
国指定史跡　根室半島チャシ跡群を訪ねて　坂本　昇
金沢城と新潟県下の主要な六城を巡る(2)　木下　修二
新聞記事紹介

◆**つどい**　豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方　℡06-6857-4959
月1000円　1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇**312**　2014.1　B5　18p
謹賀新年　上賀茂神社の細殿前の立砂と午の絵馬
古墳研究の進展と停滞(前)　中司　照世
晩秋に姫路の遺跡を巡る　古高　邦子
◇**313**　2014.2　B5　20p
市民講演会(螢池公民館共催)　五世紀における日神信仰と大王　平林　章仁
読書室
考古学の研究法　一瀬和夫著
◇**314**　2014.3　B5　20p
広開土王碑研究の現状と課題　生田　敦司
豊中歴史同好会創立25周年記念シンポジウム　開会のあいさつ　小川　弘明
講演1　応神・仁徳天皇研究の動向と今後の課題　水谷　千秋
1月現地見学会報告む　松本みどり
ＮＨＫサイエンスＺＥＲＯの報道―「旧石器時代の人骨が大量発掘されている」　石塚　一郎

◆**あわじ**　淡路地方史研究会
〒656-0053兵庫県洲本市上物部161-8
℡0799-24-1512　年6000円　1984年創刊
◇**31**　2014.1　B5　115p
海の豪商　高田屋嘉兵衛・帆布製造始祖　工楽松右衛門と北風家　大江　恒雄
御銀主藤屋家についての一考察―小榎並組頭庄屋真野分家の生業と資産蓄積　北山　學
淡路霊場記(5)　武田　信一
小型機による淡路島の空襲の実態―米軍資料と地元証言をもとに　原田　修一
淡路島の台場と由良要塞　定本　義広
阿万の漁業今昔　堀部るみ子
電話帳で探した先祖　五島　清弘
庚午事変を憶う／静内町を旅して　生田　静子
春の研修旅行報告　和歌山方面　堀部るみ子
秋の研修報告　讃岐路へ行く　北原　文雄

◆**神戸史談**　神戸史談会
〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6
佐藤憲太郎方　℡078-793-5348
年3000円　1926年創刊
◇**311**　2014.1　A5　88p
年頭のあいさつ
鈴木重胤と生田神社　加藤　隆久
2014年ＮＨＫ大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公　黒田官兵衛孝高　波乱の生涯(略伝)　辻　正彦

住吉神社の「旧御神体の背銘と其
　の時代背景」について　服部　晃
雑居地溝渠の覆蓋
　―明治初期の鯉川筋　西川　和機
港の大立者「濱田篤三郎竹坡翁」
　の手記発見　井上　勇
新年例会概要
　池田恒興(信輝)と兵庫城　今井　修平
3月例会
　新島八重にまつわる余話　辻　正彦
4月例会バス探訪旅行概要　楠木
　正成ゆかりの地　南河内を訪ね
　る旅　佐藤憲太郎
5月例会概要「第6回　在神神社・
　仏閣探訪」　弓弦神社(東灘区郡
　家)　澤田　政泰
6月例会概要　『グレーター真野の
　ちから』―東尻池周辺の近代産
　業史　和田　幹司
7月例会　岡山大学附属図書館池
　田家文庫蔵『摂津国花熊之図』
　の再検討　須藤　宏
10月例会　「西国街道こぼれ道」
　平野歴史探訪　向　一二三

◆史料ネット NEWS LETTER
　歴史資料ネットワーク
　〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
　神戸大学文学部地域連携センター気付
　℡078-803-5565　年1000円　siryo-net.jp
◇75　2014.2　A4　12p
巻頭言　歴史資料への「減災」を
　考える　小野塚航一
震災史料をのこす―阪神・淡路大
　震災から東日本大震災へ　佐々木和子
第15回火垂るの墓を歩く会
　参加記　李　明哲
奄美豪雨災害による被害をうけて
　大島　幸子

◆生活文化史　史料館だより
　神戸深江生活文化史料館
　〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7
　℡078-453-4980　1981年創刊
　homepage2.nifty.com/fukae-museum/
◇42　2014.3　B5　20p
深江の菅原酒造場について　福田
　賢二氏撮影のアルバムから(1)　大国　正美
「切手から見る五〇年前の日本」
　の展示　有吉　康徳
昭和時代　深江の子供の遊び　深　江　塾
深江物語(4)―昭和20～30年代の
　深江浜を歩く(2)　森口　健一
史料館におけるＩＴ施策
　―web サイトアクセス状況　高田　祐一
史料館拡張30周年と杉浦昭典名誉
　館長の瑞宝中綬章受賞祝賀会　道谷　卓
トライやる・ウィークと史料館―
　本庄中学校の生徒を受け入れて
　水口　千里

◆西宮市立郷土資料館研究報告
　〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
　℡0798-33-1298　1991年創刊
　www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
◇10　2013.11　B5　93p
岡本家文書の歴史学・民俗学的研
　究について　西宮市立郷土資料館
建築用材輸送の問題―(兵庫県西
　宮市)武庫川河尻と東条川上流
　の大川瀬の占める位置　田中　久夫
徳本名号石の建立
　―西宮市周辺の事例を中心に　俵谷　和子
尼崎城御門通礼の変遷と城内通行
　―岡本家大庄屋日記の事例から
　衛藤　彩子

西宮市の今津の発展と小豆嶋屋　細木ひとみ
尼崎藩大庄屋高井宗官家の役割―
　摩耶山天上寺周辺の宗教的環境
　のなかで　早栗佐知子

◆西宮文化協会会報
　〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
　西宮神社内　℡0798-33-0321
◇551　2014.2　B5　8p
「有栖川有栖と読み解く、上方の
　古典芸能」について　河内　厚郎
生駒幸子　森田雅也編『西宮のむ
　かし話―児童文学から文学へ―』
　森田　雅也
「西宮」保存箱、玉手箱二
　―情報公開課資料より　豊田　みか
秋の見学会に参加して　辰馬　敏子
◇552　2014.3　B5　8p
笹部さくらコレクションより
　―浅田柳一氏と西宮雅楽多宗　柴橋　明子
「西宮」保存箱、玉手箱
　―情報公開課資料より　豊田　みか
敷島の道　田邊　竹雄
西宮神社境内の石造物「句碑」

◆年報 香寺町の歴史　香寺町史研究室
　〒679-2131兵庫県姫路市香寺町犬飼464-1
　℡079-280-6665
◇8　2014.3　B5　50p
講演　八葉寺と八徳村―新出史料
　からみた近世の八徳山　大槻　守
研究発表会
　平成25年度研究発表会　誰でも
　　知っていることを残すこと―
　　研究発表会に参加して　坂江　渉
　村の歴史を調べる　神崎　茂樹
　『いくはべの里 岩部』を編さん
　　して　藤尾　昇
　町内巡検に参加して
　　香寺中学校パソコン部
　ふるさとの歴史を見つめて
　　香呂小学校6年生
　研究発表を聞いて　永瀬　隆子
活動報告
　歴史研究会事業報告
　町内巡検　中村地区　沼田　勝博
　研修旅行の実施
　　―但馬から因幡を訪ねて　駒田　新安
展示　『いくはべの里 岩部』刊行
　記念　岩部史料展示会を終えて
　藤原　俊昭
編集　八葉寺文書の解読・編集に
　携わって　曽田孝一郎
文献紹介　神戸大学人文学研究科
　地域連携センター編『「地域歴
　史遺産」の可能性』
書評　印藤昭一「香寺町史『村の
　歴史』通史編―地域住民と研究
　者との協働の視点から―」(神
　戸大人文学研究科地域連携セン
　ター編『LINK』第4号)　(大槻)
地域の歴史遺産を次代へ伝える
　―町史研究室事業報告

◆歴史と神戸　神戸史学会
　〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
　田中印刷出版内　℡078-871-0555
　年3000円　1962年創刊
◇302（53-1）2014.2　A5　49p　600円
《特集　知られざる鉄道と通信の歴史》
米相場の旗振り山について
　―淡路・徳島ルートの解明　柴田　昭彦
戦前の弾丸列車構想ルート(兵庫
　県東部)について　大島　貴之
阪神電鉄の三支線について　田中　敦
動乱期の青少年教育史話　ああ筒

台の辺に一戦中戦後を生きた中
高生の記録(13)完　森田　修一
新聞地域版を読む／平成25年度会
計報告

◆大美和　大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪
℡0744-42-6633　www.oomiwa.or.jp
◇126　2014.1　B5　72p
大物主神の神名と性格　寺川眞知夫
三輪山祭祀と巨大古墳築造　一瀬　和夫
第10回「三輪山セミナーイン東京」
開催
古代王権の誕生―部族的国家から
ヤマト王権へ　寺澤　薫
楽家大神氏の系譜について　荻　美津夫

◆水平社博物館研究紀要
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
℡0745-62-5588　1999年創刊
www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/
◇16　2014.3　A5　56p　1000円
山本瀧之助の被差別部落問題認識
―『明治之光』への投稿の背景　割石　忠典
全国水平社・黒衣同盟と『中外日
報』　奥本　武裕

◆奈良学研究　奈良学学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1　帝塚山大学
奈良学総合文化研究所　℡0742-48-8842
1997年創刊
◇16　2014.2　A5　109p
正倉院北倉の出納体制について　鷺森　浩幸
文久二年春日大社神鏡落御始末(2)
岡本　彰夫
史料紹介
帝塚山大学図書館蔵『坊官諸大
夫上北面侍家伝』『奈良大乗
院院家南院資料』について(4)
中根　麻貴
奈良文化財研究所所蔵『古市氏
由来幷古市新城之絵図』につ
いて　前嶋　真吾

◆Regional
奈良県立同和問題関係史料センター
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
℡0742-64-1488　2006年創刊
◇14　2014.3　A5　40p
達磨寺中興に関する覚書　山川　均
中世大和の京河原者
―次郎を題材として　山村　雅史
郡界にある被差別部落―「越智の
岩崎」に関するノート　井岡　康時

中国・四国

◆鳥取県立公文書館研究紀要
〒680-0017鳥取市尚徳町101
℡0857-26-8160　2005年創刊
◇8　2014.3　A5　84p　500円
公文書管理条例が拓く自治体アー
カイブズの行政利用の可能性　西村　芳将
鳥取と隠岐―因州藩の隠岐取締り
と県域編入　伊藤　康
新聞報道と雑誌にみる鳥取大震災
田中やよい
歴史文化のまちづくり―地域の歴
史文化をどう活かすか？　杉原　幹雄

◆北東アジア文化研究
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
℡0858-26-1811　1995年創刊
www.cygnus.ac.jp/local/asia.html
◇38　2014.2　A5　116p
世界穀物市場とアメリカのバイオ
燃料生産　藤本　晴久
「佐治谷話」考　酒井　董美
サンフランシスコ講話条約と千島
・竹島＝独島問題(1)　朴　炳渉
研究ノート　梁伯戈・小孟鼎に見
える「鬼」について(3)―梁国
についての一考察　藤本　直子
内藤正中先生追悼文集
果敢な対応と包容力　山田　修平
内藤正中先生　略歴　著書及び
学術論文一覧
内藤正中先生と北東アジア文化
総合研究所　野津　和功
父内藤正中との思い出　内藤　浩之
内藤先生を偲んで　荒井　優
思い出すままに　大江　節子
内藤正中先生を偲んで　齊木　恭子
追想断片―内藤先生と図書館資
料のことなど　髙多　彬臣
内藤正中先生を偲ぶ　今西　収
鳥取短期大学北東アジア文化総
合研究所元所長　内藤正中先
生との交流の思い出　周　建　中
内藤正中先生をしのぶ　綾木　義和
内藤先生の「羅州理解」に敬服
根鈴　輝雄
内藤正中先生のご薫陶　藤井　浩基
内藤先生のこと　大西　瑞香
鳥取県の歴史を環日本海域のな
かで明らかにする　眞田　廣幸
「内藤正中ゼミ学外生」として　池原　正雄
内藤正中先生を哀悼す　薛　幸　夫
有終の竹島＝独島問題研究　朴　炳渉
内藤先生との思い出　大谷　博美

◆郷土石見
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方　℡0855-22-2567　1976年創刊
◇94　2014.1　A5　154p　1200円
表紙写真　宅野子ども神楽（大田
市仁摩町宅野）　藤間元康／永見研一
佐渡島へ渡った石見の漁師たち(1)
―それは400年も昔　村上　英明
韓神を祭る神社の祭礼
―大田市の事例から　多田　房明
江の川の渡し船(近世編)　森脇　登
中世から近世の濱原村・川戸村・
瀧原村・信喜村・亀村・高山村
(上)　小野　博之
近世・石州瓦史考(下)
―浜田藩領の瓦と石見焼物　児島　俊平
島根県立図書館へ寄贈された原龍
雄先生収集資料について　杉原　隆
山陰万葉巡り　川島芙美子
日原の石仏―津和野往還に沿って
内谷　知
地方記者奮闘記「古里とともに」
(1)　小川　重文
町から村から
木谷石塔―わが町の碑　左田野　裕
笹ユリ　余録　大矢　幸子
資　料
邑智郡日和村の由来(2)―八世
紀初頭、阿波忌部一族の来住
久守　藤男
島根県邑智郡邑南町矢上・清水
屋本田植歌集(4)　田中　瑩一
文　芸
文庫本と月報集　佐々木徳次
ばあちゃんのウリ坊　藤本　欣哉
平成25年度　石見郷土研究懇話会
仁摩大会報告

◆大社の史話　大社史話会
〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
稲根克也方　℡0853-53-4966　年2500円

1974年創刊　www.taisha-shiwa-kai.jp
◇178　2014.3　B5　70p
大社観光史研究
（7）大社線と神門通りの建設　永瀬　節治
（8）まぼろしの日交「出雲神話之里」計画　馬庭　孝司
（9）出雲御師・高浜左仲（定方）の奮闘　岡　宏三
（10）戦国期、山陰屈指の商業拠点・杵築　岩成　俊策
（11）平安末期、杵築大社造営物語―「久安」の造営をめぐって　佐伯　徳哉
出雲弁よもやま話―節分さん　村上　清子
出雲大社と北海道松前氏　藤澤　秀晴
コラム　出雲御師の布教資金　山﨑　裕二
出雲地域の終戦秘話　台湾から外園海岸に不時着した輸送機　森本　紀彦
大社の四ツ角「大社講」のこと　藤井　壽男
出雲の風と光を感じて　田中　洋子
消えゆくもの（43）
―祭りともてなし　春木　芳子
日置風水の紀行文
『隠岐のすさび』を読む（4）　山崎　隆司
読者コーナー　編　集　部
書籍紹介　いずも民話の会が『神々の運定め』を出版！　編　集　部
特別展　滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美―近江巡礼　祈りの至宝展―　古代出雲歴史博物館
アテンダントのご縁物語（3）
―古代出雲の風と光をあびて　尾添亜希子
出雲弥生の森博物館ミニ企画展
「ふるさと出雲お宝Ⅱ―小中学校編―」　出雲弥生の森博物館
手銭記念館の四季
―館蔵品展「花鳥風月」　佐々木杏里
平成26年10月～12月出雲市大社町年表　編　集　部

◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内　℡086-222-2028
年2000円　2002年創刊
◇49　2014.1　A4　10p
明石掃部の名乗りについて（1）　小川　博毅
追悼再掲記事　宇喜多秀家公終焉の地・八丈島訪問の旅の報告　片岡　和男
豪姫ゆかりの地・金沢を訪ねて　片岡　和男
黒田官兵衛と宇喜多家家臣　出宮　徳尚
物語直家記伝　乙子の城　第20回伴侶（5）　山重十五郎
訃報　片岡和男氏

◆岡山の自然と文化　郷土文化講座から
岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市北区石関町2-1
℡086-233-2505　1982年創刊
◇33　2014.3　A5　305p
岡山の木工芸―知られざる名工と現代の匠たち　福冨　幸
津山の城と城下町　尾島　治
池田動物園の開園六十周年を迎えて　忠政智登士
大原孫三郎に応えた郷土の建築家
薬師寺主計　上田　恭嗣
第3回おかやま文化フォーラム
基調講演「美作国建国と律令国家」　佐藤　信
鼎談「美作国と古代吉備」　神崎宣武／佐藤信／尾島治
古代吉備の実像に迫る完結編
三年間のまとめ　神崎　宣武

◆岡山藩研究　岡山藩研究会
〒169-0051東京都新宿区西早稲田
早稲田大学文学部　紙屋研究室内
blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwasedq/
◇72　2014.2　B5　10p
〈第37回全体会の記録〉　2013.11.30
報告要旨　岡山藩寛政改革における祭祀秩序の再編　椿田有希子
参加記
椿田報告を聞いて　泉　正人
祭祀秩序の再編は「目的」なのか「結果」なのか　竹村　到

◆きび野　岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市北区石関町2-1
℡086-233-2505
◇132　2014.1　A5　14p
表紙説明
赤松麟作『三保の松原（A）』　廣瀬　就久
年頭にあたって　波田　善夫
随想　“国”成立の意味　狩野　久
岡山の人物　たまがき　藤井　茂樹
岡山の自然　諏訪神社の白檀　團　正雄
岡山の文化財　中国銀行倉敷本町出張所（旧第一合同銀行倉敷支店）　上田　恭嗣
わが町・わが村の自慢　蒜山タンチョウの里（真庭市蒜山）
ふるさとの想い出　黒田家“礎”の地「備前福岡」（瀬戸内市長船町）
会員だより　「土佐村の今昔ものがたり」編集にあたってのあれこれ　長田　通昭

◆倉敷の歴史　倉敷市総務局総務部総務課
〒710-1398岡山県倉敷市真備町箭田1141-1
総務課歴史資料整備室
℡086-698-8151　1991年創刊
www.city.kurashiki.okayama.jp
◇24　2014.3　A5　122p
毛利元清発給文書の研究　石畑　匡基
中近世移行期の猴掛庄氏とその一門像―『西国太平記』を「植木家先祖覚」で読み直す　森　俊弘
倉敷代官所における元締手附の職務と代官所文書　戸森麻衣子
聞き書き倉敷の歴史　真備町ふるさと歴史館の設立にたずさわって　森田　晃次
史料紹介
倉敷商家の相続をめぐる遺娘の訴え―寛政五年稲葉屋うたの場合　定兼　学
朝鮮刀をめぐる三翁の交流―龍山・木堂・碧堂の親書にみる　太田　健一
史料群紹介　倉敷市所蔵岡山県都窪郡倉敷町大森家文書　立石　智章
アラカルト　特別展「木堂の学んだ三余塾」を終えて　佐藤　秀樹
展示会記録　平成25年度資料展示会　倉敷義倉とその人物
報告　平成24年度歴史資料講座／平成25年度古文書解読講座／倉敷市立中央図書館開館30周年記念行事「絵図で歩く倉敷のまち」
新刊紹介　太田健一監修・小川江南編著『アジア・太平洋戦争下水島軍事機密史料集―航空機工場と航空基地建設の実態―』、『第一回　大原孫三郎・總一郎研究会報告書』、『倉敷帝国ホテル50年の歩み』、別府信吾『岡山藩の寺社と史料』

◆芸備地方史研究　芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3　広島

大学大学院文学研究科日本史学研究室内
℡082-424-6643　年3000円　1953年創刊
◇288･289　2014.3　A5　48p　1200円
安芸国高田郡三田・風早郷の寄進
と立荘―御願寺領荘園形成につ
いて　畑野　順子
動　向
2013年度大会アンケートに寄せ
られたご意見・ご要望への回
答
広島県の地方史研究
新聞記事から(2008年1月～2009
年12月)
芸備掲示板
新春の展示会「刀・ＫＡＴＡＮ
Ａ」展によせて
広島県立歴史民俗資料館
企画展「陸軍の三廠～宇品線沿
線の軍需施設～」　広島市郷土資料館
収蔵文書の紹介展示　データで
みる深安郡山野村の経済成長
―広島県重要文化財　山野村
役場文書　広島県立文書館
史跡をあるく　大山神社　菊池　達也

◆備陽史探訪　備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
℡084-953-6157　bingo-history.net
◇176　2014.2　A4　28p
伝承と史実の間
―郷分町の青ヶ城を例に　田口　義之
近世福山を読む　福山藩水野氏の
石高の変遷―備陽六郡志より　高木　康彦

古文書解読　「宝永八年沼隈郡神
嶋村萬差出帳」(1)
調査報告　中世石造物の調査報告
備後史談　アメリカから送られて
来た友情の人形(青い眼の人形)
と日本　小田　慶久
郷土探訪
千田の歴史遺産―藪路大峠に残
る牛馬の供養碑と両備軽便鉄
道の橋脚　根岸　尚克
連載「川筋を訪ねて」(6)
久松用水と葦陽用水を遡る　種本　実
例会報告
ぶら探訪七「尾道歩きパート1」
に参加して　野村　秀樹
上井出川筋を歩きました　沖　正明
読者便り
「蛇円山物語」によせて　小田　慶久
「郷土料理・うずみ」によせて　田口　由実
山城レポ　古墳と廃寺の史跡
越前成願寺城跡　末森　清司
おすすめ図書　『僕は考古学に鍛
えられた』(森浩一、ちくま文
庫)　岡田宏一郎
大分便り　竹中氏系譜　後藤　匡史
総会報告　平成26年度総会

◆広郷土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
広まちづくりセンター内　℡0823-71-0706
1998年創刊
◇117　2014.1　A4　24p
表紙　第35回県史協広島大学見学
大会報告と機関誌第31号紹介
奥田将文・大倉正明／上河内良平
渤海と日本の交流について―迎接
体制の展開を中心として　小林美保子
平成25年度　第35回県史協広島大
学見学大会報告　平原　聖三
◇118　2014.3　A4　24p
表紙　安徳帝伝説を伝える若宮さ
んの石塔と記念碑　上河内良平
平家伝説と江田島　宇根川　進
藤田家文書　第ＦＪ章
入船山記念館所蔵文書(2)
広郷土史研究会古文書部会
『膺懲碑』と模範村
広甘藍との関係　小栗　康治

◆わが町三原　みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
福岡幸司方　℡0848-62-2935　年3600円
◇275　2014.2　B5　12p　100円
今月の各地
三原は備後人？安芸人？　渾川　雅子
安芸草井氏の出自と系譜(1)　和氣　泰臣
大化前代における備後・安芸の
「国界」地域(3)　大本　静人
楢崎氏と三原(3)　大谷　和弘
◇276　2014.3　B5　12p　100円
今月の各地　雛祭り　上田　茂
「沼田東町の史跡めぐり」のご案内
大谷　和弘
安芸草井氏の出自と系譜(2)　和氣　泰臣
大化前代における備後・安芸の
「国界」地域(完結編)　大本　静人

◆徳島県立博物館研究報告
〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園　℡088-668-3636
1991年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇24　2014.3　B5　93p
高知県の鮮新―更新統唐ノ浜層群
穴内層から新たに確認された貝
類(7)　中尾賢一／三木健二
アサギマダラの移動に関する徳島
県の記録(2013年)　大原賢二／山田量崇
調旧吉野川流域におけるナガエツ
ルノゲイトウの分布　小川　誠
徳島県阿南市北の脇海岸に漂着す
る土器片・陶磁器片について
西崎聖二郎／高島芳弘
学校給食における経験と認識に関
するアンケート調査報告　磯本　宏紀
イギリス博物館界におけるインタ
ーンシップ及びキャリア・ボラ
ンティア活動の現状について　西　記代子
ジョガマル池におけるノグサ
Schoenus apogon, Roem. et Schult.
の生育状況　茨木靖／木下覺／
矢野興一／小川誠
香川県で発見されたイネ科小穂形
態異常の記録　茨木靖／菊間泰氾／久米修
／ステファン・レンボイツ
徳島県のナツトウダイ類（トウダ
イグサ科）の形態と分布
黒沢高秀／木下覺／田渕武樹／成田
愛治／中村俊之／小川誠／茨木靖
愛媛県のツクシタンポポ　小川　誠

◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島県徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園　℡088-668-3636
1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇94　2014.3　A4　8p
学校給食の脱脂粉乳　磯本　宏紀
Culture Club　四国のおもしろい
在来タンポポ　小川　誠
平成26年度企画展　いただきま～
す！―食の生活史と自然誌
情報ボックス　シロツブのなかま
が発芽しました！　茨木　靖
館蔵品紹介　阿南市羽ノ浦町
寺田山古墳出土遺物　岡本　治代
Ｑ＆Ａ　一宮ってなんですか？
徳島県にはいくつかあるみたい

ですが…　長谷川賢二

◆伊予史談　伊予史談会
〒790-0007愛媛県松山市堀之内
愛媛県立図書館内　1915年創刊
◇372　2014.1　A5　41p　715円
天正期賀嶋城合戦に関する一考察　桑名　洋一
宇摩郡三角寺の新四国霊場の開創
一江戸後期の村落における遍路
信仰を示す一例として　井原　恒久
研究ノート
仙波太郎中将の足跡　田所軍兵衛
新刊紹介　編　集　部
郷土その日その日　平成25年6月
～平成25年10月　編集部(柚山俊夫)
例会記事　編　集　部

◆海南千里　土佐山内家宝物資料館だより
〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26
℡088-873-0406　2000年創刊
www10.ocn.ne.jp/~yamauchi/
◇42　2014.1　A4　10p
重要文化財　長宗我部地検帳(368冊)の内 長岡郡五台山嶋地検帳
桃山時代　天正16(1588)年　横山　和弘
忘れられた土佐駒　渡部　淳
特設展紹介 「山内家のひな道具」(尾本師子)／文殊の御寺　竹林寺展―古文書と書画を中心に(横山和弘)
事業報告
「土佐藩・土居関係資料所蔵博物館連携協定」の締結と展望　筒井　聡史
他館展覧会への出展協力　田井東浩平
特設展関連行事報告 「記す・つむぐ・伝える―山内家の古文書アーカイブ―」関連行事　古賀　康士
御道具根居をよむ(3)
「御道具の世界像(1)」　尾本　師子
新 研究の手引
館外で閲覧できる山内家資料　藤田　雅子
整理と保存(42)
古文書資料がもつ多様な情報　田井東浩平
古文書への招待
幕藩関係を支えた土佐駒　渡部　淳
土佐史の人々
本山団蔵茂隆(生没年不詳)　渡部　淳
古文書基礎知識　不定時法　片岡　剛
土佐の○　地域とともに　地域資料調査の生み出す広がり―竹林寺所蔵資料の調査から展示へ　横山　和弘
お世話になった人々―安芸郡西芸村　門脇鎌久さん　筒井　聡史
まなびのひろば　お月見の会／体験！発見！日本の伝統文化　着付け、Japanese Cultural Experience 香道　中屋　真理
受付だより　高野切ジェネレーターと季節のカード　大平　悦子
路傍の歴史
高知城の眺め　高知市　古賀　康士

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国　梓書院
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1　麻生ハウス3階　℡092-643-7075　1979年創刊
◇120　2014.1　A5　216p　1238円
巻頭言　真贋の森にわけ入る
《特集　古代史真贋の森「金印」「銀印」》
漢の印刷からみた「漢委奴国王」蛇鈕金印　高倉　洋彰
奇怪な印譜『宣和集古印史』「親魏倭王」「漢委奴国王」印をめぐる真贋論争　安本　美典
安本が、卑弥呼の「親魏倭王」の金印を発掘したという夢のような話　安本　美典
「魏率善氏中郎将」の銀印は、本物か、にせ物か
『東日流外三郡誌』についての、ちょっとした話　安本　美典
梅原末治論(前)―モノを究めようとした考古学者の偉大と悲惨　穴沢　咏光
徐福伝説を巡って　岡　博
歴史の残る高千穂サミットを終えて　田中　文也
ブッダへの道(6)―法顕が見た五世紀初頭のアジア　河村　哲夫
九州古代紀行(22)　新羅系渡来民族の氏神香春神社を往く　加藤　哲也
海の民 宗像(7)
―玄界灘の守り神　太神　美香
世界遺跡巡り(2)　ポンペイ　井上　修一
書評　河村哲夫著『神功皇后の謎を解く―伝承地探訪録―』　安本　美典
追悼文
田村圓澄先生の人と業績　小田富士雄
田村圓澄先生を偲ぶ　佐伯　弘次
◇167　2014.3　B5p　110円
《特集　帝国大学の〈内〉と〈外〉》
巻頭言　特集「帝国大学の〈内〉と〈外〉」にあたって　永島　広紀
帝国大学「法文学部」の比較史的検討―内外地・正系と傍系・朝鮮人学生　永島　広紀
博士学位授与機能から考察する京城帝国大学医学部の「教室」　通堂あゆみ
九州帝大医学部における民族衛生学・植民衛生学講座―戦前・戦後の水島治夫の学問から　横山　尊
書　評
永島広紀著『戦時期朝鮮における「新体制」と京城帝国大学』　横山　尊
新城道彦著『天皇の韓国併合　王公族の創設と帝国の葛藤』永島　広紀
◇168　2014.3　B5　64p
律令国家の九州南部支配　菊池　達也
室町期における兵庫問丸の活動　戸板　将典
ワシントン会議前後の徳川家康とその政治的位置　原口　大輔

◆末盧国　松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
℡0955-73-3549　年2000円　1962年創刊
◇197　2014.3　B5　20p
自然石種子板碑(しゅじいたび)　志佐　惲彦
左伝雕題略と山田寛　寺沢　光世
石室亥の子祭りと猪の子綱引き　熊本　典宏
浄泰寺の宝篋印塔　丸田　利實
考古学における地方史研究の成果
土製(滑車型)耳飾(2)　田島　龍太
まつら歴史かるた　堀川　義英

正保の黒船焼討事件の真相　山田　洋

◆石の証言
「八紘一宇」の塔を考える会
〒880-0951宮崎市大塚町西ノ後3376-1
土岐宗春方　TEL0958-52-5014　年2000円
◇59　2014.1　A4　8p
石の証言　中支小松部隊、六師団第二建築輸送（第六師団第二建築輸卒隊）
2014年新年を迎えて　税田啓一郎
“「特定秘密法」に反対し廃案を求める緊急声明”について　野崎　眞公
モノが語る歴史4　宮崎「平和の塔」は歴史偽造の塔　東海林次男
第36回九州地区協議会「2.11 平和教育研究集会」について　追立　敏弘
「八重の桜」から 勇気をもらう　河野富士夫
スペイン内戦と3本の映画について　永野　光雄
第75回　憲法と平和を考えるつどい／「八紘一宇」の塔を考える会例会

◆鹿児島地域史研究　鹿児島地域史研究会
〒890-0065鹿児島県鹿児島市郡元1-20-6
鹿児島大学教育学部日隈研究室
TEL099-285-7847　2002年創刊
kchiiki.kachoufuugetu.net/index.html
◇8　2014.1　A4　37p
天正～慶長期の内之浦湊と島津氏　米澤　英昭
島津久光の東上と近衛家の対応—「上京」問題と近衛忠房　野村　晋作

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付　TEL0980-72-9963
1977年創刊
◇200　2014.1　B5　10p
1月定例会 「会報」200号記念の集い—研究会のあり方を考える　事　務　局
2月定例会レジュメ　ネフスキーが残した宮古語原文から見える「宮古人らしさ」を考える　仲宗根將二
「近代宮古の育英制度」補足—11月定例会あらまし　仲宗根將二
人頭税社会の祭祀と現代—12月定例会を終えて　下地　和宏
特別展示「金井喜久子展」の紹介　國仲　香織
長墓遺跡発掘調査報告書の紹介　久貝　弥嗣
「会報」200号記念特集
「会報」200号によせて—宮古郷土史研究会と共に40年　仲宗根將二
「会報」200号と研究会活動　下地　和宏
「会報」200号によせて　砂川　幸夫
会報200号によせて　下地　利幸
会報200号発行を記念して—今後の研究会運営に関する一提案　久貝　弥嗣
2013年忘年会ひらかれる　久貝　弥嗣
汚された「憲法九条の碑」　仲宗根將二
◇201　2014.3　B5　8p
3月定例会レジュメ　再々「与那原はら軍」終結の時期をめぐって—砂川明芳氏の提起を受けて　下地　和宏
1月定例会のまとめ 「会報」200号記念の集い—1月定例会を終えて　下地　和宏
2月定例会まとめ　ネフスキー「cïksïnu akar’a:zzagama nupa nasï」をカナ書きに　仲宗根將二
第26回企画展「宮古人のルーツを探る Part2—先史時代（無土器期）の宮古—」の紹介　砂川　史香
シンポジウム「無土器期の宮古」・「無土器期遺跡巡り」ひらかれる　久貝　弥嗣
第2回琉球民族独立総合研究学会、宮古で開かれる　下地　和宏
発掘調査速報　友利元島遺跡・与那覇遺跡　久貝　弥嗣
文化遺産を活かした地域活性化事業　綾道〈平良北コース〉市民ガイド養成講座開かれる　下地　和宏
刊行物紹介 『南嶺の長墓遺跡調査研究Ⅰ』刊行、島村幸一編『琉球　交叉する歴史と文化』
安全な「西里通り」への回想　仲宗根將二

◆宮古研究　宮古郷土史研究会
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8　下地和宏気付　TEL0980-72-9963　1978年創刊
◇12　2013.12　B5
宮古のグスク時代の食　久貝　弥嗣
「旧記類」と民間伝承に見る宮古の歴史伝承世界　下地　利幸
狩俣祖神のニーリ再考—稲村賢敷の「史歌」論文から半世紀　宮川　耕次
「与那ばら軍（いうさ）」終結の時期をめぐって—砂川明芳氏の提起をうけて　下地　和宏
宮古の氏姓の由来—苗字（平良・砂川・下地）はなぜ多い　砂川　幸夫
戦後宮古の文芸活動(6)
宮古の文芸著作　仲宗根將二
宮古島・西原の「芋の御初」についての報告　上原　孝三
宮古島市伊良部字仲地における神女ツカサの選出　本永清／新垣則子／佐藤宣子
研究余滴
アースオープンの実験を通して　久貝　弥嗣
企画展「宮古人のルーツを探る Part2」—先史時代（無土器期）の宮古　砂川　史香
宮古口創作神話伝説「漲水御嶽の由来」　久貝　愛子
魚垣（カツ）と抱護林について　三輪　大介
字（童名）と諡号（おくり名）から見えてくるもの　下地　利幸
野崎二か村　松原・久貝村　下地　和宏
地機（じばた）について　仲間　伸恵
砧打ちから見える宮古上布＝提案　砂川　猛
日本軍「慰安婦」のこと　仲宗根將二
活動報告　宮古郷土史研究会
2011～13年度のあゆみ　久貝　弥嗣

◆宮古島市総合博物館紀要
〒906-0011沖縄県宮古島市平良字東仲宗根添1166-287　TEL0980-73-0567
◇18　2014.3　B5　189p
沖縄県下地島の石灰岩段丘地形について—陥没ドリーネ・入江水道の形成発達　安谷屋　昭
宮古馬のルーツを探る(3)—尻並第二遺跡出土のウマの遺体、宮古島在番等と献上馬、および明国への貢馬の評価　長濱　幸男
宮古島トライアスロン競技と潮流予測　長濱　幸男
宮古諸島水納島のトンボ　小浜継雄／砂川博秋
宮古諸島水納島で確認したチョウ　小浜継雄／砂川博秋
宮古島大野山林のサンコウチョウ

の巣における卵、および雛の捕
食者の特定　大井沙綾子／田中健太／仲地邦博／高木昌興
ニコライ・ネフスキーの伊良部調
査　上原　孝三
野原集落のサーツキ゜ニガイ祭祀
新垣則子／佐藤宣子
与那覇勢頭豊見親の出自を考える
―「与那覇勢頭」は倭寇由来の
名称か　下地　利幸
宮古のグスク時代における建物跡
の様相　久貝　弥嗣
戦後宮古の文芸活動(5)　仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆古文書解読集6
守谷古文書サークル編・刊（℡0297-45-2161）2013年11月　A4　168頁
茨城県守谷市において活動を続けている守谷古文書サークルによる市内の古文書解読集第6集。文政2年(1805)6月に設置された関東取締出役の関東全域の取り締まりと、改革組合村の結成を指令した文政10年(1827)2月以降の状況を示す古文書の解読文・読み下し文を、用語の説明とともに紹介。斎藤家文書(守谷町)「御改革村ニ付御用留」(文政12年〈1829〉5月)、染谷家文書(赤法花村)「関東御取締役　御用諸書物心得方控」(文政10年〈1827〉8月)の2点を収録する。

◆黒羽とその周辺地域のやきもの
大田原市黒羽芭蕉の館・刊（〒324-0234　栃木県大田原市前田980-1　℡0287-54-4151）2013年11月　A4　66頁
黒羽芭蕉の館の平成25年度企画展(11月2日～12月8日)の展示図録。平成19年度から22年度にかけての広瀬久之進氏(那須塩原市)寄贈資料を中心に、末永福男氏(福島県)、渡辺陽一氏(那須塩原市)、山口君子氏(大田原市)からの寄贈資料も含め、黒羽とその周辺地域にゆかりのやきもの191点を一堂に紹介する。ごあいさつ／黒羽とその周辺地域のやきもの略年表／カラー図版　かなめ焼、岡の台瀬戸焼、益子焼、成田焼、平野焼、志鳥焼、小砂焼／主要参考文献／「かなめ焼」と板谷波山(末武さとみ)

◆高麗神社史料集2　高麗家文書1
横田稔編　高麗神社社務所（〒350-1243　埼玉県日高市新堀833　℡042-989-1403）2013年11月　A5　404頁　非売品
平成28年(2016)に高麗神社の創建にかかわる高麗郡の設置から1300年を迎えるにあたり進められている「高麗郡建郡千三百年記念事業」社史編纂事業の一環として、高麗神社および高麗家所蔵文書の中から、近世の「朱印地」と「別当職」に関する史料150点を収録する。口絵／序文(高麗文康)／凡例／口絵目次／史料目次／史料　朱印地（朱印状、朱印状写、朱印改、年頭御礼、朱印地に関する改、朱印状返上）／別当職（補任状、加行護摩祝儀、入峯修行）／解題(横田稔)／付録　高麗氏略系図／あとがき(横田稔)

◆富士信仰分野別読書案内　2014年版
富士講アーカイブ選書14
大谷正幸著（〒114-0024　東京都北区西ヶ原3-48-17　さつき荘）　富士講アーカイブ(http://kakugyou.la.coocan.jp/index.html)2013年12月　B5　39頁
「富士信仰の勉強をするのに何を読んだらいいか」をテーマに、富士信仰研究の基本文献を紹介する。はじめに／富士信仰分類／日本各地に散在し祀られる浅間神社／富士山麓の各登山道にある信仰集落／富士修験及び修験道に基づく富士信仰／角行系の諸派／前項のいずれにも属さない、個人や小規模な集団による祭祀

◆第4展示室特集展示―人間文化研究機構連携展示　東日本大震災と気仙沼の生活文化
(図録と活動報告)
大学共同利用企画法人　人間文化研究機構国立歴史民俗博物館編・刊（〒285-8502　千葉県佐倉市城内町117　℡043-486-0123）2013年3月　A4　89頁
気仙沼市小々汐地区と本吉地域大谷地区の個別の家に刻まれた生活文化に焦点をあてた特集展示の解説と、東日本大震災における取り組みをまとめる。あいさつ／東日本大震災と国立歴史民俗博物館の活動（東日本大震災による被災状況、東日本大震災と文化財レスキュー、国立歴史民俗博物館の活動、瓦礫から生活用具・民具を救う）／気仙沼に生きる(気仙沼市の歴史と産業、東日本大震災と気仙沼、津波の記録と記憶、アーカイブとしてのイエ)／イエを興す―明治三陸大津波のあとの暮らし（津波のあとに興された家、三浦家の歴史、三浦家の生業）／解説　東日本大震災を経験した気仙沼の生活文化―国立歴史民俗博物館の資料レスキュー活動から(小池淳一)、モノの救出から物語の救出への展開―気仙沼市小々汐・尾形家住宅における活動を事例に(葉山茂)、警鐘と鎮魂―「記念碑」に込められた「知恵」の所在(川村清志)、三浦家のモノにみる本吉地域の生活文化―津波のあとに興された家(加藤秀雄)

◆東庄町石造文化財調査報告
房総石造文化財研究会編・刊（〒270-0221　千葉県野田市古布内1682-3　石田年子方　℡04-7196-3375）2013年8月　A4　68頁
1980年に発足した房総石造文化財研究会による千葉県内各地の石造物の調査報告書。本書には、2001年から21012年まで行われた東庄町の石造物調査の成果をまとめる。発刊のことば(沖本博)／凡例／梵字／東庄町の石造物概要(石田年子)／東庄町と銚子石(宮内欽一)／東庄町の子安塔(蕨由美)／笹川地区／神代地区／東城地区／橘地区

◆元漁協組合長深山正巳による一つの手賀沼
手賀沼ブックレット1
相原正義著　たけしま出版（〒277-0005　千葉県柏市柏708-73　ヒルズ柏402　℡04-7167-1381）2013年7月　A5　111頁　1000円
「手賀沼とともに生きたことは宿命だった」という語り部・元漁協組合長の“わが手賀沼”。はじめに／深山正巳さんと深山家／手賀沼の漁業と漁協・魚類／手賀沼の水と地形／文献による布瀬村のカモ猟／水害とのたたかい／手賀沼干拓の歴史

◆手賀沼をめぐる中世(1)―城と水運
手賀沼ブックレット2
千野原靖著　たけしま出版（〒277-0005　千葉県柏市柏708-73　ヒルズ柏402　℡04-7167-1381）2013年7月　A5　76頁　1000円
新たな地域史の試み。中世手賀沼沿岸の城と水運、そこにくりひろげられた戦乱と人々の動向を活写。はじめに／手賀沼水系と城砦の分布／境根原合戦と手賀沼水運／小弓・古河両公方の抗争と水上権／中峠・柴崎両城の河村氏／天正十八年の手賀沼周辺

◆利根川水系の鮭と環境学習
手賀沼ブックレット3
佐々木牧雄著　たけしま出版（〒277-0005　千葉県柏市柏708-73　ヒルズ柏402　℡04-7167-1381）2013年12月　A5　79頁　1000円
大河利根川を遡上南限とする鮭。江戸時代から現代まで、その実態を探る。産卵・孵化・飼育と鮭を通しての環境学習。教育現場からの報告。永年、柏市・流山市の小学校で「足元からの環境教育」を実践してきた著者が、利根川水系の鮭の実態を明らかにする。手賀沼から―はじめに代えて／利根川の鮭／環境学習／おわりに

◆大井に大仏がやってきた！
　―養玉院如来寺の歴史と寺宝
品川区立品川歴史館編・刊（〒140-0014　東京都品川区大井6-11-1　℡03-3777-4060）
2013年10月　A4　150頁
品川区立品川歴史館の特別展（2013年10月13日～12月1日）の図録。下谷（台東区）の養玉院と、高輪（港区）の如来寺が大正15年（1912）に合併して誕生した西大井の養玉院如来寺。ともに寛永年代の創建である養玉院と如来寺それぞれの歩みを紹介し、貴重な文化財を特別公開する。ごあいさつ（佐藤成順）／ごあいさつ（遠賀庸達）／養玉院と如来それぞれの歩み／如来寺開山　木食但唱／対馬藩主宗家と養玉院／祈りのかたち―養玉院如来寺の寺宝／幕末から明治、現代まで／コラム　弾誓の弟子念光、弾誓流の弟子たち、但唱没後の弟子たち、養玉院に伝えられた対馬宗家文書／附録（養玉院如来寺年表、但唱足跡図、弾誓流系譜図、但唱年表、史料釈文、掲載資料目録、主要参考文献）

◆五十年の歩み
財団法人アメリカ研究振興会編・刊（〒100-1006　東京都千代田区有楽町1-13-1　第一生命館内　℡03-3201-2010）2013年3月　A5　99頁
1962年6月12日設立から50年を迎えるアメリカ研究振興会の歩み。アメリカ研究振興会創立50周年を祝して（中原伸之）／創立20周年記念レセプション挨拶（再録）（岩佐凱実・矢野一郎・Donald Bartlett）／創立當時の事ども（再録）（伊丹良）／設立趣意書／研究助成団体からの寄稿　アメリカ学会の国際化とアメリカ研究振興会（有賀夏紀）、アメリカ研究振興会と東京大学のアメリカ研究センター（油井大三郎）、アメリカ研究振興会創立50周年に寄せて（細谷正宏）、アメリカ研究札幌セミナーについて（古矢旬）、立命館大学アメリカ研究センターと「アメリカ研究夏期セミナー」（中野雅博）、「名古屋アメリカ研究夏期セミナー」（2007～2011年度）の概要とその成果について（藤本博）／アメリカ研究振興会の出版助成事業について（有賀貞）／年表（理事会・評議員会・会報発行年月）

◆東方社カメラマンがとらえた市民の暮らし
　戦時下の日本・中国・東南アジア
山辺昌彦・井上祐子・小山亮著　政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室（〒136-0073　東京都江東区北砂1-5-4　℡03-5857-5631）2013年7月　A4　36頁
東京大空襲・戦災資料センターにおける2013年度第2回特別展（2013年7月31日～9月8日）の図録。2012年の第1回特別展で空襲写真を展示したのに引き続いて、戦時下の市民の暮らしを伝える東方社撮影の写真を紹介する。日本（防空、青少年の暮らし、労働者の暮らし、戦時下の芸能や娯楽、留学生）／中国（中国　別所弥八郎撮影、中国　関口満紀撮影、満州国）／東南アジア（大陸部：仏領インドシナ・シンガポール・マレー半島、島嶼部：フィリピン・蘭領東インド・ニューギニア）／掲載写真目録／コラム　東方社の社屋、東方社の宣伝物

◆自然災害と民俗
野本寛一著　森話社（〒101-0064　東京都千代田区猿楽町1-2-3　℡03-3292-2636）2013年3月　B6　267頁　2600円
地震・津波・噴火・山地崩落・台風・河川氾濫などの自然災害に日本人はどう対処してきたのか。災害とともに生きるための民俗知・伝承知を、信仰・呪術・年中行事・伝説等にさぐる著者の論考を集める。序章　『自然災害と民俗』の座標／地震と津波／火山噴火と降灰／山地崩落／台風／河川氾濫／琵琶湖の増水／雪崩／吹雪／冷害／旱天と雨乞い／霜／災害列島に生きる／追い書き

◆品川区立品川歴史館所蔵
　今井金吾コレクション目録
品川区立品川歴史館編・刊（〒140-0014　東京都品川区大井6-11-1　℡03-3777-4060）
2013年10月　A4　60頁
長年にわたる江戸時代の街道研究者として知られる今井金吾氏の蒐集した道中記を中心とするコレクションの目録。企画展「江戸の旅へようこそ―今井金吾コレクションの世界―」（平成23年2月12日～4月10日）の出展史料をもとに再構成した図版編と解題を収める。今井コレクション寄贈の経緯について（柘植信行）／今井金吾氏の功績（今井金吾氏の街道研究の歩み）／今井金吾コレクションにみる江戸時代の旅（街道整備と宿場町、道中記のはじまりと展開、双六・往来物・名所図会の登場、伊勢参詣と伊勢参宮路、講の発生、避けては通れぬ関所を抜けて、百万都市江戸とその近郊を行く、諸国の様々な道中記）／今井金吾コレクションの概要／今井金吾コレクション目録

◆浄土三部経と地獄・小倉句の事典
　信仰・歴史・文学
大角修著　春秋社（〒101-0021　東京都千代田区外神田2-18-6　℡03-3255-9611）2013年3月　B6　355＋3頁　2400円
『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』の浄土三部経を現代語で抄訳するとともに、浄土経の用語解説事典、古典などからたどる浄土信仰・文化史事典を収録する。はじめに　極楽浄土の歌／浄土三部経を読む　現代語抄訳（浄土三部経を読む前に、阿弥陀経　一巻―極楽浄土の荘厳、観無量寿経　一巻―欣求浄土、無量寿経　二巻―極楽浄土の由来と荘厳）／浄土経の事典（浄土経典の成立と広まり、浄土三部経の仏・菩薩・場所、浄土教の基礎用語、法会・仏事でとなえる経文、法会・仏事でとなえる宗祖の言葉、法会と年中行事、浄土系の伝統宗派）／日本の浄土教・文化史事典（飛鳥・奈良時代、平安時代、鎌倉時代、室町・安土桃山時代、江戸時代以降、コラム）／参考・引用文献／あとがきにかえて　極楽の復権

◆滝野川村戸部家文書調査報告書
　文化財研究紀要別冊22
東京都北区教育委員会北区飛鳥山博物館事業係編（〒114-0002　東京都北区王子1-1-3　℡03-3916-1133）　東京都北区教育委員会（〒114-8508　東京都北区王子本町1-15-22　℡03-3908-1111）2013年3月　B5　150頁
江戸時代後期に滝野川村の旗本野間家領の年寄を務めるかたわら、絞油業や飛鳥山下で水茶屋経営を行い、また明治期には当主弥惣治が滝野川村の戸長・村長を務めた戸部家で新たな確認された651件の古文書の概要と文書目録・翻刻を収録する。ごあいさつ（大石喜之）／刊行の辞（加藤貴）／調査報告　滝野川村戸部家文書について（田中葉子）／目録（凡例、目録）／史料翻刻（凡例、史料翻刻　近世滝野川村、近代滝野川村、滝野川大砲製造所、戸部家、和歌俳諧）／研究報告　滝野川地域の水茶屋経営（門野里苗）、滝野川大砲製造所建設と地域住民（藤井明広）、慶応三年滝野川村百姓甚平水車場の上知とその補償（寺内健太郎）／調査関係者・研究会記録

◆熊野信仰の世界―その歴史と文化
　民衆宗教を探る
豊島修著　慶友社（〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-48　℡03-3261-1361）2013年10月　A5　203頁　2600円
はじめに―熊野三山信仰への招待／熊野修験道史への展望／熊野信仰の宗教史的・文化史的研究／熊野信仰史研究の諸問題／古代・中世の熊野三山信仰と修験道／中世以降の熊野三山と信仰／近世熊野三山の信仰と民俗伝承／熊野修験道の文化史的研究／おわりに

◆橘屋一家のモノ語り
調布市郷土博物館編・刊（〒182-0026　東京都調布市小島町3-26-2　℡042-481-7656）2013年10月　A5　43頁
2011年3月に調布市有形文化財（歴史資料）に指定された飛田給の野口家資料1456点から、布田五宿地域の露天商集団「橘屋一家」の営みを紹介する。発刊にあたって／近世・布田五宿の露天商集団／商人仲間から五宿組合へ／露天商の戦後／参考文献／業界用語（露天商の言葉）／あとがき

◆東京をくらす
　―鉄砲洲「福井家文書」と震災復興
塩崎文雄監修　八月書館（〒113-0033　東京都文京区本郷2-16-12　ストーク森山ビル302　℡03-3815-0672）2013年3月　A5　371頁　4200円
東京市京橋区本湊町（現 東京都中央区湊1丁目）で三代にわたって貸地・貸家業を営んできた福井家の家業に関する証書類を中心とした「福井家文書」（和光大学寄託、2013年現在1714点）を通して、人々のくらしの舞台としての東京と、くらしのなかで変わってきた東京の姿を浮き彫りにする。和光大学総合文化研究所研究プログラム「東京―市民のくらしと文化」事業（2010年～2012年）。はじめに（塩崎文雄）／江戸の地霊・東京の地縁―鉄砲洲本湊町の「福井家文書」を読む（塩崎文雄）／本湊町建て直し―「福井家文書」にみる震災復興（鈴木努）／生きられたレジャー革命―福井家の余暇とその舞台（長尾洋子）／郊外を拓き、郊外に住まう―「成城」から読み直す郊外開発の歴史（荒垣恒明）／川島忠之助のばあい―江戸の地霊・東京の地縁　拾遺（塩崎文雄）／「福井家文書」解題（鈴木努）／別巻「福井家文書」目録（A5判・207頁）

◆フィールド科学の入口
　暮らしの伝承知を探る
野本寛一・赤坂憲雄編　玉川大学出版部（〒194-8610　東京都町田市玉川学園6-1-1　℡042-739-8935）2013年10月　A5　220頁　2400円
世代を越えて受け継がれてきた「知恵や技」に、言葉をあたえる。「フィールドから見える知の新しい地平とは？」　Ⅰ部　対談　無勝手流フィールドワーク／Ⅱ部　神樹見聞録　フィールドワークから見えてくること（小川直之）、オカボラ奮闘記　沿岸をあるく喜び（川島秀一）／Ⅲ部　映像によるフィールドワークの魅力　『クニ子おばばと不思議の森』を手がかりに（柴田昌平）、暮らしから生まれた星の伝承知（北尾浩一）、モノを知り、人を追い、暮らしを探る（宮本八惠子）、在来作物とフィールドワーク（山崎彩香）、南インド・ケーララ州の祭祀演劇　クーリヤーッタム（鈴木正崇）／あとがき（赤坂憲雄）

◆『類題和歌鰒玉集』人名総索引
柿之舎　中澤伸弘編（〒110-0001　東京都台東区谷中3-7-3　FAX03-6277-3232）2013年11月　A5　82頁　2000円（送料80円）
江戸時代後期の国学者である加納諸平（文化3年〈1806〉～安政4年〈1857〉）により、自身や実父の歌をはじめとする全国の優れた和歌を収めた『類題和歌鰒玉集』について、初編（文政11年〈1828〉）から七編（安政元年〈1854〉）まで編別の出詠者を収めた人名索引。朝倉治彦監修、中澤伸弘・宮崎和廣編『類題和歌鰒玉・鴨川集』（クレス出版刊）を底本とする。

◆第32回全国地名研究者大会
　「地名は警告する」
日本地名研究所・川崎市（〒213-0001　川崎市高津区溝口1-6-10　川崎市生活文化会館　℡044-812-1106）2013年5月　AB　108頁
5月25日（土）・26日（日）に開催された第32回全国地名研究者大会「地名は警告する」の講演・討論資料集。ごあいさつ（谷川健一）／地すべりの暗示（谷川健一）／津波災害と地名（谷川彰英）／自然災害と関係の深い地名について（古谷尊彦）／自然災害と地名（太宰幸子）／紀伊半島の災害の歴史―石碑の警告（三石学）／熊野の地形・地質と地名―那智川流域を中心に（田中弘倫）／鹿児島県の災害地名の発生（田頭壽雄）／『奇妙変異記』にみる石垣島の津波石の名称（大田静男）

◆上杉謙信謎解き散歩　新人物文庫
花ヶ前盛明編著　KADOKAWA（〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3　℡03-3238-8521）2013年12月　文庫判　255頁　857円
春日山城から川中島合戦、関東出陣、未完の大遠征まで、越後が生んだ戦国時代最強の武将と謳われる上杉謙信をめぐるさまざまな謎を読み解く謎解き探訪。はじめに（花ヶ前盛明）／第1章　上杉謙信編／第2章　上杉一族・家族編／上杉家臣団・関係人物編／城郭編／ゆかりの神社・仏閣・史跡・祭り編

◆越後の民俗
　―信仰の受容変容にみる人の動き
金田文男著　三協社（〒164-0011　東京都中野区中央4-8-9　℡03-3383-7281）2013年5月　A5　178頁　3000円
越後の海岸沿いの集落には北陸地方から移ってきたという伝承をもつ浄土真宗寺院が多く存在し、信濃川流域の蒲原地方には北信濃地方から移動してきた浄土真宗寺院が多く存在している。本書では、そうした真宗寺院・信徒の移動ともない、生活、とりわけ信仰および民俗がどのように受容・変容したのかをとらえる。はじめに―越後の民俗／ムラの成立とムラ境／越後の海と山里・平野のムラにみる社会構成／越後平野の開発／一家複寺制にみる移動する寺院／サイの神にみる神仏去来／七夕と盆行事／鎌とススキの神事／おわりに―北からの民俗／あとがき

◆わたくしのサル学　高志路ブックレット5
佐藤和彦著　新潟県民俗学会（〒950-2022　新潟市西区小堀6-29-1　鶴巻武則方　℡025-231-6100）2013年10月　A5　90頁　762円
2013年に創立60周年を迎えた新潟県民俗学会の機関誌『高志路』掲載論文を中心に主題ごとにまとめるブックレット第5集。本書には、魚沼文化の会『魚沼文化』に収録された著者の論考5編を収録する。人間生活とサル／サルという名の道具／駒引き猿札と厩猿／猿は見ていた／佐渡のサルたち

◆都留市・西桂町 ふるさと学校歌集
都留市郷土研究会編・刊（〒402-0056　山梨県都留市つる1-8-23　清水正賢方　℡0554-43-2065）2013年4月　A5　400頁
都留市・西桂町において、明治以降に学校で歌われた校歌・応援歌などの楽曲を、谷村町立谷村尋常高等小学校等全42校について楽譜とともに収録する。発刊にあたって／発刊を祝して／凡例／解説『ふるさと学校歌集』―原譜を求めて／谷村町立谷村尋常高等小学校、他／ふるさと学校歌　収録曲一覧表／あとがき／主要参考文献

◆冨嶽人物百景―富士山にゆかりある人々
　富士山叢書5
富士吉田市歴史民俗博物館編（〒403-0005　山梨県富士吉田市上吉田288-1　℡0555-24-2411）　富士吉田市教育委員会刊　2013年6月　A5　240頁
富士山の世界遺産登録を記念して、『広報ふじよしだ』の連載「吉田縁人」をまとめる。かぐやひめから植村直己まで、富士山と富士吉田市にゆかりのある人々100名をとりあげ、富士登山もしくは富士山麓を訪れた年代順に紹介。用語解説／紹介人物の出生地マップ／富士山全体マップ／富士山頂マップ／御師町マップ／霊山―信仰の山としての富士山／名山―芸術の山としての富士山／火山―科学の

山としての富士山／資料編　富士登山者および来訪者年表、紹介人物に関する文献、紹介人物以外に関する文献、主な参考文献、富士登山者数の推移

◆世界遺産 富士山のヒミツ

富士吉田市歴史民俗博物館編（同上）　富士吉田市教育委員会刊　2013年7月　A5　34頁

富士山の世界遺産に関わる構成資産を紹介する解説書。世界遺産ってなーに？／どうして世界遺産に登録するの？／ユネスコとイコモス／世界遺産のいろいろ／富士山の「なに」がみとめられたの？／富士山まめ知識／構成資産の広がり／富士山域／富士山本宮浅間大社／山宮浅間神社／村山浅間神社／須山浅間神社／冨士浅間神社／河口浅間神社／冨士御室浅間神社／御師住宅／山中湖／河口湖／忍野八海／胎内樹型／人穴富士講遺跡／白糸ノ滝／三保松原

◆上田は信州の横浜だった

上田小県近現代史研究会ブックレット21

阿部勇著　上田小県近現代史研究会編（〒386-1102　長野県上田市上田原909-1　℡0268-24-2938）2013年12月　A5　90頁

長野県小県郡丸子町飯沼（上田市生田飯沼）の古文書保管庫から見つかった書簡をきっかけとして、上田と横浜とを結ぶ生糸の道の実像を明らかにする。驚きの連続―史料が史料を呼ぶ？／生糸の大量製造はいつからはじまったのでしょう？／横浜開港前大量の生糸はどこへいったのでしょう？／ペリー来航と上田／上田藩の貿易準備と中居撰之助／上田城下町商人の登場／神奈川交易交渉の本格化／横浜開港、上田藩の生糸貿易はじまる／飯沼村吉池家の生糸輸出／開国はアメリカ、通商はイギリス？／シルクロード／横浜から流入する西洋文化

◆戦後開拓―長野県下伊那郡増野原　オーラルヒストリーからのアプローチ　神奈川大学歴史民俗調査報告16

森武麿編　神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科（〒221-8686　横浜市神奈川区六角橋3-27-1　℡045-481-5661）2013年3月　A4　227頁

2010年5月17日の初回訪問から2012年秋にかけての5回にわたる増野原開拓についての聞き取り調査の記録。口絵／まえがき（森武麿）〔第1部　調査報告編―増野原開拓史〕　序章　課題と対象／第1章　戦後開拓の概況（戦後緊急開拓事業、農地改革）／第2章　増野原開拓史（増野原入植の概況、「満州開拓」から戦後開拓へ、増野原開拓事業の展開、開拓地の経営、開拓地の生活、開拓と女性）／第3章　増野原開拓の成果と現在（増野原開拓の成果、増野原開拓組合から農事法人増野へ）／第4章　総括（増野原開拓とは何だったのか、戦後開拓とは何だったのか）

〔第2部　資料編―オーラルヒストリー〕　増野原開拓に挑んで（中平義人ほか）／満州水曲柳開拓団から増野原開拓へ（仲田保）／兄弟協力して父の意志を継ぐ（仲田武司）／開拓二世の挑戦は減農薬農法（寺澤茂春）／開拓農協を支えた地元農協職員（塩澤孝）／開拓農家から地元農家へ嫁ぐ（塩澤美佐子）／観光農園に発展させて（湯澤徳晴）／開拓行政担当者が見た開拓地（宮川正二）

◆岐阜県の祭りからⅦ

清水昭男著　岐阜ルネッサンスクラブ（〒501-2517　岐阜県岐阜市三輪ぷりんとぴあ13-1　岐阜文芸社内　℡058-389-0780）2013年11月　B6　241頁　1500円

岐阜県内の消え行く儀礼・芸能を史料とともに紹介する祭礼記録の第7集。第6集（2009年4月）につづいて5つの祭りについて詳述し、シリーズあわせて39祭事を掲載する。富加町加治田の田の神祭り―「田楽」に陰陽道の思念を見る／揖斐川町北方神社のねそねそ祭り―一四〇年ぶり復活した田遊び／本巣市仏生寺の米かし祭り―用水管理者の遺徳をしのぶ儀礼／白山中居神社の春季例大祭―巫女舞と神輿渡御の古式を見る／近世における郡上地区の御鍬祭り―順村の内容に芸能史を添えて／見学記・他県の祭りから　神島のゲーター祭を見て―金気剋殺の迎春儀礼か、隠岐国分寺の蓮華会舞を見て―蓮華会舞には天平の遺風が漂う、五流尊瀧院のお日待ち大祭を見て―採燈護摩供を厳粛にして見事に完結／あとがき・富士山の世界遺産登録に思う

◆岐阜縣之商工業　附名所舊跡（復刻版）

岐阜県勧業協会編・刊　岐阜県郷土資料研究協議会（〒500-8368　岐阜県岐阜市宇佐4-2-1　岐阜県図書館内　℡058-275-5111）2013年1月　B6　87＋53頁

大正15年（1926）に岐阜県商工課内に設立された岐阜県勧業協会によって編まれた『岐阜縣之商工業』（昭和5年〈1930〉刊）の復刻版。昭和3年末時点での岐阜県内商工業に関わる各種データや、「長良川の鵜飼」他の伝統行事・祭事などを集成する。解題　根岸秀行。

〔岐阜県之商工業〕　総説（地勢、土地、気候、戸口）／交通／産業概観／工業／商業／会社及産業組合／商工業関係施設

〔附録　名所旧跡〕　都市別に依らざるもの／都市別に依るもの

◆縄文の美―土器の文様と飾り

富士市立博物館編・刊（〒417-0061　静岡県富士市伝法66-2　℡0545-21-3380）2013年5月　A4　16頁

富士市立博物館の第52回企画展（4月13日～6月16日）の解説図録。富士市内遺跡出土の縄文土器をはじめ、山梨県周辺の豪華な装飾をもつ縄文中期の土器を中心に展示し、縄文文化の精神世界の一端を紹介する。縄文土器って何？／文様をつける道具とつけ方／様々な文様・かざり／文様や飾りをつける意味／資料一覧

◆聞き書き 五右衛門風呂と昭和

榊原啓修著（〒446-0021　愛知県安城市法連町4-10　℡0566-76-6701）2013年10月　B5　135頁

はじめに　注釈／五右衛門風呂の由来／三種類の五右衛門風呂（丸桶平釜五右衛門風呂、円型長州釜五右衛門風呂、半長州釜五右衛門風呂）／茅葺屋根と五右衛門風呂／わが国の鋳物／くど作りと材料のはなし（レンガ、石灰と土、セメント、タイル、煙突）／鋳物工業所の見聞記、金物店主のはなし、風呂くべ燃料、風呂水と井戸（はねつるべ井戸、滑車つるべ井戸、竹竿つるべ井戸、井戸用ポンプ、小川と清水）／もやい風呂／五右衛門風呂以外の薪で沸かす風呂四種類（へそ風呂、長府釜風呂、不二風呂釜風呂、鉄砲風呂）／聞き書き（大正生まれ、昭和生まれ）／話者一覧

◆信長の大戦略　桶狭間の戦いと想定外の創出（ディスロケーション）

小林正信著　里文出版（〒160-0022　東京都新宿区新宿3-32-10　℡03-3352-7322）2013年8月　B6　267頁　1800円

今川義元の一年遅れの西上をさまざまな視点から検証し、「桶狭間の戦い」の真実の姿を明らかにする。はじめに―近世への序曲／信長の戦略とその時代／桶狭間の戦いと三国同盟（武田・北条・今川）／信長の情報戦略―おさなともだち秀吉の今川潜入／信長の外交戦略―尾張防衛から京都防衛へ／信長の軍事戦略―二つの古戦場／将軍の報復戦争と天下人への道／おわりに／桶狭間の戦い年表

◆鈴鹿の記憶―戦中・戦後の証言と資料　鈴鹿市制施行70周年記念　鈴鹿の戦中・戦後史作成事業

鈴鹿市文化振興部文化課編・刊（〒513-8701　三重県鈴鹿市神戸1-18-18　℡059-382-9031）2013年3月　A4　482頁

平成24年12月1日に市制施行70周年を迎えた三重県鈴鹿市の軍都から平和都市建設へのあゆみについて、聞き取りによる貴重な証言と、公文書や新聞等の資料を中心にまとめた資料集。口絵（銃後の生活、鈴鹿海軍航空隊、鈴鹿海軍工廠、終戦から復興へ）／発刊に寄せて（末松則子）／寄稿編　鈴鹿市の戦中・戦後史から学ぶ―戦争の記憶と記録の継承（伊藤純郎）、鈴鹿海軍工廠―その兵器生産状況（齋藤義朗）、鈴鹿市の工業発展と工場誘致政策―統計資料や市役所公文書をもとに（吉村利男）／証言編　はじめに、聞き取り証言に見る「鈴鹿市民」の戦中・戦後（塚本明）、証言（81名）、用語解説／資料編　伊勢新聞データベース、旧鈴鹿海軍航空隊　第三格納庫図面／地図資料／鈴鹿の戦中・戦後　略年表

◆三重県史資料叢書8
　三重県議会・新聞コラムの文化財
三重県環境生活部編・刊（〒514-0006　三重県津市広明町13　環境生活部文化振興課　県史編さんグループ　℡059-224-2057）2013年12月　A5　466頁
1984年から開始された三重県史編さん事業の一環としての資料叢書。本書には『三重県史』資料編　考古2（2008年刊）の「第3章　三重の考古史」に関連した埋蔵文化財保護に関する三重県議会議事録、県・市町への要望や請願、新聞コラムを編集する。はじめに（明石典男）／三重県議会定例会の文化財議論（1948～1979）／要望・陳情・請願（1967～1978）／新聞コラム・寄稿（1945～1978）

◆勧進縄―個性豊かな村境の魔よけ
　近江の祭礼行事3
西村泰郎著　サンライズ出版（〒522-0004　滋賀県彦根市鳥居本町655-1　℡0749-22-0627）2013年12月　AB　125頁　2400円
村内の安全や五穀豊穣を祈願する道切り行事である勧進縄について、分布密度や文献史料からとくに注目される滋賀県内の事例を集成する。近江の勧進縄概観（勧進縄とは、基本と構成要素の名称、滋賀県内の勧進縄一覧表、勧進縄の分布、勧進縄の形態）／各地の勧進縄（東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町、甲賀市、湖南市、野洲市、守山市、栗東市、草津市、大津市、高島市、甲賀町、長浜市）／資料（勧進縄に見られる祈祷札、勧進縄に見る仏たち）

◆黄檗と薩摩
田中智誠著　黄檗宗鳳翔山正瑞禅寺／東林派下梅嶺禅師湖東三ヶ道場（〒529-1403　滋賀県東近江市五個荘日吉町935　℡0748-48-5389）2013年6月　B6横　17頁
薩摩における黄檗寺院の成立／護国山真福寺／大磯山月船寺その他／島津重豪と黄檗（天璋院篤姫、栄翁君と先祖位牌壇常光殿、島津重豪と瑞聖寺）／薩摩と近衛家／黄檗文化と薩摩とのつながり

◆収蔵資料調査報告書14　絵ハガキ1

◆収蔵資料調査報告書15　片岡道二家文書
宇治市歴史資料館編・刊（〒611-0023　京都府宇治市折居台1-1　℡0774-39-9260）2013年3月　B5　47頁
江戸時代、幕府の御通茶師を勤めるとともに、広島藩浅野家の御茶御用も勤めた片岡道二家文書の調査報告書。凡例／解説（坪内淳仁）／翻刻史料（15点）／片岡道二家文書目録
年中勤方記（寛政四年）、芸州進物帳（文化二年）、芸州御用御茶無尽録（天保四年）、煎茶改の儀につき書状（年未詳）、若狭屋九右衛門煎茶支配につき書状（年未詳）、御茶支配につき乍恐口上（元禄十年）、由緒書（天明三年）、京都屋敷にて剃髪につき願書（未年）、合力米下されるよう歎願口上書（明治三年）、御扶助合力につき歎願口上書（明治八年）、江戸表入用の茶御用仰付につき願書覚（天保六年）、広島城下の茶専売につき願書案文（安政年間）、親類書（文化十二年）、拝借仕銀子之事（享保七年）、芸陽罷下り差出願文扣（万延元年）

◆宇治電―水力の時代
宇治市歴史資料館編・刊（〒611-0023　京都府宇治市折居台1-1　℡0774-39-9260）2013年9月　A4　71頁
宇治市歴史資料館の宇治発電所竣工100年記念特別展（2013年9月28日～11月17日）の図録。大正2年（1913）7月、宇治川電気株式会社（宇治電）によって完成された宇治発電所の開発をめぐって、計画や工事がどのように行われたか、地元の人々がどのようにかかわったのかを見る。はじめに／明治期の電気事業と京都／宇治電の胎動／地元の動向と宇治電の誕生／宇治発電所の建設／拡大する電力事業／資料編

◆城陽市域の地域文化遺産―神社・街道の文化遺産と景観　京都府立大学文化遺産叢書6
菱田哲郎編　京都府立大学文学部歴史学科（〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町1-5）2013年3月　A4　134＋170頁
2012年度京都府立大学地域貢献型特別研究「神社・街道を中心とした城陽市域文化遺産の調査と情報化」の研究成果報告書である。口絵／刊行にあたって／例言／第Ⅰ部　神社街道の調査報告　城陽市域の神社石造物調査報告（京都府立大学考古学研究室）、城陽市域の街道調査報告（京都府立大学地理学研究室）／コラム　拡張現実（ＡＲ）の文化遺産学への応用（向井佑介）、荒見神社境内社御霊社棟札について（竹中友里代）／第Ⅱ部　城陽市域の文化と歴史　南山城における養蚕・製糸業と長池柞蚕製糸工場（竹中友里代）、大和国郡山藩の京都出動―木津川渡場・長池宿・伏見の機能に注目して（藤本仁文）、古代久世郡の官衙・寺院と交通路（菱田哲郎）／第Ⅲ部　古文書・古記録の情報化　乗用地域の「村誌」の情報化（東昇）、近代における青谷地区の梅栽培と梅林の歴史形成―城陽地域の「村誌」編纂と物流（東昇）、近世水度神社における大絵馬の奉納（鈴木志織）、天保期の寺田村神職による情報の記録と活用―中島家日記解題（西井綾乃）、伊佐家文書「歴代記」と幕末の城陽（鈴木史織）、野尻若宮八幡宮文書解題（岡田つかさ）

◆戦国京都周辺の城をめぐる
　開館20周年記念第21回企画展
大山崎町歴史資料館編・刊（〒618-0071　京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3　大山崎ふるさとセンター内　℡075-952-6288）2013年10月　A4　40頁
平成5年（1993）11月の開館以来20周年を迎える大山崎町歴史資料館の第21回企画展（10月26日～12月1日）の図録。京都府教育委員会による中世城館分布調査の4年間の成果を中心に、山崎城跡をはじめとする京都府域の中世城跡を紹介する。京都府域の城跡をめぐる／上狛環濠と狛氏館　木津川市山城町／政所屋敷から居館へ　革嶋館跡　京都市西京区／城塞化する山岳寺院　笠置山城跡　笠置町／全貌を現した山城跡　三之宮東城跡　京丹後町瑞穂町／都市を意識する山城　鹿背山城跡と木津平城　木津川市／武装化する寺院　東寺境内　京都市／京都に築かれる公権力の山城　勝軍山城・中尾城　京都市左京区／移行期の城郭　山崎城跡　大山崎町／洛中に建てられた本格的な築城　聚楽第　京都市上京区／公儀の城　伏見城　京都市伏見区／地誌に描かれた城跡／釈文一覧

◆丹波亀岡・風景へのまなざし
亀岡市文化資料館編・刊（〒621-0815　京都府亀岡市古世町中内坪1　℡0771-22-0599）2013年7月　A4　32頁
亀岡市文化資料館第54回企画展（2013年7月20日～8月25日）の図録。「矢田八景」「犬甘野八

景」「亀岡八景」など、絵巻や屏風絵に描かれた亀岡周辺地域の風景を、視点の違いにも注目しながら紹介する。想像の風景(和歌、天狗草紙絵巻)／説明する絵(出雲神社牓示図、穴太寺観音縁起絵巻)／風景を選ぶ(千年山八景、瑞巌十境、梅山八景、大梅十二景、天岡二十景、矢田八景)／風景を描く／名所保津川／コラム　亀岡周辺の八景、亀岡ゆかりの画家　廣瀬桑田、亀岡を愛したお殿様　松平信正、亀岡ゆかりの画家　渡辺石華、保津川を愛した禅僧　長岡文海

◆これまでの資料館、これからの資料館—雑水川、クニッテル通り、枝専、文化資料館、そして常設展

亀岡市文化資料館編・刊（同上）2013年3月　A4　52頁

亀岡市文化資料館の第29回特別展(2013年10月19日～11月24日)の図録。開館28年を迎える亀岡市文化資料館の意外と知られていない周辺や、資料館のこれまでのあゆみを紹介する。雑水川／クニッテルフェルド通り／市立女子技芸専門学校／文化資料館（温古館、農業資料館)／資料館の周辺（資料館ができる前、資料館の庭—遺物・自然)／さわってみよう！／資料集「亀岡市立女子技芸専門学校新構想(案)」昭和46年10月、「仮称亀岡市立文化資料館　構想とりまとめに関する懇談会(記録)」昭和59年～60年／展示資料一覧／協力者一覧、参考文献／コラム　古世橋と春日橋、2度目の大規模改修、お二人の先生のお話から、お二人の生徒のお話から、市立女子技芸専門学校の新築工事、文化資料館の改造工事、文化資料館の展示工事、さわるチカラを感じてみよう！

◆鋳造遺跡研究資料2013

鋳造遺跡研究会編・刊（〒607-8175　京都市山科区大宅山田町34　京都橘大学現代ビジネス学部気付　年会費1000円）2013年9月　B5　80頁

鋳造遺跡研究会2013研究発表　梵鐘鋳造の造型技術の変化—ジョウ(底型)と内型・外型の組合せ(五十川伸矢)、高精細デジタル画像でみる和鏡—制作技法と文様表現(川見典久)、デジタル画像でみる漢鏡の鋳造技術—制作技法と文様表現(西川寿勝)、古河市川戸台遺跡—古代東国の鋳造遺跡(穴澤義功･熊坂正史)、仙台市薬師堂東遺跡の梵鐘鋳造遺構(水野一夫)／研究動向　企画展示「時代を作った技—中世の生命革命—」への正体(村木二郎)、国際歴史金属会議 BUMAVIII 奈良(鋳造遺跡研究会事務局)／吉田晶子さん追悼／鋳造遺跡研究会2012討論記録／鋳造遺跡研究会2013までの歩み

◆大阪の除痘館　改訂・増補第2版

芝哲夫・加藤四郎・古西義麿・米田該典・淺井允晶監修　洪庵記念会除痘記念資料室（〒541-0042　大阪市中央区今橋3-2-17　緒方ビル　℡06-6231-3257）2013年4月（1983年4月初版、2011年3月改訂･増補版）B5　102頁

緒方洪庵と大阪「除痘館」の活動についてまとめた『大阪の除痘館』の、「緒方洪庵没後150周年」記念としての増補・改訂第2版。発刊にあたって(緒方高志)／天然痘(痘瘡)について(加藤四郎)／天然痘(痘瘡)との戦い—除痘館活動の前提／大阪の除痘館—資料による歩み（緒方洪庵画像の諸相、大阪の除痘館の成立と展開—資料による歩み、「大阪市種痘歴史」所収分苗所一覧、都府県別　大阪の除痘館分苗所一覧、天然痘(痘瘡)と大阪の除痘館　関係年表、収録資料目録・挿図目録）／論考　人痘種痘法 variolation から牛痘種痘法 vaccination へ(加藤四郎)、エドワード・ジェンナーと牛痘種痘法の開発(加藤四郎)、牛痘種痘苗(モーニケ苗)の伝来と展開(加藤四郎)、大阪の除痘館と緒方洪庵(淺井允晶)、緒方洪庵と緒方郁蔵(古西義麿)、古手町除痘館記念碑の建立(川上潤)、尼崎町「除痘館跡」記念銘板(川上潤)、除痘館を支えた人々(古西義麿)、人痘種痘法と牛痘種痘法—緒方洪庵の種痘事業をめぐって(米田該典)

◆城と陣屋　50周年記念特集号

日本古城友の会編・刊（〒577-0044　大阪市西成区玉出中2-11-28　平川大輔方　℡06-6652-4511／〒595-0024　大阪府泉大津市池浦町2-9-3　川端義憲）2013年11月　B5　253頁

「日本古城友の会」創立50周年を祝う(中村博司)／古代山城考(芦刈泰臣)／私と城(石田泰信)／歴史探訪のあれこれ(井上節子)／江戸武鑑(上田正和)／枚方河川敷の残念石(大嶋真里子)／国宝松本城？(川岡洽)／泉大津市内の城跡(川端義憲)／私の「お城」楽しみ史(木下修二)／城郭の周辺史跡—屋敷探訪記(幸岡英之)／福井県の城跡を訪ねて(坂本昇)／村上義清の持城(志村平治)／大西さんへの手紙(関満恒子)／大和高取城の搦手道を探索(多賀左門)／熊本城飯田丸五階櫓の復元について(陶山誠)／石見国　銀山山吹城(田村紘一)／上総の城と陣屋を訪ねて(中西徹)／地元にもあった環濠　勝間環濠(砦)(平川大輔)／信長の「伝承」の子供たち(藤林明芳)／動線からみた大和国の中世城郭—福住井之市城にみる防御の工夫(星野直哉)／北陸の城再訪と復元された建屋(水品弘樹)／「城と古墳」おもうがままに！(村﨑弘和)／青森県の城巡り(森田又一)／我が城の石垣普請日誌(藪田旭)／創立50周年の初期を回想して(田村紘一)〔藤井重夫先生と築城史研究会の活動を振り返って〕　築城史研究会の発足・活動と藤井重夫代表(多賀左門)／藤井先生の長靴姿と魅力(森田又一)／ロープ１本、命懸けの石垣昇降(尾原隆男)／私の築城史研究会(関満恒子)／藤井重夫先生と築城史研究会(平河大輔)／石は生きている(大嶋真里子)／芦屋の刻印石研究と藤井重夫(藤川祐作)／在野の藤井重夫先生と考古学(森岡秀人)／登山帽とキャラバンシューズ(中井均)

日本古城友の会　例会報告／『城と陣屋』など　発行目録／平成25年度役員、編集後記(木下修二)

◆枚方の歴史

瀬川芳則・西田敏秀・馬部隆弘・常松隆嗣・東秀幸著　松籟社（〒612-0801　京都市伏見区深草正覚町1-34　℡075-531-2878）2013年5月　A5　387頁　2000円

大阪府の北東部に位置し、京都府・奈良県と接する枚方の現在にいたるまでの歴史を、枚方を象徴する特徴的な項目を挙げてわかりやすくまとめる。はじめに(瀬川芳則)／枚方のあけぼの（旧石器、弥生、コラム　考古学の先覚者三浦蘭阪)／いにしえの風景（古墳時代、飛鳥から奈良時代、コラム　幻の寺跡)／記紀などに見る枚方（古代の伝承地、要衝の地　枚方、コラム　枚方の漢人)／戦乱の枚方（津田城・氷室・椿井文書、楠葉から枚方へ、牧・交野一揆と織田政権、コラム　神風連の乱で散った寺内町創始者の末裔)／町のくらし—宿場町枚方の発展（枚方の原風景、枚方宿の成立と発展、枚方地域の交通、コラム　京街道・枚方宿と徳川家)／村のくらし（村の成り立ち、農業の発展と人々のくらし、産業の発達、村の文化、コラム　象がやってきた!!)／幕末の世情と枚方の人々(天保の改革と領主財政の窮乏、村の変容と大塩平八郎の乱、開国から維新へ、コラム　久修園院に残る「遺骨の受取書」)／近代化の時代（新しい制度の導入と展開、農業の発展と社会生活、交通網の整備と発展、コラム　枚方と菊人形の歴史)／戦争の時代と枚方(産業の発展と社会生活、軍事施設の整備、戦争と住民生活、コラム　戦時下の「ひらかた遊園」)／枚方市の誕生と戦後復興（市政施

行と地方自治、教育の民主化、社会情勢の変化、コラム　京阪電鉄のテレビカーと枚方のテレビ普及率）／高度成長と都市化（枚方市と津田町の合併、日本住宅公団の団地建設、京阪電鉄の沿線開発、工業化と公害問題、コラム　「ふるさと創生」事業―『鋳物師はんべえ奮闘記』）／都市整備と再開発（京阪枚方駅とその周辺整備、学研都市と枚方、生涯学習と学校教育、戦後の菊人形文化、コラム　登録有形文化財と近代化遺産―大阪歯科大学牧野学舎）／略年表

◆地域歴史遺産保全活用ハンドブック
　兵庫県版

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編・刊（〒657-8501　神戸市灘区六甲台町1-1　http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/）2013年3月　A4　18＋26頁

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターの実際の活動をもとに、さまざまな地域の歴史遺産の活用を紹介するハンドブック。地域歴史遺産とは？／文献史料を整理する／地域の歴史を調べる／地域歴史遺産を活用する／災害から地域史料を守る／付録　自治体の変遷、兵庫県内のおもな史料所蔵機関、兵庫県内自治体史一覧、和暦／西暦対照表

◆鶴見台の四十年
　小さな住宅地かせ歩んだ道

（宝塚市西谷地区）鶴見台自治会四十年史編集委員会編　鶴見台自治会（〒669-1204　兵庫県宝塚市長谷字道谷1-201）2013年12月　B5　132頁　非売品

昭和48年（1973）3月の発足以来40年を迎える宝塚市鶴見台自治会の記念誌。『鶴見台の歩み―鶴見台自治会の十年』（1983年）、『わがまち鶴見台―二十年の軌跡』（1993年）をふまえ、住宅団地としての完成に向けた活動、町内会的な活動、現在とこれからの鶴見台についてまとめる。巻頭言（米田章）／祝辞（龍見昭廣）／お祝いのことば（古東佐一郎）／緒言／鶴見台の成り立ち（西谷地区と鶴見台も自治会の発足、公道化問題、家屋建築の実現）／町内会としての活動（自他会館の建設、生活環境の整備、住民の連携と行事、西谷地区との関わり）／新たな飛躍に向けて（地域づくりの模索、いくつかの課題）／コミュニティとしての鶴見台―まとめ／会員の思い出　鶴見台に住んで（石本知毅）、鶴見台に来て（奥田正明）、鶴見台入居当時の思い出（加藤英一）、人間讃歌…思い（岸恭子）、来し方を省みて（清水勲）、自分史の中の鶴見台（白石太良）、西谷に住んで思うこと（角田譲治）、第二の故郷西谷への想い（林治人）、はや二十一年（藤井孝三）、鶴見台自治会四十周年記念によせて（堀見ますみ）、鶴見台四十年の記憶（矢吹秀夫）、鶴見台に住んで（米田章）／住民座談会（自他会草創期の思い出、これからの鶴見台を思う）／参考資料

◆兵庫県学童疎開関係史料集成3
　尼崎市浜国民学校　宗副寺寮篇

人見佐知子編　甲南大学人間科学研究所（〒658-0072　兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1　℡078-435-2683）2013年3月　A5　153頁

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「現代人の心の危機の見極めと、その実践的解決のためのネットワークの形成」を目的とする共同研究プロジェクトの一環として甲南大学人間科学研究所が収集した兵庫県学童疎開に関する史（資）料の調査報告集。本書には、第2輯「石像寺寮篇」にひきつづき、兵庫県尼崎市浜国民学校の疎開先のひとつであった宗副寺寮（兵庫県丹波市市島町上鴨阪）で作成された書類を収録する（藤田浩明氏文書）。『文書綴』／『現金出納簿』／『予算差引簿』／『小使銭出納簿』／『病床日誌』／宗副寺寮設営予定図面／付録1　尼崎市会議事録（抄）／付録2　兵庫県会議案（抄）／解題（人見佐知子）

◆意宇郡（その4）

神崎勝著　ＮＰＯ法人 妙見山麓遺跡調査会（〒679-1214　兵庫県多可郡多可町加美区的場294　℡0795-35-0555）B5　26頁　http://www.eonet.ne.jp/~myouken-iseki

第二次風土記講座の記録集。講座『出雲風土記』第5回（2013.4.27/8.31　於的場村公民館）語釈・注釈（意宇郡神社名列記）　式内社、不在神祇官社（式外社）、意宇郡の神社（まじめ）／付論1　ノギ神社とノシロ神社／付論2　熊野大神について／参考文献／付図

◆託賀郡（全）

神崎勝著　ＮＰＯ法人 妙見山麓遺跡調査会（同上）B5　26頁

講座『播磨風土記』第5回（2013.7.27.　於柳田國男記念館）

語釈・注釈　託賀郡、賀眉里、黒田里、都麻里、法太里／付論1　大人（巨人）伝説について／付論2　道主日女命について／付論3　託賀郡の成り立ち（託賀地方が丹波に属していた時代、氷上からの分離と託賀郡の成立）

◆揖保郡（その1）／
　現地見学会「姫路城と十四丘」

神崎勝／衣川良介・小幡恵吾ほか著　ＮＰＯ法人妙見山麓遺跡調査会（同上）A4　36頁

講座『播磨風土記』第6回（2013.11.30.　於柳田國男記念館）

第1部　揖保郡（その1）―語釈・注釈（揖保郡号・伊刀嶋・香山里・栗栖里・越部里・上岡里・日下部里・林田里・邑智駅家）／播磨風土記現地見学会「姫路城と播磨風土記十四丘の散策」

◆わたしたちの文化遺産―資料保存ガイド

佐用町文化遺産再発見活性化事業実行委員会編・刊（〒679-5301　兵庫県佐用郡佐用町佐用2600-2　佐用町教育委員会教育課内　℡0790-82-2424）2013年3月　A5　13頁

2009年の台風9号による被害とその後の資料救済活動を契機として始まった「佐用町文化遺産再発見活性化事業」の一環として、地域の歴史資料の保全・活用についてまとめたガイドブック。地域の文化力とは／歴史資料とは／歴史資料を災害から守る活動／平成21年台風9号と文化財レスキュー／歴史資料が被災した場合には／資料は何を語るのか／歴史資料を保全・活用し、まちの文化力ＵＰにつなげよう／地域の歴史文化を若い世代に継承しようとする動き／地域の歴史資料を守る／いざ！というときに・緊急連絡先

◆文化記録映画　奈良町の会所―うけつぐ祈りとつどい　ＤＶＤ・解説パンフレット

（社）奈良まちづくりセンター企画制作　（株）さららプロダクション製作　奈良まちづくりセンター（〒630-8333　奈良県奈良市新屋町2-1　℡0742-26-3476）2013年3月　A4　12頁

1984年に設立された奈良まちづくりセンターが、文化庁伝統文化課の助成・補助をうけて2010年から進めてきた奈良町「町会所」の調査成果。中世的な神仏の前での一味同心を伝える都市部の町会所の貴重な記録。文化庁伝統文化補助「地域伝統文化総合活性化事業」継続事業平成23年度採択。賛・奈良町会所（岩井宏實）／ごあいさつ（有安美加）／私たちが記録したかったこと／奈良町の「会所」今昔／作品に登場した信仰行事　庚申講（中新屋町）、弁天祭と理源大師法要（餅飯殿町と東向中町）、春日赤童子祭（東包永町）、地蔵講・地蔵まつり（西新屋町）、観音講と井上神社祭（井上町）、大日講と白山神社祭（元興寺町）、春日講（東城戸町）、その他の登場行事（地蔵尊供養、春日大社のおんまつり）／参考資料
　奈良町の各町会所と伝統行事の現況一覧

◆大和国宇陀郡岩崎村関係史料目録
　奈良県同和問題関係史料15

奈良県立同和問題関係史料センター編・刊（〒

630-8133　奈良県奈良市大安寺1-23-1　℡0742-64-1488）2013年3月　A5　74頁
宇陀郡岩崎村（現宇陀市）に関わる史料のうち、宇陀市菟田野人権交流センターが所蔵する三つの文書群の目録である。河島久治郎旧蔵文書（386点）／東義和旧蔵文書（2点）／西浦忠内旧蔵文書（445点）／解説

◆愛媛県内の主要宝篋印塔

長井數秋著　愛媛考古学研究所（〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田138　℡089-956-0496）2013年4月　B5　246頁　非売品
愛媛県内に残存する中世並びに中世様式の宝篋印塔800塔近くを8年にわたり実測し、そのうちほぼ原型をとどめて残存していると見られる250塔についてまとめた宝篋印塔集。はじめに／各地区の宝篋印塔（新居浜市内の宝篋印塔、西条市内の宝篋印塔、上島町内の宝篋印塔、今治市島嶼部の宝篋印塔、今治市地方側の宝篋印塔、松山市北条地区の宝篋印塔、松山市島嶼部（中島地区）の宝篋印塔、旧松山市内の宝篋印塔、東温市内の宝篋印塔、久万高原町内の宝篋印塔、砥部町内の宝篋印塔、松前町内の宝篋印塔、伊予市内の宝篋印塔、内子町内の宝篋印塔、大洲市内の宝篋印塔、八幡浜市内の宝篋印塔、伊方町内の宝篋印塔、西予市内の宝篋印塔、宇和島市内の宝篋印塔）／宝篋印塔解説

◆後記

９月初めの二日間、明大時代の同僚 中村隆、中田義三さんと、福島県いわきき市、広野町、全町避難となっている楢葉町と富岡町を車で回った。この先の大熊町、双葉町、浪江町へは、この時は通行すら禁じられていて入ることが出来なかった。本誌110（2012.8）で触れた、震災直後からバイクを駆って福島、宮城を回り、新刊・古書店の置かれた状況について優れたルポルタージュを発表している日本古書通信社の折付桂子さんから、国道６号線（陸前浜街道）を北上すると「空気が変わって行くのが分かる」、と言われたことに触発されてのことである。国道から逸れて、小名浜、塩屋埼、新舞子浜、東電福島第二原発のある楢葉町波倉、ＪＲ常磐線富岡駅、原子力発電施設等立地地域における長期発展対策交付金施設で富岡町図書館を併設する瀟洒な富岡町文化交流センター学びの森にも寄った。建物は勿論閉ざされている。富岡駅前に残った建物は津波でことごとく窓、壁を打ち破られ、座敷に軽トラが飛び込んだまま、あるいは地震で倒壊寸前の状況で板やロープで囲われることもなく無防備に放置されていた。楢葉町波倉の農村地帯は、防風林の間に見るからに豊かそうな屋敷と農地が広がっていた。農家は外見からは傷みが感じられず、庭先を手入れした家、雑草に車が埋もれた家と様々であったが、畑はきれいに耕されていた。大事に育てた土を台無しにすることはできないとの思い、そしていつの日かの帰還を願ってのことに違いないと、その無念さが胸に迫った。宿はいわき市にとった。そこで出された魚も、昼食にいわき市のはずれの海辺で食べた海鮮丼も、地のものではないとのことであった。これまで、宮城県石巻市、女川町、名取市、亘理町、福島県相馬市などの被災状況をこの目で確かめ、それなりに理解していたつもりであったが、陸前浜街道のそれは全く異質であり、被災そのものの実態にも、自分自身の認識の浅さにも衝撃を受けた。帰宅後、中村さん中田さんから、被災者は心の整理がつくということがないのではないだろうか、虚しく怒りを感じると便りを貰った。本号で紹介した『東北学』の「民俗知」も原発事故災害には及ばない。いや、こんな災害が頻発し、「民俗知」になっては困る。　（飯澤）

地方史情報 121　2014年（平成26年）10月　発行　http://www.iwata-shoin.co.jp
定価0円（送料90円）年間購読料 税込1000円（送料として）振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院　〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103　℡03-3326-3757